

## ウェルポイントによる揚水浄化等の状況（区画⑥⑪⑫⑬⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓）（その5）

### 1. 概要

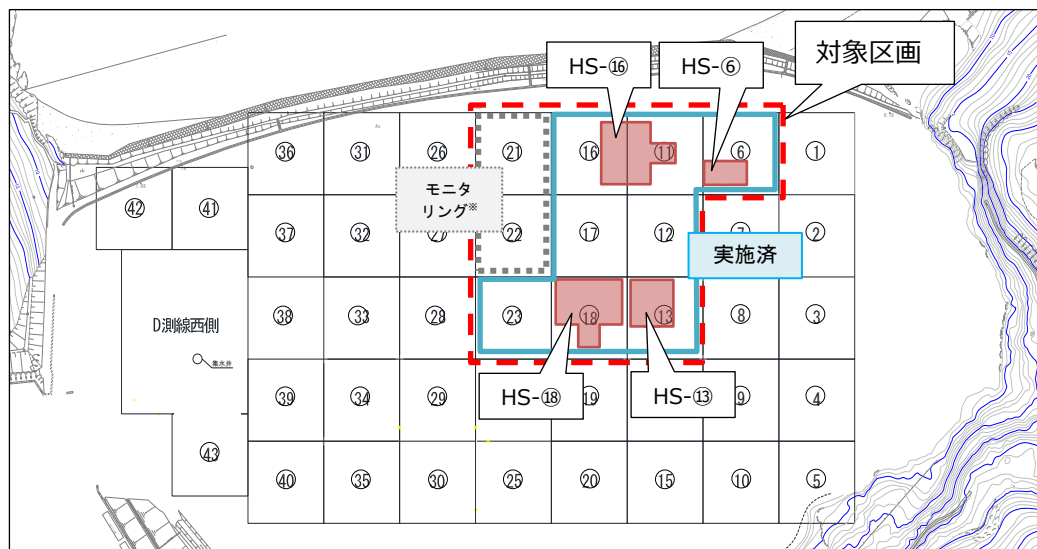
第14回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会における報告「ウェルポイントによる揚水浄化等の状況（HS-⑬⑱、区画⑥⑪⑫⑬⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓）（その4）」（水第14回 II / 2-5）のとおり、ウェルポイントによる揚水浄化を進めてきた。

その結果、いずれの区画もユニット回収地下水の水質が排水基準に適合している状態となり、対象深度の浄化が終了したと考えられることから、令和3年2月に対策を終了した。

なお、区画⑪⑬⑯においてウェルポイントの対象深度より深い層（T.P.-4m以深）の地下水の浄化を進めるため、深い層のスクリーンの揚水井による揚水浄化を実施中である。今回、これらの実施結果及び水質モニタリング結果等について報告する。

### 2. 対象区画及び浄化対策の実施状況

ウェルポイントによる揚水浄化の対象区画は、既往の深度別の地下水調査において、地下水面付近に高濃度のベンゼンが確認された区画⑥⑪⑫⑬⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓とし、最大3区画ずつ揚水を実施した。対象とした区画及び浄化対策の実施結果等について図1及び表1に示す。



※ 区画㉑㉒は実施前に排水基準に適合していたため、モニタリングのみ実施した。

図1 対象区画及び実施状況

表1 局所的な汚染源への対策及び揚水浄化の実施状況等

区画	関連する局所的な汚染源及び浄化対策	ウェルポイント	揚水井	備考
⑥	HS-⑥ 掘削・除去	実施済 (~R2.12)	—	掘削底面の湧水の水質は排水基準に適合。 区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
⑪	HS-⑩ 掘削・除去	実施済 (~R3.2)	深い層のスクリーン (T.P.-4~-8m) の揚水井を稼働中 (R2.12~)	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
⑫	—	実施済 (~R2.7)	—	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
⑬	HS-⑬ ガス吸引	実施済 (~R2.10)	深い層のスクリーン (T.P.-6.5~-10.5m) の揚水井を稼働中 (R2.12~)	ボーリング調査でガス吸引による浄化対策の終了を確認。 区画中央の観測井の水質は排水基準に適合していない。
⑯	HS-⑩ 掘削・除去	実施済 (~R3.2)	深い層のスクリーン (T.P.-4~-8m) の揚水井を稼働中 (R2.12~)	掘削底面付近の地下水の水質を確認予定。 区画中央の観測井の水質は排水基準に適合していない。
⑰	—	実施済 (~R3.2)	—	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
⑱	HS-⑱ 掘削・除去 ガス吸引	実施済 (~R2.11)	—	ボーリング調査でガス吸引による浄化対策の終了を確認。 区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
㉑	—	モニタリング	—	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
㉒	—	モニタリング	—	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。
㉓	—	実施済 (~R2.4)	—	区画中央の観測井の水質は排水基準に適合。

※区画中央の観測井の水質の排水基準適合/不適合は、県実施の2月のモニタリング結果(Ⅱ/1「処分地全域での地下水の状況(その7)」参照)に基づく。

### 3. ウェルポイントによる揚水浄化の実施結果

浅い層（T.P. 0～-3m）のベンゼン汚染を除去するため、ウェルポイントによる揚水浄化を令和2年2月25日から実施していたが、いずれの対象区画においてもユニット回収地下水の水質が排水基準に適合している状態となり、対象深度における浄化が終了したと考えられることから、令和3年2月末に対策を終了した。水質モニタリング結果等については以下のとおりである。

#### (1) 水質モニタリング

##### ① 採水地点

各区画中央の観測井並びに揚水実施区画に各1台設置するウェルポイントユニットからの排出水（ユニット回収地下水）とした。

##### ② 分析項目

分析項目は、既往の調査で排水基準の超過が確認されている物質とした。

なお、ベンゼンの測定については、簡易法分析（現地PID分析）において公定法分析との相関が確認できたことから、地下水浄化の状況を迅速に把握することを目的として、適宜、簡易法分析を実施した。

#### (2) 揚水量等の状況

揚水量等の一覧を表2に示す。

また、揚水量の推移を図2、簡易法分析による観測井及びユニット回収地下水中のベンゼン濃度の推移を図3、簡易法分析結果を用いたベンゼン回収量の推移を図4に示す。

表2 回収量等の一覧（令和3年2月13日時点）

	対策実施期間	累積揚水量 (m <sup>3</sup> )	累積注水量 (m <sup>3</sup> )	累積ベンゼン 回収量(g)
区画⑥	R2.10.19～R2.12.9	2,678	—	1,346
区画⑪	R2.4.4～継続中	16,651	14,896	3,920
区画⑫	R2.4.30～R.2.7.17	7,235	17,082	1,007
区画⑬	R2.2.25～R2.4.29 R2.7.18～R2.10.15	12,638	4,229	2,238
区画⑯	R2.12.10～継続中	5,420	4,715	453
区画⑰	R2.5.14～R2.7.17 R2.11.7～R3.2.6	15,773	17,791	1,787
区画⑱	R2.2.25～R2.5.13 R2.7.18～R2.11.6	16,696	7,489	2,108
区画㉓	R2.2.25～R2.4.2	2,791	907	444

※一部区画は注水のみ実施した期間等があり、区画毎の累積揚水量と累積注水量が乖離している場合がある。

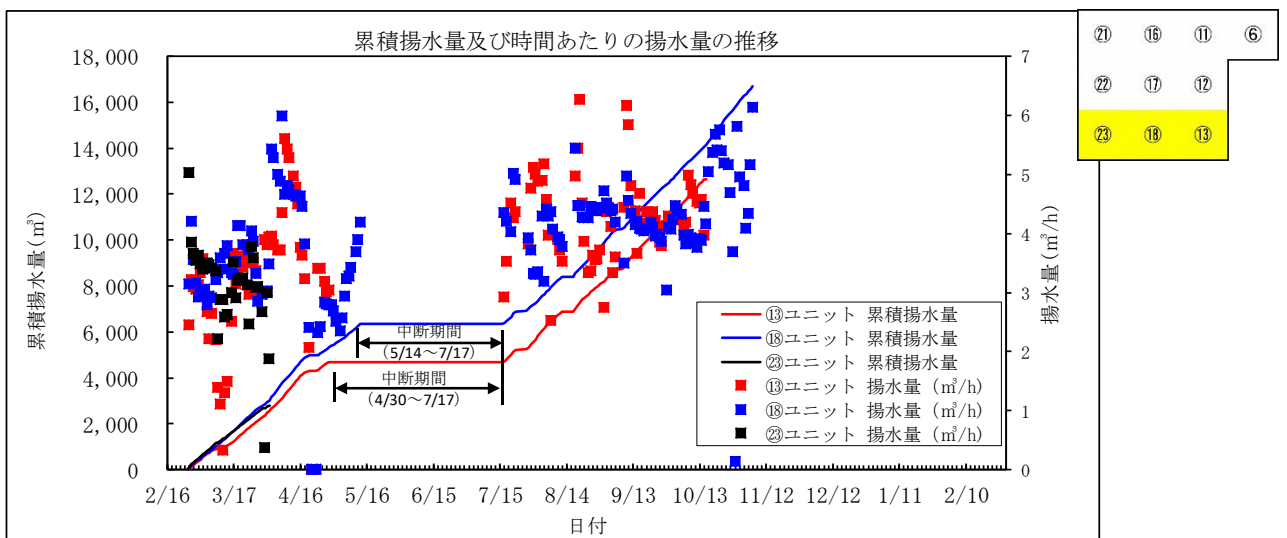
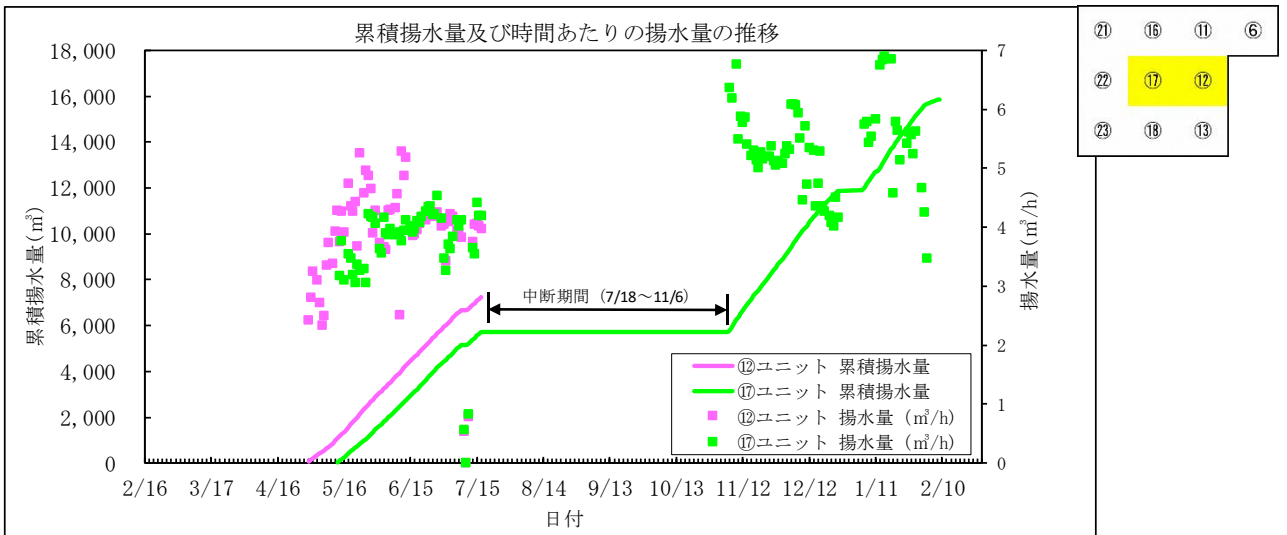
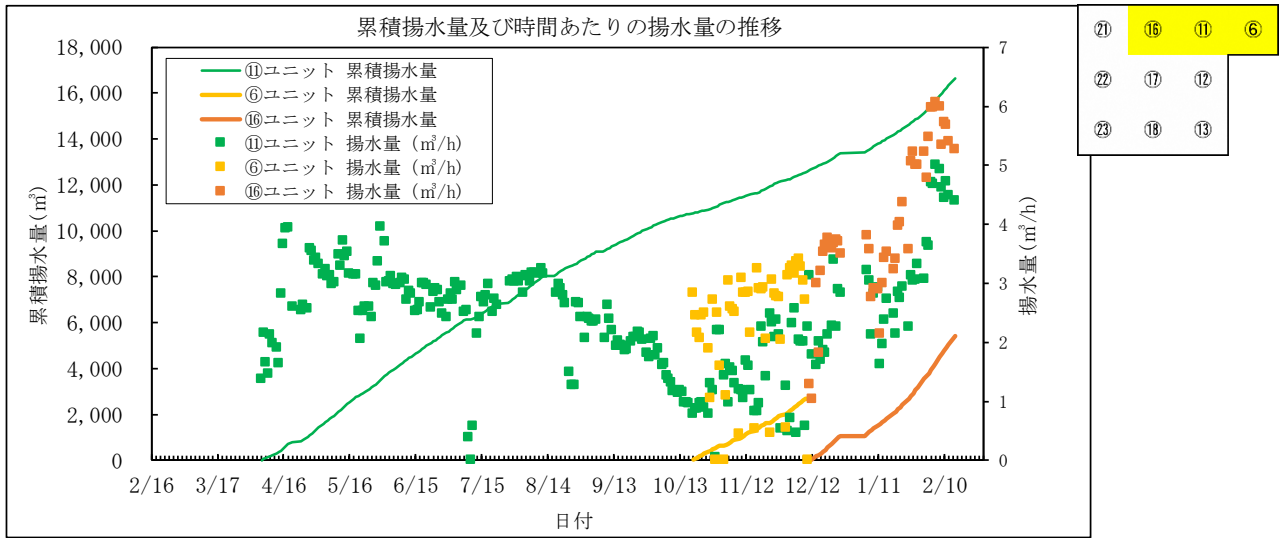
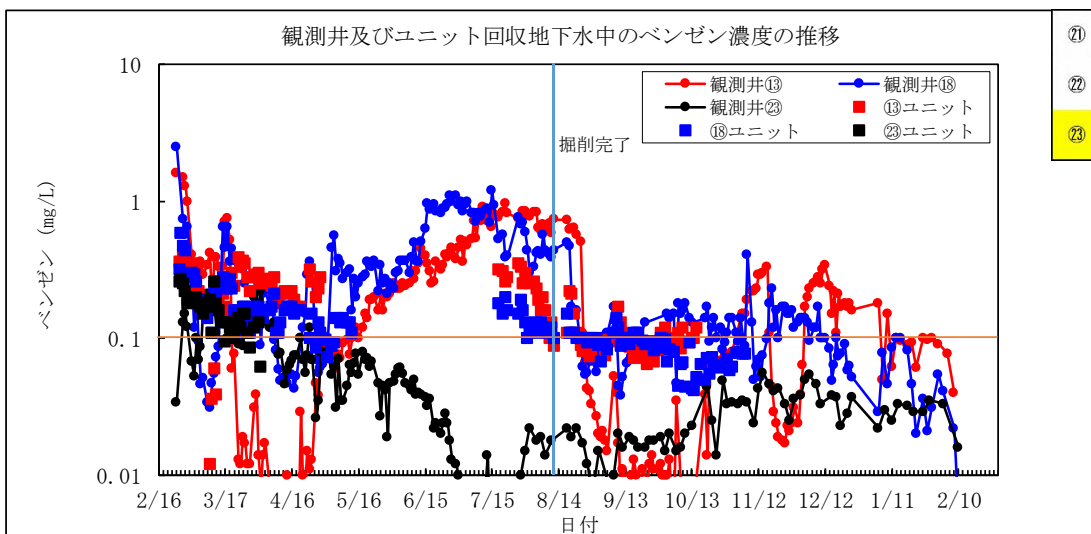
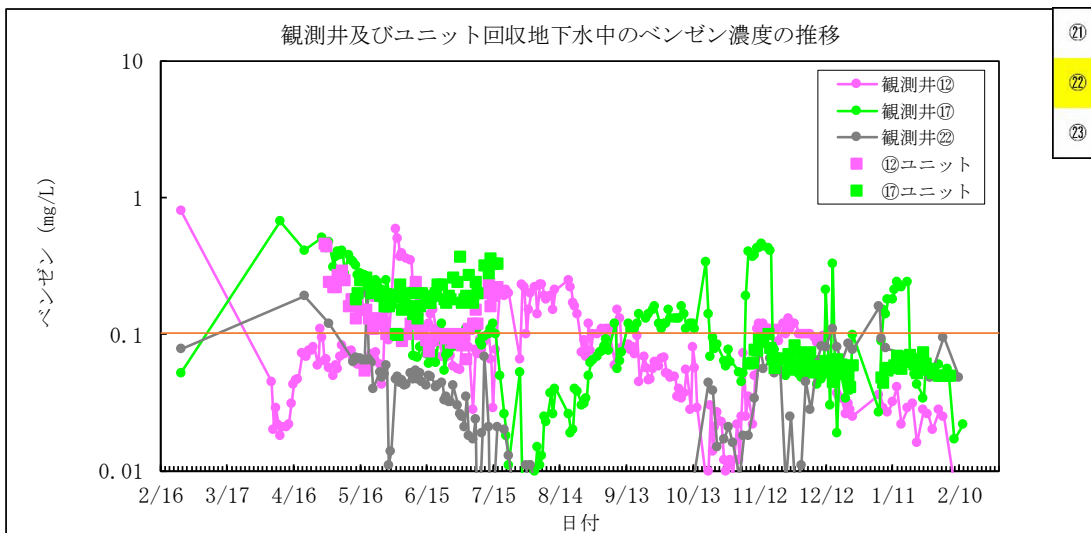
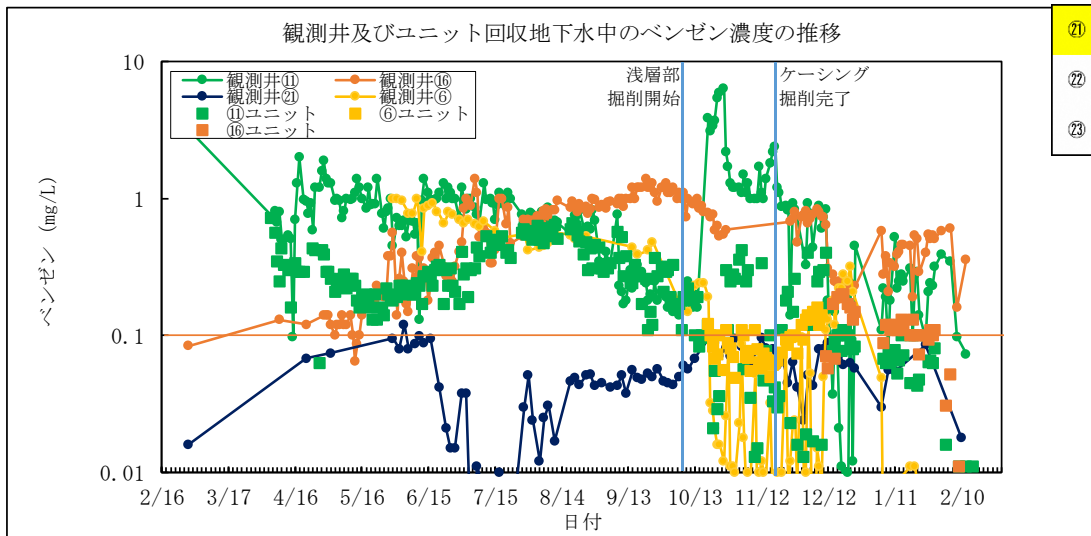
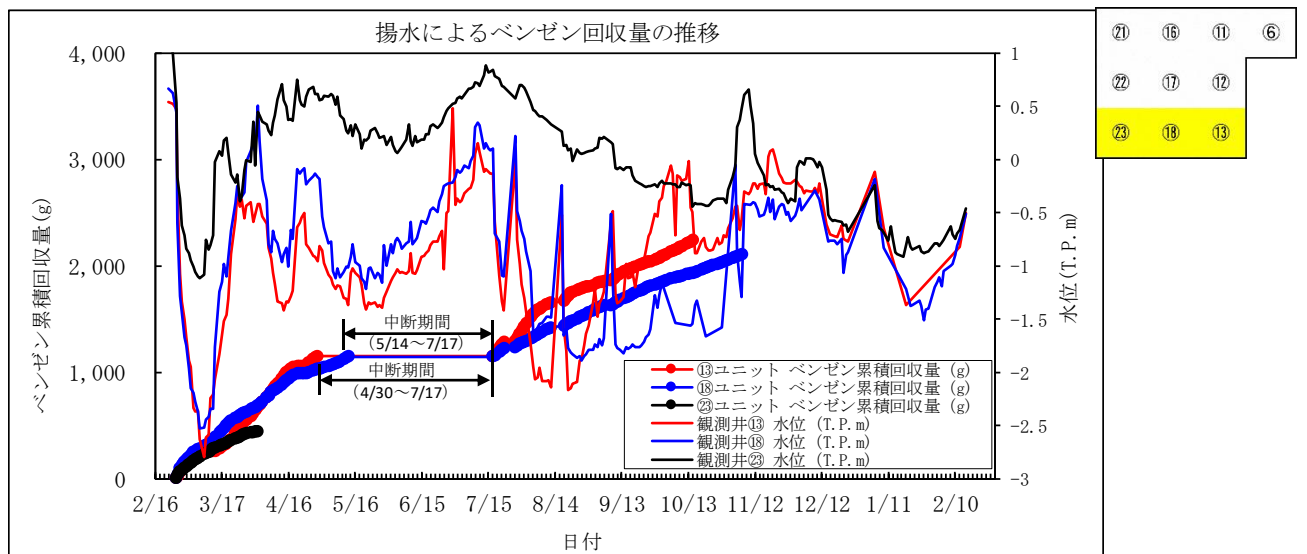
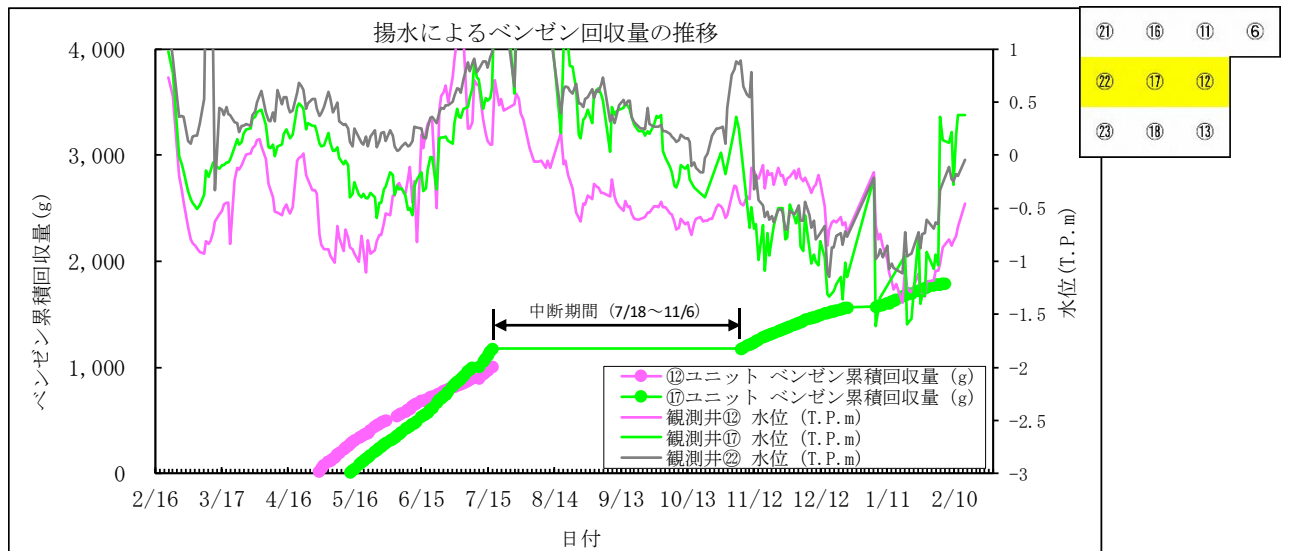
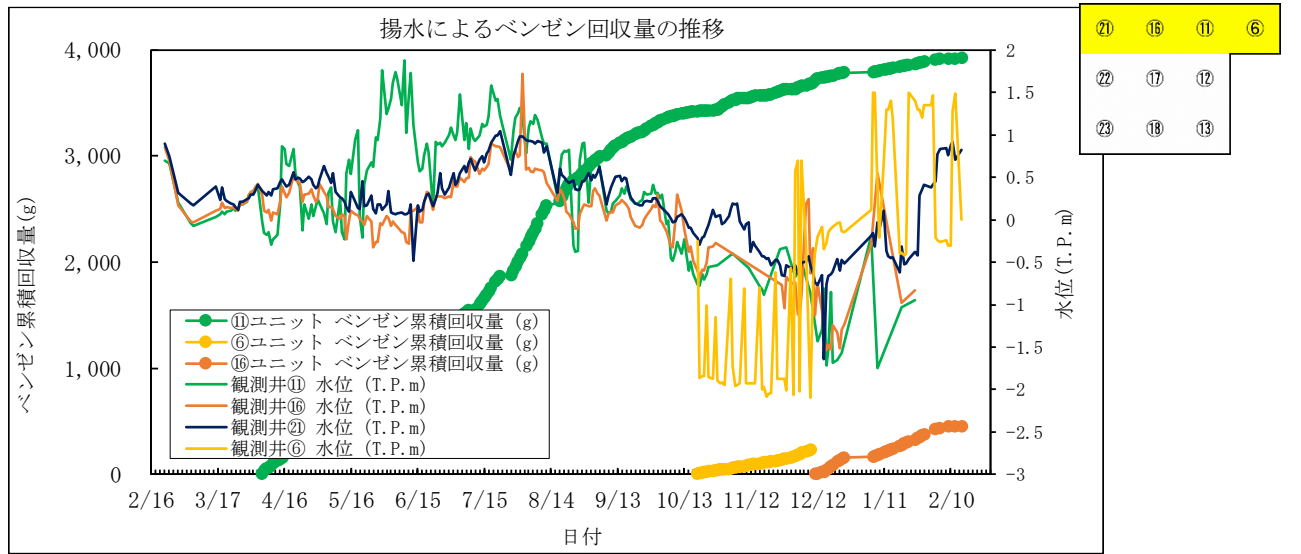


図2 揚水量の推移



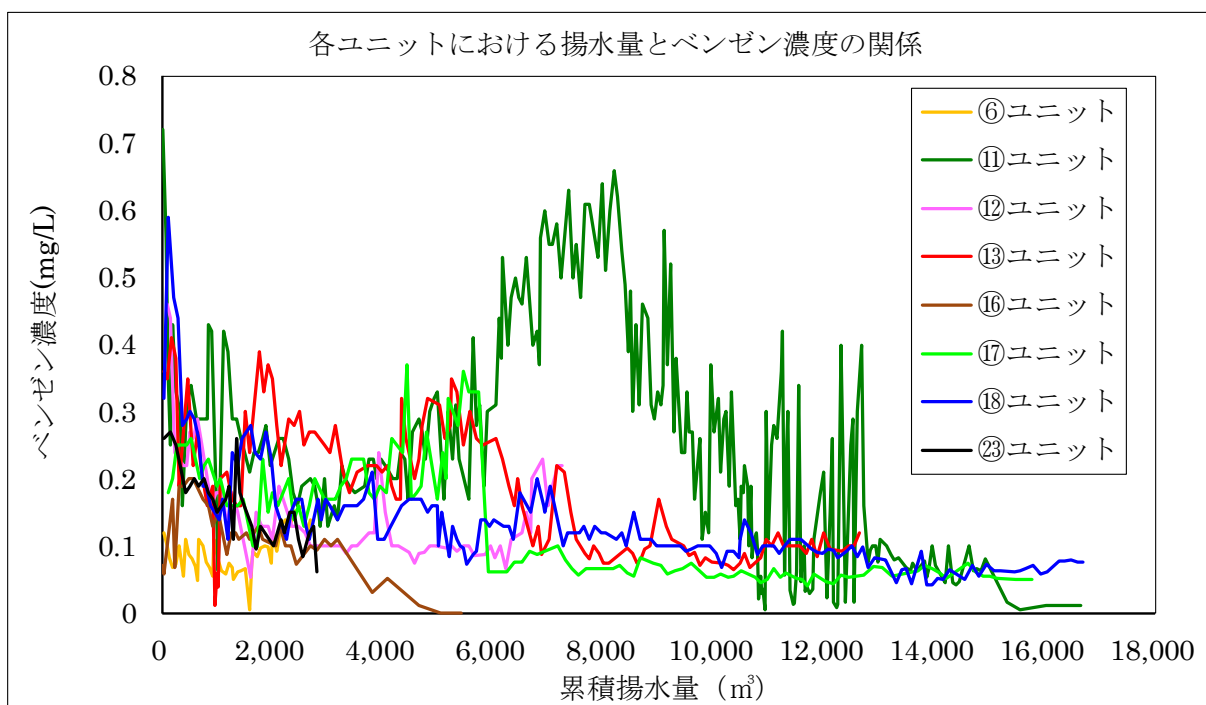
注. 図中のベンゼン濃度は簡易法分析結果による。

図3 ベンゼン濃度の推移



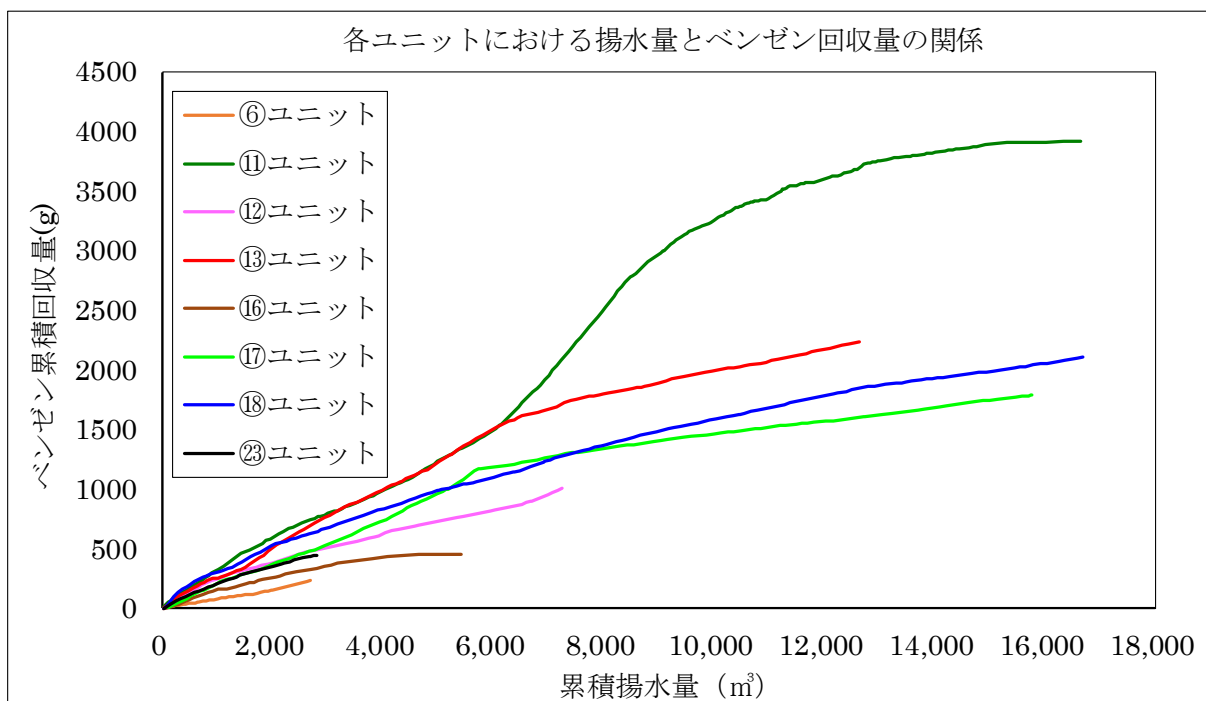
注. 累積回収量の算定に用いた回収地下水中のベンゼン濃度は簡易法分析結果による。

図4 ベンゼン回収量及び地下水位の推移



注. 図中のベンゼン濃度は簡易法分析結果による。

図5 ベンゼン濃度の推移（累積揚水量ベース）



注. 累積回収量の算定に用いた回収地下水中のベンゼン濃度は簡易法分析結果による。

図6 ベンゼン累積回収量（累積揚水量ベース）

### (3) 公定法分析結果

観測井を対象とした公定法による分析結果を表3に示す。

表3 観測井の分析結果（公定法）

		mg/L											
		事前 R2.7.28	掘削後 R2.9.23	稼働直前 R2.10.16	1週間後 R2.10.21	2週間後 R2.10.28	3週間後 R2.11.4	4週間後 R2.11.11	5週間後 R2.11.18	6週間後 R2.11.25	7週間後 R2.12.2	8週間後 R2.12.9	10週間後 R2.12.24
区画⑥ 観測井	ベンゼン	0.52	0.15	0.14	0.007	0.005	0.002	0.003	<0.001	<0.001	0.003	0.001	0.13
	1,4-ジオキサン	0.21	0.19	0.14	0.11	0.11	0.13	0.12	0.13	0.15	0.26	0.21	0.21
	全有機炭素量	110	90	59	61	52	57	63	62	67	26	37	48
		12週間後 R3.1.9	16週間後 R3.2.5										
区画⑥ 観測井	ベンゼン	0.004	<0.001										
	1,4-ジオキサン	0.42	0.37										
	全有機炭素量	31	26										
		事前 R2.4.6	1週間後 R2.4.13	2週間後 R2.4.20	4週間後 R2.5.1	5週間後 R2.5.8	6週間後 R2.5.15	7週間後 R2.5.22	8週間後 R2.5.29	9週間後 R2.6.5	10週間後 R2.6.12	11週間後 R2.6.19	12週間後 R2.6.26
区画⑩ 観測井	ベンゼン	0.89	0.52	0.58	1.7	0.40	1.6	0.43	0.80	0.035	0.28	1.1	1.1
	1,4-ジオキサン	0.32	0.34	0.27	0.20	0.27	0.25	0.22	0.20	0.21	0.31	0.21	0.19
	全有機炭素量	140	160	71	110	130	110	65	76	41	58	95	89
		13週間後 R2.7.3	14週間後 R2.7.10	15週間後 R2.7.16	16週間後 R2.7.22	17週間後 R2.7.29	18週間後 R2.8.5	19週間後 R2.8.12	20週間後 R2.8.19	21週間後 R2.8.26	22週間後 R2.9.2	23週間後 R2.9.9	24週間後 R2.9.16
区画⑩ 観測井	ベンゼン	0.60	1.2	0.57	0.65	0.43	0.41	0.40	0.37	0.54	0.24	0.11	0.17
	1,4-ジオキサン	0.24	0.20	0.22	0.20	0.21	0.24	0.20	0.21	0.45	0.23	0.16	0.21
	全有機炭素量	64	63	58	44	43	43	34	35	130	37	39	36
		25週間後 R2.9.23	26週間後 R2.9.30	27週間後 R2.10.7	28週間後 R2.10.14	29週間後 R2.10.21	30週間後 R2.10.28	31週間後 R2.11.4	32週間後 R2.11.11	33週間後 R2.11.18	34週間後 R2.11.25	35週間後 R2.12.2	36週間後 R2.12.9
区画⑩ 観測井	ベンゼン	0.16	0.12	0.13	0.10	3.4	2.1	1.9	2.9	3.4	0.079	0.16	0.41
	1,4-ジオキサン	0.20	0.31	0.32	0.25	0.47	0.65	0.53	0.63	0.74	0.27	0.20	0.22
	全有機炭素量	26	24	31	28	180	190	180	240	210	28	36	47
		37週間後 R2.12.16	38週間後 R2.12.23	40週間後 R3.1.8	44週間後 R3.2.5								
区画⑩ 観測井	ベンゼン	0.055	0.005	0.040	0.23								
	1,4-ジオキサン	0.12	0.18	0.10	0.58								
	全有機炭素量	37	56	27	93								
		稼働直後 R2.4.30	1週間後 R2.5.7	2週間後 R2.5.14	3週間後 R2.5.21	4週間後 R2.5.28	5週間後 R2.6.4	6週間後 R2.6.11	7週間後 R2.6.18	8週間後 R2.6.25	9週間後 R2.7.2	10週間後 R2.7.9	11週間後 R2.7.16
区画⑫ 観測井	ベンゼン	0.009	0.007	0.009	0.009	0.029	0.10	0.041	0.040	<0.001	0.001	0.005	0.019
	1,4-ジオキサン	0.28	0.29	0.26	0.35	0.28	0.29	0.22	0.22	0.20	0.20	0.28	0.24
	全有機炭素量	84	91	82	85	82	86	59	21	23	23	45	23
		停止 R2.7.22	1週間後 R2.7.31	2週間後 R2.8.7	4週間後 R2.8.21	5週間後 R2.8.22	6週間後 R2.8.28	7週間後 R2.9.4	8週間後 R2.9.11	9週間後 R2.9.18	10週間後 R2.9.25	11週間後 R2.10.2	13週間後 R2.10.16
区画⑫ 観測井	ベンゼン	0.11	0.070	0.039	0.027	0.027	0.018	0.014	0.014	0.016	0.017	0.012	0.012
	1,4-ジオキサン	0.38	0.28	0.29	0.33	0.33	0.32	0.29	0.25	0.30	0.32	0.29	0.32
	全有機炭素量	86	81	81	81	81	87	81	84	85	84	81	83
		15週間後 R2.10.30	17週間後 R2.11.13	19週間後 R2.11.27	21週間後 R2.12.11	23週間後 R2.12.24	25週間後 R3.1.9	29週間後 R3.2.3					
区画⑫ 観測井	ベンゼン	0.002	0.042	0.041	0.037	0.011	0.017	0.007					
	1,4-ジオキサン	0.24	0.21	0.21	0.19	0.28	0.32	0.27					
	全有機炭素量	92	46	31	32	30	42	75					



表3 観測井の分析結果（公定法）（続き）

												mg/L	
		事前 R2.2.25	2週間後 R2.3.7	3週間後 R2.3.13	4週間後 R2.3.20	5週間後 R2.3.27	6週間後 R2.4.3	7週間後 R2.4.10	8週間後 R2.4.17	停止直後 R2.5.1	停止1週間後 R2.5.8		
区画⑬ 観測井	ベンゼン	0.43	0.23	0.18	0.13	0.13	0.11	0.13	0.12	0.11	0.093		
	1,4-ジオキサン	0.94	0.98	1.3	0.75	1.3	1.3	1.8	1.1	1.3	0.97		
	全有機炭素量	190	200	190	110	190	200	220	200	210	200		
		再稼働 R2.7.22	1週間後 R2.7.29	2週間後 R2.8.5	3週間後 R2.8.12	4週間後 R2.8.19	5週間後 R2.8.26	6週間後 R2.9.2	7週間後 R2.9.9	8週間後 R2.9.16	9週間後 R2.9.23	10週間後 R2.9.30	11週間後 R2.10.7
区画⑬ 観測井	ベンゼン	0.14	0.13	0.11	0.11	0.12	0.080	0.061	0.016	0.064	0.055	0.001	<0.001
	1,4-ジオキサン	0.93	1.0	0.96	0.96	0.93	0.93	0.79	0.14	0.79	0.67	0.29	0.30
	全有機炭素量	160	160	150	150	150	160	150	140	150	140	16	18
		12週間後 R2.10.14	14週間後 R2.10.30	16週間後 R2.11.13	18週間後 R2.11.27	20週間後 R2.12.11	22週間後 R2.12.24	24週間後 R3.1.9	28週間後 R3.2.5				
区画⑬ 観測井	ベンゼン	0.003	0.007	0.18	0.004	0.17	0.11	0.11	0.056				
	1,4-ジオキサン	0.25	0.20	0.20	0.26	0.18	0.22	0.24	0.25				
	全有機炭素量	11	12	14	19	20	21	22	36				
		事前 R2.9.29	事前 R2.11.27	稼働直後 R2.12.11	1週間後 R2.12.16	2週間後 R2.12.23	4週間後 R3.1.8	8週間後 R3.2.5					
区画⑯ 観測井	ベンゼン	0.97	0.71	0.40	0.17	0.15	0.24	0.29					
	1,4-ジオキサン	0.19	0.19	0.14	0.86	0.75	0.72	0.75					
	全有機炭素量	110	140	120	140	130	140	170					
		稼働直後 R2.5.14	1週間後 R2.5.21	2週間後 R2.5.28	3週間後 R2.6.4	4週間後 R2.6.11	5週間後 R2.6.18	4週間後 R2.6.25	5週間後 R2.7.2	6週間後 R2.7.10	7週間後 R2.7.16		
区画⑰ 観測井	ベンゼン	0.23	0.17	0.17	0.12	0.13	0.16	0.17	0.051	0.070	0.064		
	1,4-ジオキサン	0.70	0.82	0.69	0.82	0.77	0.66	0.35	0.20	0.21	0.16		
	全有機炭素量	120	110	110	110	110	110	84	26	41	34		
		停止 R2.7.22	1週間後 R2.7.31	2週間後 R2.8.7	4週間後 R2.8.21	5週間後 R2.8.28	6週間後 R2.9.4	7週間後 R2.9.11	8週間後 R2.9.18	9週間後 R2.9.25	10週間後 R2.10.2	12週間後 R2.10.16	14週間後 R2.10.30
区画⑰ 観測井	ベンゼン	0.005	0.005	0.007	0.016	0.013	0.090	0.084	0.11	0.094	0.072	0.053	0.026
	1,4-ジオキサン	0.26	0.23	0.21	0.33	0.30	0.18	0.14	0.21	0.21	0.25	0.24	0.22
	全有機炭素量	15	17	32	23	30	39	41	39	43	33	27	31
		16週間後 R2.11.11	17週間後 R2.11.18	18週間後 R2.11.25	19週間後 R2.12.2	20週間後 R2.12.9	21週間後 R2.12.16	22週間後 R2.12.23	24週間後 R3.1.8	28週間後 R3.2.5			
区画⑰ 観測井	ベンゼン	0.37	0.020	0.027	0.027	0.029	0.017	0.018	0.12	0.025			
	1,4-ジオキサン	0.65	0.25	0.21	0.21	0.21	0.26	0.24	0.75	0.27			
	全有機炭素量	180	24	26	26	26	25	24	110	27			
		事前 R2.2.25	2週間後 R2.3.7	3週間後 R2.3.13	4週間後 R2.3.20	5週間後 R2.3.27	6週間後 R2.4.3	7週間後 R2.4.10	8週間後 R2.4.17	10週間後 R2.5.1	11週間後 R2.5.8	停止直後 R2.5.13	停止1週間後 R2.5.20
区画⑱ 観測井	ベンゼン	2.5	0.041	0.043	0.36	0.20	0.074	<0.001	0.066	0.13	0.020	0.16	0.24
	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.004	<0.004	0.004	0.045	0.014	0.006
	クロロエチレン	0.0013	0.0013	0.0010	0.0018	0.0005	<0.0002	0.0006	0.0007	0.0019	0.015	0.0087	0.0099
	1,4-ジオキサン	0.28	0.18	0.15	0.35	0.36	0.28	0.31	0.32	0.32	0.31	0.29	0.35
	全有機炭素量	91	63	60	83	70	31	44	65	65	88	74	80
		再稼働 R2.7.22	1週間後 R2.7.29	2週間後 R2.8.5	3週間後 R2.8.12	4週間後 R2.8.19	5週間後 R2.8.26	6週間後 R2.9.2	7週間後 R2.9.9	8週間後 R2.9.16	9週間後 R2.9.23	10週間後 R2.10.7	11週間後 R2.10.14
区画⑱ 観測井	ベンゼン	0.33	0.64	0.21	0.35	0.34	0.028	0.045	0.033	0.028	0.14	0.12	0.12
	1,2-ジクロロエチレン	0.016	0.011	0.007	0.016	0.006	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.17	0.018	0.013
	クロロエチレン	0.011	0.011	0.0058	0.010	0.0058	0.0002	0.0006	0.0027	0.0005	0.0098	0.0066	0.0060
	1,4-ジオキサン	0.34	0.31	0.33	0.36	0.34	0.15	0.19	0.12	0.17	0.26	0.30	0.22
	全有機炭素量	73	71	84	80	90	63	64	58	70	64	69	69
		12週間後 R2.10.21	13週間後 R2.10.28	14週間後 R2.11.4	15週間後 R2.11.13	17週間後 R2.11.27	19週間後 R2.12.11	21週間後 R2.12.24	23週間後 R3.1.9	27週間後 R3.2.3			
区画⑱ 観測井	ベンゼン	0.047	0.057	0.10	0.016	0.044	0.012	0.027	0.032	0.017			
	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.006	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004			
	クロロエチレン	0.0004	0.0013	0.0039	<0.0002	0.0033	0.0008	0.0003	0.0005	0.0002			
	1,4-ジオキサン	0.19	0.21	0.19	0.18	0.20	0.19	0.17	0.19	0.15			
	全有機炭素量	65	59	51	63	31	36	41	43	45			

表3 観測井の分析結果（公定法）（続き）

		mg/L											
		事前 R2.9.28	事前 R2.10.31	事前 R2.11.28	事前 R2.12.22	事前 R3.1.11	事前 R3.2.3						
区画⑭ 観測井	ベンゼン	0.022	0.047	0.013	0.039	0.029	0.070						
	1,4-ジオキサン	0.22	0.16	0.18	0.21	0.18	0.17						
	全有機炭素量	52	57	59	52	36	40						
		事前 R2.9.28	事前 R2.10.31	事前 R2.11.28	事前 R3.1.11	事前 R3.2.3							
区画⑮ 観測井	ベンゼン	<0.001	0.007	<0.001	0.071	0.048							
	1,4-ジオキサン	<0.005	0.18	0.22	0.26	0.26							
	全有機炭素量	5.4	18	26	42	38							
		事前 R2.3.7	2週間後 R2.3.13	3週間後 R2.3.13	4週間後 R2.3.20	5週間後 R2.3.27	停止直後 R2.4.3	停止1週間後 R2.4.10	停止中 R2.9.28	停止中 R2.10.31	停止中 R2.11.28	停止中 R2.12.22	停止中 R3.1.11
区画⑯ 観測井	ベンゼン	0.034	0.23	0.11	0.063	0.077	0.075	0.079	0.006	0.011	0.008	0.013	0.014
	1,4-ジオキサン	0.79	0.77	0.64	0.37	0.68	0.32	0.41	0.25	0.22	0.21	0.24	0.26
	全有機炭素量	41	100	69	46	64	42	46	27	34	32	34	28
		停止中 2021/2/3											
区画⑰ 観測井	ベンゼン	0.013											
	1,4-ジオキサン	0.25											
	全有機炭素量	30											

#### 4. 今後の予定

区画⑪⑬⑯において深い層のスクリーンの揚水井（資料Ⅱ／2-2参照）による揚水を継続し、同区画の地下水浄化をさらに進めていくとともに、ウェルポイント停止後の対象区画の水質についてモニタリングし、必要な対策を実施していく。

## 今後の処分地の地下水浄化対策の進め方（その 10）

### 1. 概要

処分地の地下水浄化対策については、豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（以下「地下水検討会」とする。）において審議・了承を得た「今後の処分地の地下水浄化対策の進め方（その 9）」（ⓐ第 1 5 回 II / 3）に従い、順次作業を進めている。

今回、局所的な汚染源での地下水浄化対策（HS 対策）及び区画毎の地下水浄化対策（区画対策）についての地下水浄化対策を整理し、現在の進捗状況及び地点別の具体的な地下水浄化方法を取りまとめた。

なお、具体的な地下水浄化の実施方法については、地下水検討会の各委員から意見等を伺いながら検討している。

### 2. 浄化対策を実施する地点（局所的な汚染源）

局所的な汚染源での地下水浄化対策を図 1 に示す。



### 3. 局所的な汚染源での地下水浄化対策等

#### (1) HS-D西における地下水浄化対策の進め方（揚水を併用した化学処理等を実施中）

適用可能性試験の結果や先行浄化の状況を踏まえ、排水基準超過が確認された小区画（10mメッシュ）を対象にフェントン試薬の注入による化学処理や観測井及び揚水井からの揚水浄化を実施した。（図2）

排水基準に適合していないB+30, 2+30及びB+40, 2+40については、汚染物質が風化花崗岩層に浸透している場合に、反応速度が速いフェントン試薬の注入による化学処理では、酸化剤が十分に浸透せず、浄化効果が低減することが考えられるため、酸化剤のみを継続して注入する揚水を併用した化学処理を実施している。

また、揚水は、B+30, 2+30、B+40, 2+40、C, 2+40及びC, 3の観測井及び揚水井戸（合計16箇所）から実施し、地下水を引き抜くことで酸化剤の浸透促進による浄化を図っている。

揚水を併用した化学処理等による浄化効果が確認されていることから、引き続き、効果を確認しながら、揚水を併用した化学処理等を実施し、必要に応じて、追加の化学処理等の対策を検討し、実施することとする。

その他の小区画については、化学処理及び揚水浄化の実施後、排水基準程度まで地下水の汚染濃度が低下したため、揚水を停止して、経過観察を行っている。

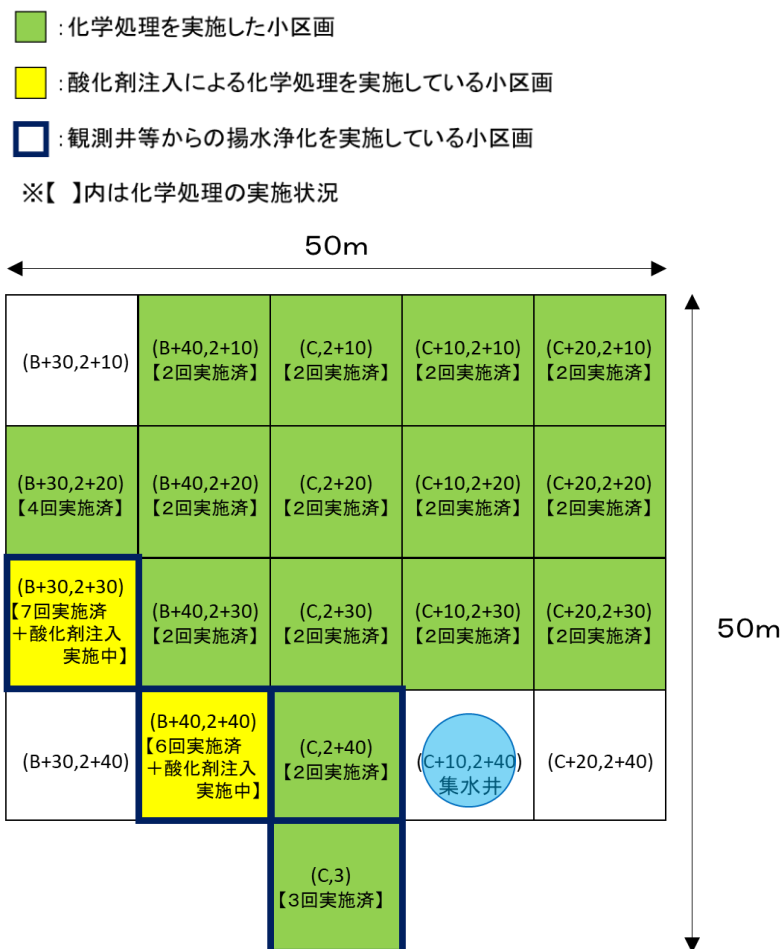


図2 地下水浄化対策を実施する範囲（HS-D西）

## (2) HS-②における地下水浄化対策の進め方(化学処理を実施済)

適用可能性試験の結果や先行浄化の状況を踏まえ、排水基準超過が確認された小区画を対象にフェントン試薬の注入による化学処理を実施し、最後の薬剤注入3週間後に排水基準に適合しなかった小区画(小区画②-5、②-8、②-9)等については、観測井からの揚水浄化を実施した。(図3)

化学処理及び揚水浄化の実施後、排水基準程度まで地下水の汚染濃度が低下したため、揚水を停止して、経過観察を行い、排水基準の適合を確認している。

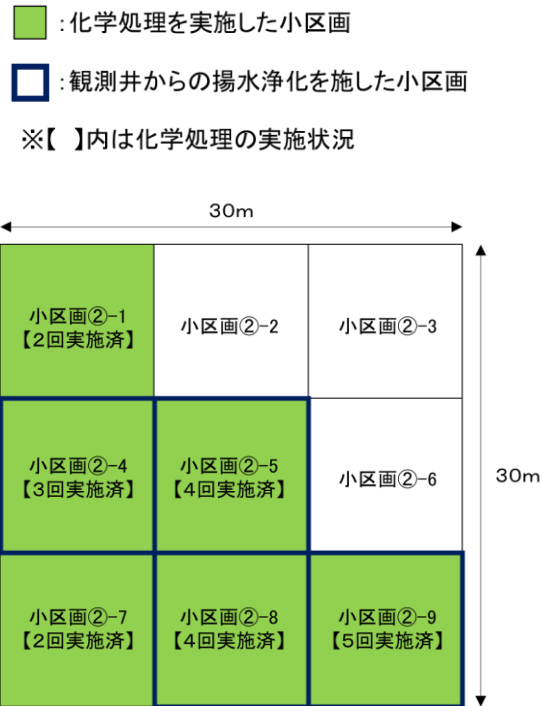


図3 地下水浄化対策を実施する範囲 (HS-②)

### (3) HS-⑨における地下水浄化対策の進め方（土壌の掘削・除去及び化学処理を実施済）

TOC 濃度が高いためフェントン試薬の注入による化学処理では浄化が十分に進行しない可能性が高いことなどから、区画⑨及び小区画⑭-6 の沖積層等については土壌の掘削・除去を実施し、小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4 及び⑨-5 の風化花崗岩層についてはフェントン試薬の注入による化学処理を実施した。（図4）

なお、掘削した土壌のうち土壌溶出量試験結果において、「地下水汚染（つぼ拡張区画）の掘削・運搬マニュアル」に定める基準値を超過している深度の土壌については、積替え施設又は区画内で保管しながら、ガス吸引等を行い、同基準値に適合していることを確認後、処分地内で埋戻しなどに有効利用した。

また、化学処理の実施後、全ての小区画において観測井の水質は排水基準に適合したため、経過観察を行っている。

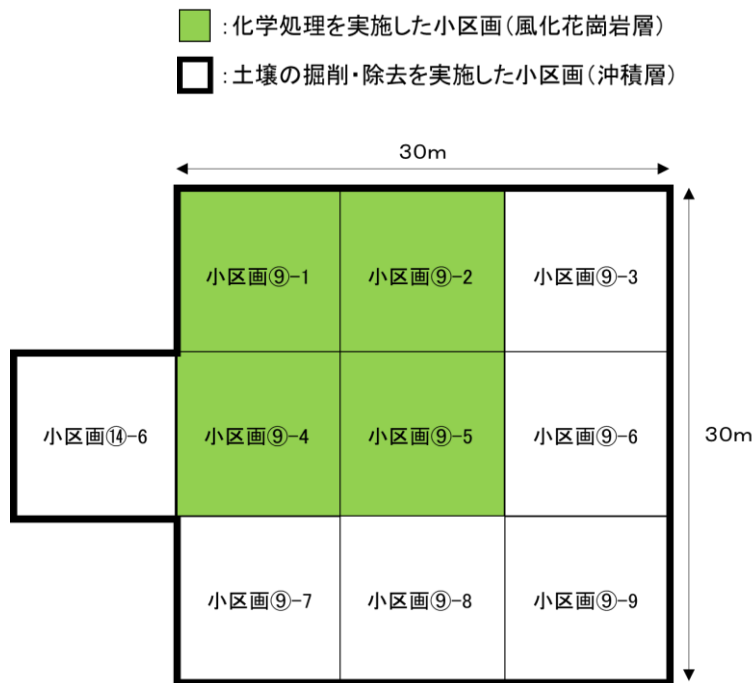


図4 地下水浄化対策を実施する範囲（区画⑨）

(4) HS-③⑩における地下水浄化対策の進め方(注水・揚水井による浄化を実施中)

適用可能性試験の結果や先行浄化の状況を踏まえ、区画③⑩の排水基準超過が確認された小区画を対象にフェントン試薬の注入による化学処理や、注水を併用した揚水浄化対策を実施した。また、一部の小区画では、化学処理又は注水を併用した揚水浄化対策後、観測井等からの揚水浄化を実施した。(図5)

化学処理や揚水浄化の実施後、排水基準程度まで地下水の1,4-ジオキサン濃度が低下したため、揚水を停止して、経過観察を行っている。

また、区画③⑩に隣接する区画②⑤では、1,4-ジオキサンの局所的な汚染が確認されており、1,4-ジオキサンが水溶性の物質であることや、深部の粘土質砂層等が1,4-ジオキサンを高濃度を含む地下水の移動経路になっている可能性が高いことから、小区画②⑤-4、7、8に深部にのみスクリーン(有孔管)を設けた注水・揚水井を設置して、注水・揚水による浄化を実施している。(小区画②⑤-4、②⑤-7は揚水実施中、小区画②⑤-8は注水実施中)

一方で、小区画②⑤-8で実施している注水・揚水井からの注水では、十分な注水量を確保できていないことから、区画②⑤内の北西側(小区画②⑤-4、5、7、8の中央付近)に井戸側を注水井として設置して、注水を行うとともに、小区画②⑤-4、7、8の注水・揚水井からの揚水浄化を実施していく。

なお、区画対策として、既設の揚水井②⑤(小区画②⑤-5)における揚水浄化を実施している。



図5 地下水浄化対策を実施する範囲(HS-③⑩)

(5) HS-⑩における地下水浄化対策の進め方(土壌の掘削・除去を実施済)

小區画⑩-6 付近(小區画⑩-1、⑩-4、⑩-5、⑩-7、⑩-3、⑩-6、⑩-9)では、浅い層から深い層(TP0. 5m～-6. 0m)にかけて高濃度のベンゼンの汚染が確認されたことから、土壌の掘削・除去による浄化対策を実施した。(図6)

なお、TP0m付近までの浅い層の土壌は、バックホウによる掘削・除去、TP0mよりも深い層の土壌は、オールケーシング工法による掘削・除去を実施した。

また、掘削した土壌のうち土壌溶出量試験結果において、「地下水汚染(つば拡張区画)の掘削・運搬マニュアル」に定める基準値を超過している深度の土壌については、積替え施設又は区画内で保管しながら、ガス吸引等を行い、同基準値に適合していることを確認後、処分地内で埋戻しなどに有効利用する。

さらに、土壌の掘削・除去後に地下水を確認できなかったことから、小區画⑩-4及び⑩-6の掘削・除去した深度よりも深い層にスクリーンを設けた観測井を設置して水質モニタリングを実施するとともに、観測井からの揚水浄化を実施している。

なお、区画対策として、区画⑩⑩の中央付近に、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置して揚水浄化を実施しているが、追加で小區画⑩-3、6、9に深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置して揚水浄化を実施する。

■ : 土壌の掘削・除去を実施した小區画

● : オールケーシング工法による土壌の掘削・除去を実施した範囲

□ : 揚水井等からの揚水浄化を実施している小區画

● : 追加の揚水井の設置予定箇所

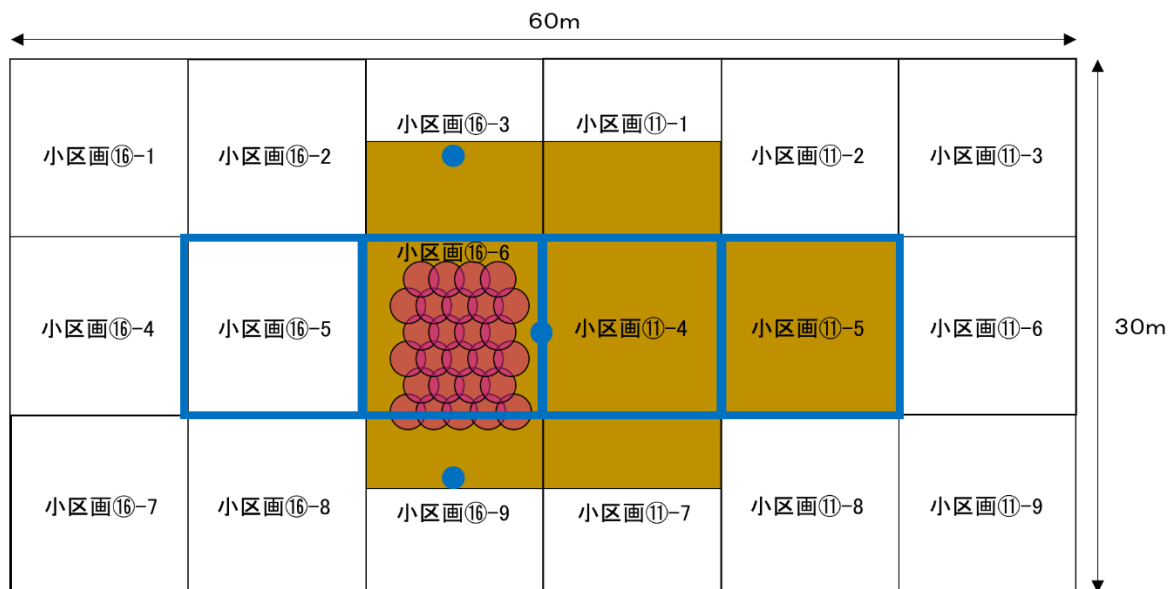


図6 土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する範囲(HS-⑩)



(6) HS-⑱における地下水浄化対策の進め方(ガス吸引井戸による浄化対策を実施済)

小区画⑱-4付近では、T P 1 m付近に高濃度のベンゼンの汚染が確認されたことから、土壌の掘削・除去による浄化対策を実施した。(図7)

なお、掘削した土壌のうち土壌溶出量試験結果において、「地下水汚染(つぼ拡張区画)の掘削・運搬マニュアル」に定める基準値を超過している深度の土壌については、積替え施設又は区画内で保管しながら、ガス吸引等を行い、同基準値に適合していることを確認後、処分地内で埋戻しなどに有効利用する。

また、区画⑱(区画対策として、ウェルポイントによる揚水浄化を実施済)の一部の小区画では、ウェルポイント対策深度よりも浅い層にベンゼンの汚染が確認されたことから、ガス吸引井戸による浄化対策を実施した。

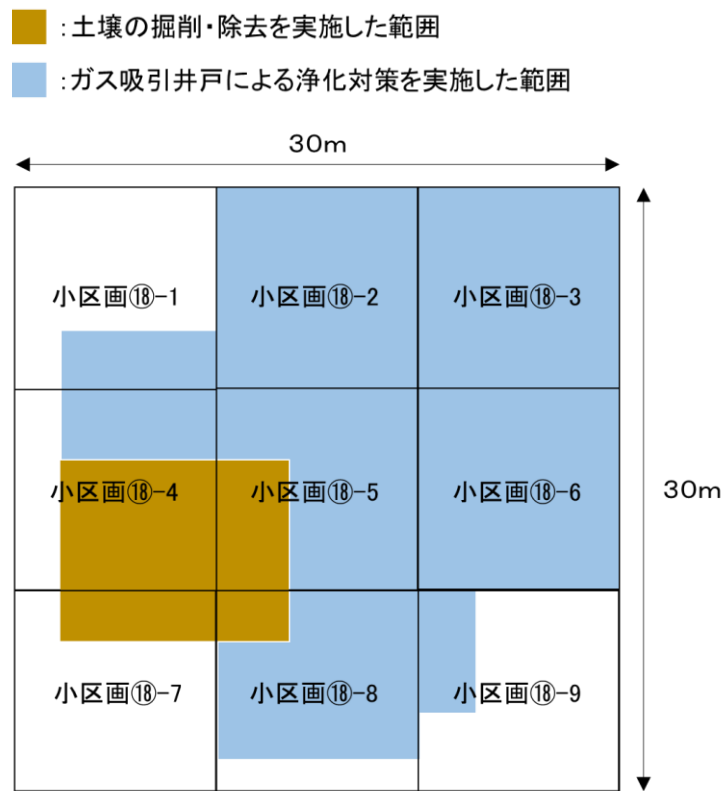


図7 浄化対策を実施した範囲(HS-⑱)

(7) HS-⑥における地下水浄化対策の進め方(土壌の掘削・除去を実施済)

小区画⑥-7及び⑥-8では、TP-0.7m付近に高濃度のベンゼン汚染が確認されたことから、表層の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施した。(図8)

また、掘削した土壌のうち土壌溶出量試験結果において、「地下水汚染(つぼ拡張区画)の掘削・運搬マニュアル」に定める基準値を超過している深度の土壌については、積替え施設又は区画内で保管しながら、ガス吸引等を行い、同基準値に適合していることを確認後、処分地内で埋戻しなどに有効利用した。

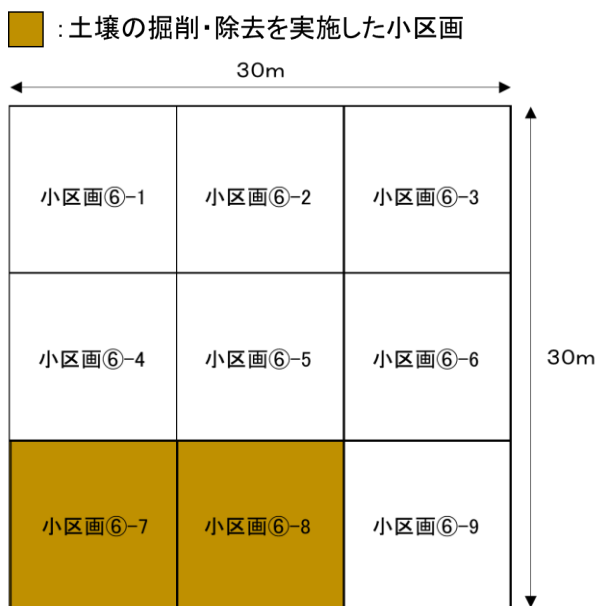


図8 土壌の掘削・除去による浄化対策を実施した範囲(HS-⑥)

(8) HS-⑬における地下水浄化対策の進め方(ガス吸引井戸による浄化対策を実施済)

区画⑬の一部の小区画でウェルポイント対策深度よりも浅い層にベンゼンの汚染が確認されたことから、ガス吸引井戸による浄化対策を実施した。(図9)

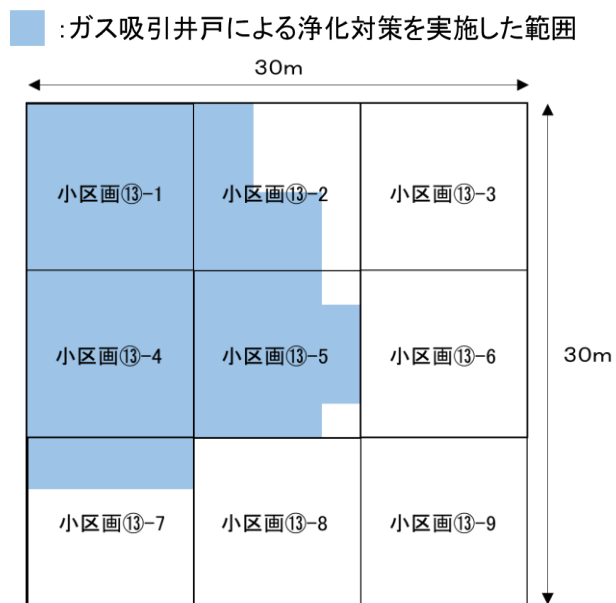


図9 ガス吸引井戸による浄化対策を実施した範囲(HS-⑬)

#### 4. 浄化対策を実施する地点（区画毎）

区画毎の地下水浄化対策を図10に示す。



図10 浄化対策を実施する地点（区画毎）

#### 5. 区画毎の地下水浄化対策等

##### (1) 区画②⑨⑩における地下水浄化対策の進め方(水質モニタリングを実施中)

HS-②⑨⑩対策（化学処理、土壌の掘削・除去、注水を併用した揚水浄化対策等）後、区画中央にオールスクリーンを観測井を設置して、水質モニタリングを実施している。

現在、観測井の水質は、排水基準に適合しており、引き続き、水質を確認する。

##### (2) 区画⑥における地下水浄化対策の進め方(揚水井やウェルポイントによる揚水浄化を実施)

ベンゼンによる汚染が高濃度で存在していることから、揚水井による揚水浄化を実施していたが、揚水量が2 m<sup>3</sup>/日程度と少なく、十分な浄化効果が確認できなかったことから、確認ボーリングによる詳細調査を実施した。

詳細調査の結果、TP-5 m付近にまでベンゼンの汚染が確認されたことから、(HS-⑥対策として、TP 1 m付近まで表層の土壌を掘削・除去後) ウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

現在、観測井の水質は、排水基準に適合しており、引き続き、水質を確認する。

##### (3) 区画⑪⑫⑬⑭⑮⑯における地下水浄化対策の進め方(揚水井による揚水浄化を実施中)

ベンゼンの汚染がTP 0～-3 m付近に集中して存在していることや、ベンゼンが水より比重が軽いことを踏まえ、区画⑪⑫⑬⑭⑮ではウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

一方で、区画⑪⑬では、ウェルポイント対策深度よりも深い層においても、ベンゼンによる汚染が存在していることから、深部だけにスクリーンを設けた揚水井を設置して揚水浄化を実施しており、水質を確認しながら、継続して実施していくとともに、追加で深部だけにスクリーンを設けた揚水井（3箇所）を設置して揚水浄化を実施する。

(4) 区画⑬における地下水浄化対策の進め方(揚水井による揚水浄化を実施中)

ベンゼンの汚染がT P 0～- 3 m付近に集中して存在していることや、ベンゼンが水より比重が軽いことを踏まえ、ウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

その後、観測井でベンゼンのリバウンドが発生していたため、ウェルポイント対策で設置した注水井からの揚水浄化を実施する。

一方で、観測井での深度別の水質調査において、深部で1,4-ジオキサン濃度が高くなる傾向が確認されたことから、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置し、水質を確認し、リバウンドに留意しながら、揚水浄化を実施する。

(5) 区画⑳㉑における地下水浄化対策の進め方(揚水井やウェルポイントによる揚水浄化を実施)

1,4-ジオキサンによる汚染が存在していることや、1,4-ジオキサンが水溶性の物質であることを踏まえ、揚水井による揚水浄化を実施した。

また、ベンゼンの汚染がT P 0～- 3 m付近に集中して存在していること、ベンゼンが水より比重が軽いことを踏まえ、区画㉑ではウェルポイント対策を実施した。

現在、観測井の水質は、排水基準に適合しており、引き続き、水質を確認する。

(6) 区画㉒㉓㉔における地下水浄化対策の進め方(揚水井による揚水浄化等を実施)

区画㉓㉔では1,4-ジオキサンが、区画㉒ではベンゼンが排水基準を超過しているため、引き続き水質を確認し、リバウンドに留意しながら、揚水井による揚水浄化を実施する。

(7) 区画㉕㉖における地下水浄化対策の進め方(揚水井による揚水浄化等を実施)

ベンゼンの汚染がT P 0～- 3 m付近に集中して存在していることを踏まえ、揚水井による揚水浄化を実施した。

現在、観測井の水質は、排水基準に適合しており、引き続き、水質を確認する。

(8) 区画㉗㉘㉙㉚㉛における地下水浄化対策の進め方(揚水井による揚水浄化等を実施中)

1,4-ジオキサンによる汚染が存在しており、区画㉗では、区画中央に設置しているオールスクリーンの揚水井からの揚水浄化を実施するとともに、区画㉘㉙では、深部で1,4-ジオキサン濃度が高くなる傾向が確認されていることから、引き続き、深部のみにスクリーンを設けた揚水井(区画㉘：2箇所、区画㉙：1箇所)から、揚水浄化を実施する。

区画㉚㉛では、深度に関係なく濃度がほぼ均一であるため、オールスクリーンの揚水井からの揚水浄化を実施し、揚水を停止している期間に、リバウンドが生じたため揚水井による揚水浄化を再開している。

(9) D測線西側における地下水浄化対策の進め方(揚水井及び集水井による揚水浄化を実施)

平成26年6月から浅い層での揚水井による揚水浄化、平成27年4月から深い層の揚水井による揚水浄化、平成30年4月から集水井による揚水浄化を実施していたが、HS-D西対策(フェントン試薬の注入による化学処理等)の実施に伴い、令和元年12月から揚水井及び集水井による揚水浄化を一時中断している。

また、D測線西側に2地点オールスクリーンの観測井を設置して、水質モニタリングを実施している。

現在、観測井の水質は、排水基準に適合しており、引き続き、水質を確認する。

(10) その他の区画(20③④⑦⑧⑩⑫)、A3、B5、F1における地下水浄化対策の進め方

ベンゼンや1,4-ジオキサンは処分地全体に広く存在しており、HS対策及び区画対策を実施することにより処分地全体の汚染濃度は低下するものと想定されるので、引き続き、各区画に設置した観測井において水質モニタリングを実施する。

A3、B5、F1については、岩盤のクラック部分の地下水汚染等が原因と考えられるため、方向性を別途検討する。(揚水井B5のみ揚水実施中)

## 6. 今後の予定

現在、別紙に示す今後の処分地の地下水浄化対策の進め方のおり地下水浄化対策を実施中であり、その進捗状況について本検討会で報告し、検討会の指導・助言を得ながら対策を進めていく。

<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>揚水浄化(揚水井)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン ○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)</td></tr> </table>	地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	浄化方法	揚水浄化(揚水井)	浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施	進捗状況	区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑬</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>ガス吸引井戸による浄化対策</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)</td></tr> </table>	地点	HS-⑬	浄化方法	ガス吸引井戸による浄化対策	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)	進捗状況	小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑩</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)</td></tr> </table>	地点	HS-⑩	浄化方法	土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。	進捗状況	小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-D西</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)</td></tr> </table>	地点	HS-D西	浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)	浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する	進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑩</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)</td></tr> </table>	地点	HS-⑩	浄化方法	化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)	浄化対象	○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。	進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑨</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去 化学処理</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)</td></tr> </table>	地点	HS-⑨	浄化方法	土壌の掘削・除去 化学処理	浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)	進捗状況	全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)
地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																
浄化方法	揚水浄化(揚水井)																																																																
浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施																																																																
進捗状況	区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)																																																																
地点	HS-⑬																																																																
浄化方法	ガス吸引井戸による浄化対策																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)																																																																
進捗状況	小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)																																																																
地点	HS-⑩																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。																																																																
進捗状況	小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)																																																																
地点	HS-D西																																																																
浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)																																																																
浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する																																																																
進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)																																																																
地点	HS-⑩																																																																
浄化方法	化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)																																																																
浄化対象	○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。																																																																
進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)																																																																
地点	HS-⑨																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去 化学処理																																																																
浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)																																																																
進捗状況	全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)																																																																
<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑬</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>ガス吸引井戸による浄化対策</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)</td></tr> </table>	地点	HS-⑬	浄化方法	ガス吸引井戸による浄化対策	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)	進捗状況	小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑩</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)</td></tr> </table>	地点	HS-⑩	浄化方法	土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。	進捗状況	小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-D西</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)</td></tr> </table>	地点	HS-D西	浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)	浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する	進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑩</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)</td></tr> </table>	地点	HS-⑩	浄化方法	化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)	浄化対象	○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。	進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑨</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去 化学処理</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)</td></tr> </table>	地点	HS-⑨	浄化方法	土壌の掘削・除去 化学処理	浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)	進捗状況	全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)											
地点	HS-⑬																																																																
浄化方法	ガス吸引井戸による浄化対策																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。(HS-⑩と同様)																																																																
進捗状況	小区画⑬-1、2、4、5:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.7~R3.2)																																																																
地点	HS-⑩																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去 ガス吸引井戸による浄化対策																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。 ○ガス吸引井戸を設置してガス吸引により浄化対策を実施する。 ・ベンゼン汚染が存在しているTP1.5m~0.5mの深度を対象 ・スクリーン区間を設けたガス吸引井戸を設置(小区画内に約8本) ・ガス吸引井戸からガス吸引を行う。																																																																
進捗状況	小区画⑩-4:土壌の掘削・除去実施済(R2.7~8) 小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8:ガス吸引井戸による浄化対策実施済(R2.10~R3.2)																																																																
地点	HS-D西																																																																
浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井、揚水井等)																																																																
浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。 ・排水基準超過が確認された10mメッシュの区画を対象 ・注入井戸を2m間隔で設置・薬剤注入バルブを0.33cm毎に設置 ・地下水汚染領域の深度に対して低圧・低流量で薬剤を注入 ・観測井戸により浄化効果を確認し、必要に応じて、追加の薬剤注入を実施 ○観測井、揚水井等からの揚水浄化を実施する。 ○揚水を併用した化学処理を実施する。 ・既設の化学処理の注入井戸から酸化剤を注入(小区画内で計9本) ・酸化剤として過酸化水素水を使用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら化学処理を実施する																																																																
進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.11) (B+30,2+30)、(B+40,2+30)、(B+40,2+40)、(C,2+40)、(C,3):観測井等からの揚水浄化実施中(R2.7~) (B+30,2+30)、(B+40,2+40):揚水を併用した化学処理実施中(R3.1~)																																																																
地点	HS-⑩																																																																
浄化方法	化学処理 注水を併用した揚水浄化 揚水浄化(観測井等) 注水・揚水浄化(注水・揚水井)																																																																
浄化対象	○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○注水を併用した揚水浄化対策を実施する。 ・地下水の汚染が確認されている深度を対象 ・揚水井戸を4m間隔で設置(小区画内で計9本) ・既設の薬剤注入井戸を4m間隔で注水井戸として使用(小区画内で計9本) ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施 ○観測井等からの揚水浄化を実施する。 ○注水・揚水井(深部のみスクリーン)からの注水・揚水浄化を実施する。																																																																
進捗状況	全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7) 小区画⑩-5、6:注水・揚水浄化実施済(R2.6~8) 小区画⑩-2、3:観測井からの揚水浄化実施(R2.7~9) 小区画⑩-5、6:観測井等からの揚水浄化実施(R2.9) 小区画⑩-4、7、8:注水・揚水井からの注水・揚水浄化を実施中(R2.12~)																																																																
地点	HS-⑨																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去 化学処理																																																																
浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン ○クロロエチレン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。(沖積層) ○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(風化花崗岩層) (HS-D西と同様)																																																																
進捗状況	全ての小区画(沖積層):土壌の掘削・除去実施済(R2.1~R2.6) 小区画⑨-1、⑨-2、⑨-4、⑨-5(風化花崗岩層):化学処理実施済(R2.7~9)																																																																
<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>揚水浄化(揚水井)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン ○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)</td></tr> </table>	地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	浄化方法	揚水浄化(揚水井)	浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施	進捗状況	区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑩</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する ・TP0m付近までの浅い層はバックホウによる掘削 ・TP0mよりも深い層はオールケーシング工法による掘削</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>浅い層(小区画⑩-1、⑩-4、⑩-5、⑩-7、⑩-3、⑩-6、⑩-9):土壌の掘削・除去実施済(R2.9~10) 深い層(小区画⑩-6):オールケーシング工法による土壌の掘削・除去実施済(R2.10~11) 小区画⑩-4、⑩-6:観測井からの揚水浄化実施中(R3.2~)</td></tr> </table>	地点	HS-⑩	浄化方法	土壌の掘削・除去	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する ・TP0m付近までの浅い層はバックホウによる掘削 ・TP0mよりも深い層はオールケーシング工法による掘削	進捗状況	浅い層(小区画⑩-1、⑩-4、⑩-5、⑩-7、⑩-3、⑩-6、⑩-9):土壌の掘削・除去実施済(R2.9~10) 深い層(小区画⑩-6):オールケーシング工法による土壌の掘削・除去実施済(R2.10~11) 小区画⑩-4、⑩-6:観測井からの揚水浄化実施中(R3.2~)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>ウェルポイント対策</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○ウェルポイント等による揚水浄化を実施する。 ・高濃度のベンゼン汚染が存在しているTP0~3mの深度を対象 ・ウェルポイント等を5m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計36本) ・注水井戸を10m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計9本) ・高度排水処理施設の処理水等を注水として活用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:ウェルポイントによる揚水浄化実施済(R2.2~R3.2)</td></tr> </table>	地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	浄化方法	ウェルポイント対策	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○ウェルポイント等による揚水浄化を実施する。 ・高濃度のベンゼン汚染が存在しているTP0~3mの深度を対象 ・ウェルポイント等を5m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計36本) ・注水井戸を10m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計9本) ・高度排水処理施設の処理水等を注水として活用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施	進捗状況	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:ウェルポイントによる揚水浄化実施済(R2.2~R3.2)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-⑥</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>土壌の掘削・除去</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○ベンゼン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>区画⑥:土壌の掘削・除去実施済(R2.9)</td></tr> </table>	地点	HS-⑥	浄化方法	土壌の掘削・除去	浄化対象	○ベンゼン	浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。	進捗状況	区画⑥:土壌の掘削・除去実施済(R2.9)	<table border="1"> <tr><td>地点</td><td>HS-②</td></tr> <tr><td>浄化方法</td><td>化学処理 揚水浄化(観測井)</td></tr> <tr><td>浄化対象</td><td>○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン</td></tr> <tr><td>浄化対策の内容</td><td>○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○観測井からの揚水浄化を実施する。</td></tr> <tr><td>進捗状況</td><td>小区画②-4、5、8、9:観測井からの揚水浄化実施(R2.6~9) 全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7)</td></tr> </table>	地点	HS-②	浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井)	浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン	浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○観測井からの揚水浄化を実施する。	進捗状況	小区画②-4、5、8、9:観測井からの揚水浄化実施(R2.6~9) 全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7)											
地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																
浄化方法	揚水浄化(揚水井)																																																																
浄化対象	○ベンゼン ○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○揚水井による揚水浄化を実施する。 ・ベンゼン及び1,4-ジオキサンの汚染が存在している地下水汚染領域の深度までを対象(一部の揚水井は深部のみにスクリーンを設置) ・揚水井を区画中央付近に設置 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施																																																																
進捗状況	区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施中(R1.10~) ※区画①⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟は、深部のみにスクリーンを設けた揚水井を設置 区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:揚水井からの揚水浄化実施(R1.10~R2.8)																																																																
地点	HS-⑩																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する ・TP0m付近までの浅い層はバックホウによる掘削 ・TP0mよりも深い層はオールケーシング工法による掘削																																																																
進捗状況	浅い層(小区画⑩-1、⑩-4、⑩-5、⑩-7、⑩-3、⑩-6、⑩-9):土壌の掘削・除去実施済(R2.9~10) 深い層(小区画⑩-6):オールケーシング工法による土壌の掘削・除去実施済(R2.10~11) 小区画⑩-4、⑩-6:観測井からの揚水浄化実施中(R3.2~)																																																																
地点	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟																																																																
浄化方法	ウェルポイント対策																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○ウェルポイント等による揚水浄化を実施する。 ・高濃度のベンゼン汚染が存在しているTP0~3mの深度を対象 ・ウェルポイント等を5m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計36本) ・注水井戸を10m間隔で設置(30mメッシュの区画内に計9本) ・高度排水処理施設の処理水等を注水として活用 ・水質モニタリングにより浄化効果を確認しながら揚水浄化を実施																																																																
進捗状況	区画⑥⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟:ウェルポイントによる揚水浄化実施済(R2.2~R3.2)																																																																
地点	HS-⑥																																																																
浄化方法	土壌の掘削・除去																																																																
浄化対象	○ベンゼン																																																																
浄化対策の内容	○地下水汚染領域の土壌の掘削・除去による浄化対策を実施する。																																																																
進捗状況	区画⑥:土壌の掘削・除去実施済(R2.9)																																																																
地点	HS-②																																																																
浄化方法	化学処理 揚水浄化(観測井)																																																																
浄化対象	○トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物 ○ベンゼン ○1,4-ジオキサン																																																																
浄化対策の内容	○フェントン試薬の注入による化学処理を実施する。(HS-D西と同様) ○観測井からの揚水浄化を実施する。																																																																
進捗状況	小区画②-4、5、8、9:観測井からの揚水浄化実施(R2.6~9) 全ての小区画:化学処理実施済(R1.11~R2.7)																																																																

図 今後の処分地の地下水浄化対策の進め方(令和3年2月時点)

局所的な汚染源への対策の終了の確認 (HS-②⑥⑨⑬⑱)

1. 概要

「処分地全域での地下水における排水基準の到達及び達成の確認マニュアル」に基づき、排水基準の到達の評価に当たっては、局所的な汚染源への対策の終了が重要となる。

局所的な汚染源については、その汚染状況等に応じた浄化対策をそれぞれ実施しており、それらの中で、今回、対策を終了する地点について、以下のとおり報告するものである。

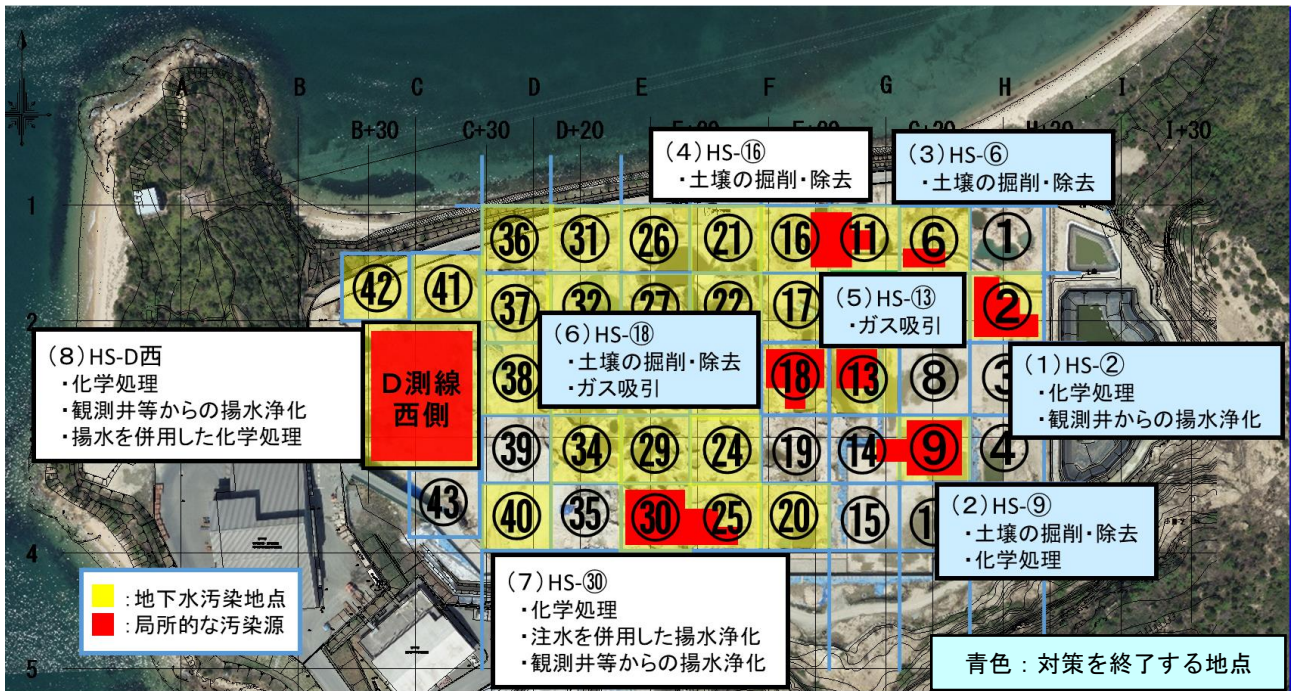


図 1 局所的な汚染源の位置及び浄化対策の概要

表 1 局所的な汚染源への対策の現状

局所的な汚染源	浄化対策	直近の浄化対策	状況
(1) HS-②	実施済	観測井からの揚水浄化	対策を終了し、区画の観測井のモニタリングに移行
(2) HS-⑨	実施済	化学処理	対策を終了し、区画の観測井のモニタリングに移行
(3) HS-⑥	実施済	土壌の掘削・除去	対策を終了し、区画の観測井のモニタリングに移行
(4) HS-⑱	実施済	土壌の掘削・除去	揚水浄化を継続
(5) HS-⑬	実施済	ガス吸引	対策を終了し、区画の観測井のモニタリングに移行
(6) HS-⑱	実施済	ガス吸引	対策を終了し、区画の観測井のモニタリングに移行
(7) HS-⑳	実施中	注水を併用した揚水浄化	揚水浄化を継続
(8) HS-D西	実施中	揚水を併用した化学処理	揚水浄化を継続

※青色は対策を終了する地点（今回報告分）である。

## 2. 各対策の状況

### (1) HS-② (小区画②-1、4、5、7、8、9)

#### 1) 局所的な汚染の状況

平成30年5月から翌年1月にかけて実施した調査により、小区画②-1、4、5、7、8、9において、ベンゼン等の排水基準値の超過が確認されたため、これらの小区画を浄化対象とした。

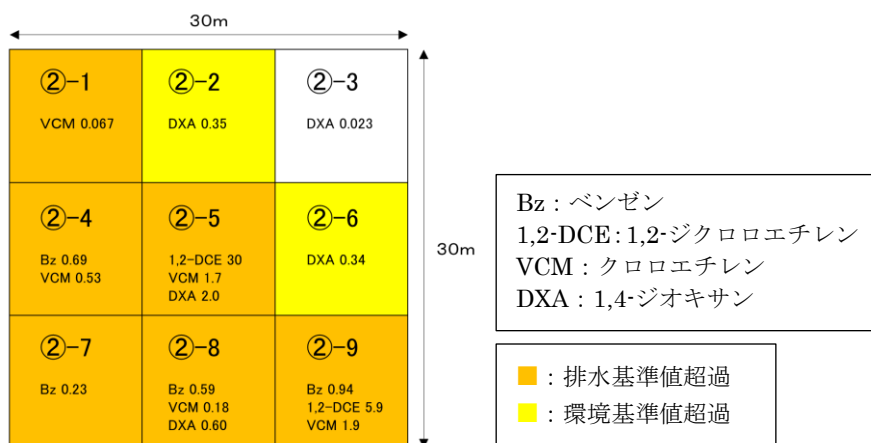


図1-1 既往調査における地下水の汚染物質濃度の最大値 (表1-1より抜粋)

表1-1 既往調査における水質試験結果 (Ⓢ第6回Ⅱ/4 別添1より抜粋)

30mメッシュの区画	②														
詳細調査区画	1			2			3		4				5		
採水深度(T.P.)m	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-2.7~ -3.7	+0.5~ -0.5	-0.6~ -1.6	-3.5~ -4.3	+0.5~ -0.5	-1.5~ -2.5	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-5.6~ -6.6	-6.5~ -7.8	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-4.8~ -5.8
検体採取日	H30.6.29	H30.6.29	H30.7.2	H30.7.2	H30.7.2	H30.12.27	H30.7.3	H30.12.28	H30.7.5	H30.7.6	H30.7.6	H31.1.7	H30.7.11	H30.5.29	H30.5.29
ベンゼン	0.006	0.007	0.004	0.017	0.016	ND	ND	ND	0.062	0.69	0.14	0.080	0.10	0.21	0.14
1,4-ジオキサン	0.024	0.032	0.035	0.047	0.35	0.024	0.016	0.023	0.25	0.32	0.091	0.13	0.20	0.89	2.0
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	0.007	0.020	0.008	0.085	0.28
1,2-ジクロロエチレン	ND	0.11	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	0.40	0.12	0.094	2.0	30	13
クロロエチレン	ND	0.067	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	0.53	0.18	0.20	0.46	1.7	0.66
土質区分	礫混り砂	砂	砂 強風化花崗岩	砂 粘土 砂	砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	砂質粘土 強風化花崗岩	強風化花崗岩	砂	粘土質砂	強風化花崗岩	強風化花崗岩	砂	粘土質砂	強風化花崗岩

30mメッシュの区画	②														
詳細調査区画	6			7				8				9			
採水深度(T.P.)m	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-5.8~ -6.8	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-7.0~ -8.0	-11.5~ -12.9	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-6.3~ -7.3	-7.5~ -8.5	+0.5~ -0.5	-2.0~ -3.0	-4.5~ -5.5	-6.5~ -7.2
検体採取日	H30.7.4	H30.7.3	H30.7.3	H30.7.5	H30.7.5	H30.7.5	H31.1.9	H30.7.4	H30.7.4	H30.7.5	H31.1.10	H30.7.4	H30.7.4	H30.7.4	H31.1.11
ベンゼン	0.019	0.002	0.002	0.23	0.031	0.004	0.001	0.070	0.59	0.21	0.15	0.29	0.15	0.58	0.94
1,4-ジオキサン	0.34	0.12	0.032	0.053	0.11	0.063	0.047	0.60	0.34	0.14	0.11	0.19	0.22	0.39	0.23
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	0.002	ND	0.088	0.011	0.19	0.003
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	0.006	0.079	ND	ND	0.03	0.40	0.043	0.006	2.4	2.1	5.9	0.093
クロロエチレン	ND	ND	ND	0.010	0.0039	ND	ND	0.018	0.18	0.0035	ND	1.9	0.27	0.33	0.054
土質区分	粘土質砂	粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	砂	粘土質砂 砂質粘土	粘土質砂	強風化花崗岩	シルト混り砂 砂 粘土質砂	粘土質砂	粘土質砂	粘土質砂 強風化花崗岩	粘土質砂	粘土質砂	粘土質砂	粘土質砂 強風化花崗岩

■ : 排水基準値超過  
■ : 環境基準値超過



## 2) 局所的な汚染源の浄化対策

小区画②-1、4、5、7、8、9においてフェントン試薬の注入による化学処理を実施し、実施後に排水基準値の超過が確認された小区画②-4、5、8、9においては、観測井からの揚水浄化を実施した。

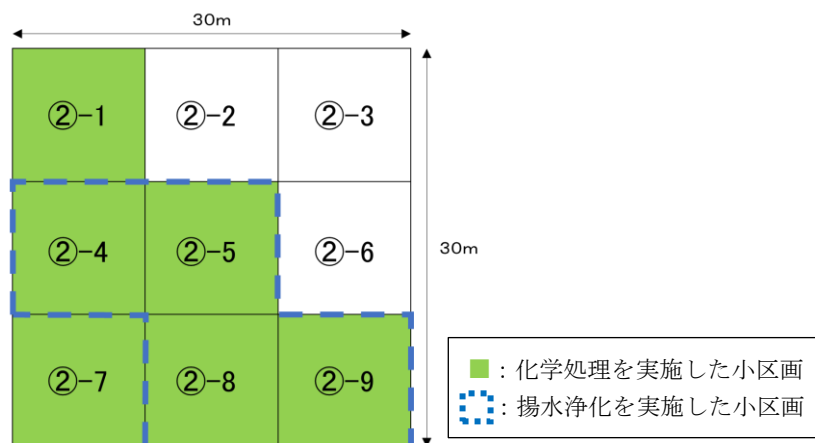


図1-2 HS-②における浄化対策の実施範囲

### i) 化学処理

令和元年11月から令和2年7月までフェントン試薬の注入による化学処理を実施した。表1-2に示すとおり、小区画②-1、7については排水基準に適合した。小区画②-4、5、8、9については化学処理の実施後に排水基準値の超過が確認されたため、ii)に示す揚水浄化に移行した。

### ii) 揚水浄化

化学処理の実施後に排水基準値の超過が確認された小区画②-5、8、9及び、化学処理後に排水基準値の再超過が確認された小区画②-4において、令和2年7月から9月まで観測井からの揚水浄化を実施し、表1-2のとおり、その後のモニタリングにて排水基準の適合が確認された。

## 3) 評価等

以上のとおり、化学処理を実施した小区画②-1、7では地下水の排水基準適合が確認され、揚水浄化を実施した小区画②-4、5、8、9においても排水基準適合が確認された。さらに、資料Ⅱ/1のとおり、区画②の中央の観測井においても排水基準に適合しているため、局所的な汚染の対策が終了したものと考えられる。

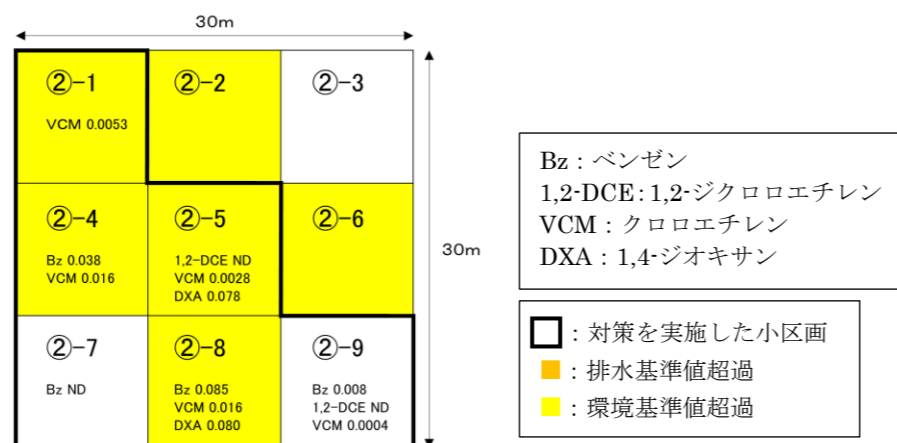


図 1-3 浄化対策後の地下水の水質 (表1-2より抜粋)

表 1-2 水質モニタリング結果

地点	項目	深度別調査 最大値	薬剤注入前	2月前半	2月後半	3月前半	3月後半	4月前半	4月後半	5月前半	5月後半	6月前半	6月後半	7月前半	7月後半	8月前半	8月後半	9月前半	9月後半	10月前半	10月後半	11月前半	11月後半	12月前半	12月後半	
②-1	採水日	—	R1.11.27	R2.2.15			R2.3.27	R2.4.9										R2.9.1	R2.9.21							
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後			2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後																		
	VCM(mg/L)	0.067	0.0012	0.0003			0.0017	0.0031											0.0014	0.0053						
②-4	採水日	—	R1.11.27	R2.2.14			R2.3.24	R2.4.7				R2.6.13	R2.6.19	R2.7.4		R2.8.1	R2.8.22	R2.9.14	R2.9.28				R2.11.30	R2.12.12	R2.12.24	
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後			2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後				3回目の薬剤注入1日後	3回目の薬剤注入1週間後	3回目の薬剤注入3週間後	← 観測井からの揚水 →											
	Bz(mg/L)	0.69	0.081	0.049			0.015	0.013				0.008	0.016	0.008		0.073	0.024	0.029	0.025				0.011	<0.001	0.038	
	VCM(mg/L)	0.53	0.11	0.095			0.021	0.026				0.0080	0.027	0.0066		0.25	0.060	0.059	0.063				0.024	0.0030	0.016	
②-5	採水日	—	R1.12.5	R2.2.11			R2.3.19	R2.4.3				R2.6.8	R2.6.26	R2.7.15	R2.7.27	R2.8.8	R2.8.22	R2.9.14	R2.9.28		R2.10.28		R2.11.23			
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後			2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後				3回目の薬剤注入1日後	4回目の薬剤注入1日後	4回目の薬剤注入3週間後	← 観測井からの揚水 →											
	Bz(mg/L)	0.21	0.006	0.023			0.007	0.013				0.003	0.003	0.017	0.012	0.003	0.008	0.010	0.001			0.010		0.005		
	TCE(mg/L)	0.28	<0.001	0.014			0.008	0.019				0.005	0.005	0.006	0.001	<0.001	<0.001	0.003	0.003	0.007			0.003		<0.001	
	1,2-DCE(mg/L)	30	0.025	0.73			0.24	0.28				0.071	0.10	0.070	0.010	<0.004	0.008	0.011	0.046			0.005		<0.004		
	VCM(mg/L)	1.7	0.066	0.20			0.043	0.019				0.020	0.042	0.14	0.076	0.0043	0.028	0.024	0.025			0.0062		0.0028		
1,4-DXA(mg/L)	2.0	0.12	0.26			0.10	0.095				0.094	0.078	0.090	0.087	0.043	0.049	0.091	0.084			0.11		0.078			
②-7	採水日	—	R1.12.16	R2.2.7		R2.3.10	R2.3.30														R2.10.1					
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後		2回目の薬剤注入1日後	2回目の薬剤注入3週間後																			
	Bz(mg/L)	0.23	0.065	0.078		0.036	0.031															<0.001				
②-8	採水日	—	R1.12.5	R2.2.7		R2.3.14	R2.3.30	R2.4.7	R2.4.27			R2.6.12	R2.6.18	R2.7.4		R2.8.1	R2.8.22	R2.9.14	R2.9.28		R2.10.28		R2.11.30		R2.12.24	
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後		2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後	3回目の薬剤注入1日後	3回目の薬剤注入3週間後			4回目の薬剤注入1日後	4回目の薬剤注入1週間後	4回目の薬剤注入3週間後	← 観測井からの揚水 →											
	Bz(mg/L)	0.59	0.27	0.46		0.34	0.41	0.14	0.16			0.081	0.16	0.19		0.11	0.12	0.085	0.066			0.11		0.021	0.085	
	VCM(mg/L)	0.18	0.020	0.072		0.038	0.036	0.026	0.021			0.018	0.019	0.40		0.24	0.060	0.034	0.032			0.030		0.0039	0.016	
1,4-DXA(mg/L)	0.60	0.22	0.22		0.21	0.24	0.13	0.12			0.10	0.14	0.13		0.12	0.14	0.12	0.15			0.12		0.036	0.080		
②-9	採水日	—	R1.11.27	R2.2.1		R2.3.11	R2.3.21	R2.4.6	R2.4.18			R2.6.10	R2.6.27	R2.7.13		R2.8.1	R2.8.22	R2.9.14	R2.9.28		R2.10.28		R2.11.23		R2.12.24	
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤注入1週間後			2回目の薬剤注入3週間後	3回目の薬剤注入1週間後	3回目の薬剤注入3週間後			4回目の薬剤注入1週間後	5回目の薬剤注入1週間後	5回目の薬剤注入3週間後	← 観測井からの揚水 →											
	Bz(mg/L)	0.94	0.49	0.25		0.10	0.20	0.12	0.12			0.097	0.078	0.039		0.013	0.014	0.015	0.017			0.031		0.004	0.008	
	TCE(mg/L)	0.19	0.10	0.38		0.050	0.035	0.27	0.046			0.027	0.015	0.015		0.005	0.002	0.003	0.002			0.013		<0.001	0.001	
	VCM(mg/L)	1.9	0.27	0.28		0.035	0.12	0.26	0.23			0.76	0.55	0.093		0.074	0.075	0.074	0.045			0.030		0.0003	0.0004	

Bz : ベンゼン  
 TCE : トリクロロエチレン  
 1,2-DCE : 1,2-ジクロロエチレン  
 VCM : クロロエチレン  
 1,4-DXA : 1,4-ジオキサン

■ : 排水基準値の 10 倍超過 (VCM は環境基準値の 100 倍)  
 ■ : 排水基準値超過 (VCM は環境基準値の 10 倍)  
 ■ : 環境基準値超過

(2) HS-⑨ (区画⑨、小区画⑭-6)

1) 局所的な汚染の状況

平成30年5月から12月にかけて実施した調査により、区画⑨及び小区画⑭-6において、ベンゼン等の排水基準値の超過が確認されたため、これらの範囲を浄化対象とした。

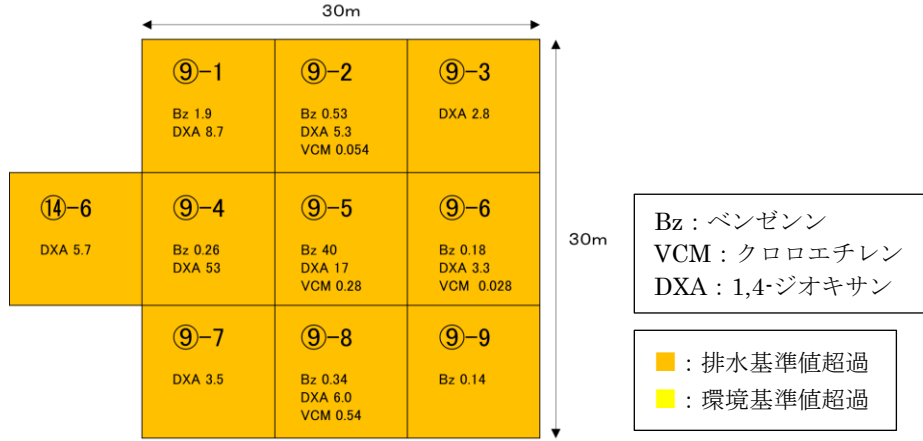


図2-1 既往調査における地下水の汚染物質濃度の最大値 (表2-1より抜粋)

表2-1 既往調査における水質試験結果 (※第6回Ⅱ/4 別添1より抜粋)

30mメッシュの区画	⑨																
詳細調査区画	1				2				3		4		5				
採水深度 (T.P.)m	+0.5~-0.5	-2.0~-3.0	-5.4~-6.4	-6.5~-7.0	+0.5~-0.5	-2.0~-3.0	-6.0~-7.0	-8.5~-9.7	+0.5~-0.5	-1.9~-2.9	+0.5~-0.5	-1.4~-2.4	-6.0~-7.5	+0.5~-0.5	-2.0~-3.0	-2.3~-3.3	-4.5~-5.5
検体採取日	H30.7.6	H30.7.6	H30.7.6	H30.12.6	H30.7.10	H30.7.10	H30.7.10	H30.12.7	H30.7.9	H30.7.9	H30.7.6	H30.7.9	H30.12.4	H30.7.11	H30.5.30	H30.5.30	H30.12.5
ベンゼン	0.47	0.30	0.60	1.9	0.046	0.053	0.53	0.018	0.009	0.014	0.037	0.13	0.26	0.042	17	31	40
1,4-ジオキサン	6.8	8.7	4.1	0.96	2.1	2.7	5.3	0.70	0.30	2.8	53	32	1.3	1.4	17	16	4.9
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	0.011	0.011
1,2-ジクロロエチレン	0.004	0.010	0.008	0.009	ND	0.015	0.039	0.005	ND	0.005	ND	0.007	ND	0.004	0.15	0.13	0.089
クロロエチレン	0.003	ND	ND	0.0067	ND	0.010	0.054	0.0023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.066	0.030	0.28
土質区分	砂 粘土	砂 砂質粘土	粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	粘土質砂	粘土質砂 砂質粘土	強風化花崗岩	強風化花崗岩	粘土混り砂 シルト 粘土質砂	粘土質砂	礫混り粘土質砂 強風化花崗岩	礫混り砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	粘土質砂	粘土混り砂 礫混り砂	礫混り砂	強風化花崗岩

30mメッシュの区画	⑨												⑭			
詳細調査区画	6			7		8			9			6				
採水深度 (T.P.)m	+0.5~-0.5	-2.0~-3.0	-3.2~-4.2	+1.6~+0.6	-1.5~-2.5	+0.5~-0.5	-0.2~-1.2	-1.5~-2.5	-3.5~-3.9	+2.5~+1.5	-1.5~-2.5	-2.5~-3.4	+0.5~-0.5	-0.6~-1.6	-1.5~-2.5	-3.5~-4.3
検体採取日	H30.7.9	H30.7.9	H30.7.10	H30.7.9	H30.12.17	H30.7.11	H30.7.11	H30.12.19	H30.12.19	H30.7.12	H30.12.25	H30.12.25	H30.12.17	H30.12.14	H30.12.26	H30.12.26
ベンゼン	0.012	0.18	0.017	0.050	0.002	0.23	0.34	0.29	0.14	0.14	0.012	0.004	0.057	0.028	0.024	0.019
1,4-ジオキサン	1.6	3.3	0.34	3.5	0.016	6.0	4.0	0.56	0.35	0.27	0.18	0.086	5.7	9.4	0.79	0.36
トリクロロエチレン	ND	0.003	ND	ND	ND	0.004	0.006	0.009	0.005	ND	ND	ND	0.004	0.002	ND	ND
1,2-ジクロロエチレン	ND	0.056	ND	ND	ND	0.026	0.27	0.029	0.015	ND	ND	ND	0.007	0.004	ND	ND
クロロエチレン	ND	0.028	ND	ND	ND	0.082	0.54	0.043	0.021	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND
土質区分	礫混り砂 粘土質砂 砂質粘土 粘土質砂	粘土質砂	粘土質砂	強風化花崗岩	強風化花崗岩	粘土質砂	粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	強風化花崗岩	礫混り粘土質砂	礫混り粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	礫混り粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	強風化花崗岩	強風化花崗岩

■ : 排水基準値超過  
 ■ : 環境基準値超過

## 2) 局所的な汚染源の浄化対策

区画⑨及び小区画⑭-6において沖積層の土壌の掘削・除去を実施した。また、深い層の汚染が確認されていた小区画⑨-1、2、4、5においては、フェントン試薬の注入による化学処理を実施した。

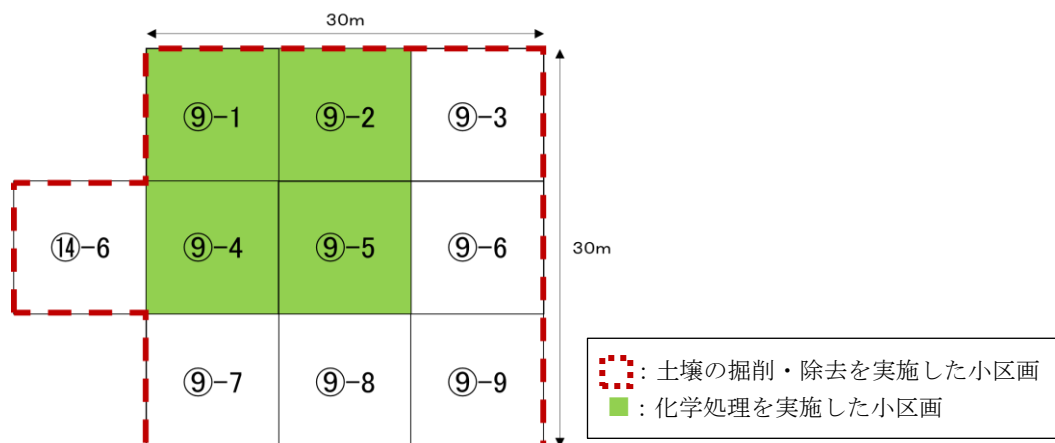


図 2-2 HS-⑨における浄化対策の実施範囲

### i) 掘削・除去

区画⑨及び小区画⑭-6では、地下水中の TOC 濃度が高いためフェントン試薬の注入による化学処理では浄化が十分に進行しない可能性が高い等の理由から、令和 2 年 1 月から 6 月まで沖積層の土壌の掘削・除去を実施した。

なお、表 2-2 のとおり、掘削底面から湧水のあった小区画⑨-1、2、3、5、6、8 については湧水の水質試験を行い、全て排水基準に適合していることを確認した。

表 2-2 各小区画の湧水の水質試験結果

小区画	掘削深度 TP (m)	ベンゼン	1,4-ジオキサン	備考
⑨-1	-5.8	0.003	0.047	掘削底面
⑨-2	-6.0	0.002	0.13	掘削底面
⑨-3	-5.9	0.001	0.096	掘削底面
⑨-4	-3.0			湧水なし
⑨-5	-5.5	0.010	0.088	掘削底面
⑨-6	-4.2	0.001	0.017	掘削底面
⑨-7	-1.5			湧水なし
⑨-8	-3.9	<0.001	<0.005	掘削底面
⑨-9	-1.5			湧水なし
⑭-6	-2.5			湧水なし

■ : 排水基準値超過  
 ■ : 環境基準値超過

ii) 化学処理

掘削・除去の対策深度より深い層の汚染が確認されていた小区画⑨-1、2、4、5については、令和2年7月から9月まで風化花崗岩層においてフェントン試薬の注入による化学処理を実施した。

その結果、表2-3に示すとおり、2回目の薬剤注入完了の3週間後のモニタリングにおいて、全ての項目で排水基準の適合が確認された。なお、鉛及び砒素についても排水基準に適合していた。

表2-3 水質モニタリング結果

地点	項目	深度別調査 最大値	薬剤注入前	8月前半	8月後半	9月前半	9月後半
⑨-1	採水日	—	R2.7.21	R2.8.12		R2.9.8	R2.9.22
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤 注入1週間後		2回目の薬剤 注入1週間後	2回目の薬剤 注入3週間後
	Bz(mg/L)	1.9	0.13	0.10		0.011	0.002
	TCE(mg/L)	0.003	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001
	1,2-DCE(mg/L)	0.009	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004
	VCM(mg/L)	0.0067	0.0011	0.0006		<0.0002	<0.0002
	1,4-DXA(mg/L)	4.1	0.43	0.38		0.20	0.088
⑨-2	採水日	—	R2.7.21	R2.8.11	R2.8.31	R2.9.5	R2.9.19
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤 注入1週間後	2回目の薬剤 注入1日後	2回目の薬剤 注入1週間後	2回目の薬剤 注入3週間後
	Bz(mg/L)	0.53	0.015	0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	TCE(mg/L)	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	1,2-DCE(mg/L)	0.039	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	VCM(mg/L)	0.054	0.0023	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-DXA(mg/L)	5.3	0.55	0.095	0.096	0.077	0.040	
⑨-4	採水日	—	R2.7.21	R2.8.7	R2.8.26	R2.9.15	
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤 注入1週間後	2回目の薬剤 注入1日後	2回目の薬剤 注入3週間後	
	Bz(mg/L)	0.26	0.003	0.005	0.001	<0.001	
	TCE(mg/L)	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	1,2-DCE(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	VCM(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
1,4-DXA(mg/L)	1.3	0.072	0.18	0.26	0.027		
⑨-5	採水日	—	R2.7.21	R2.8.4	R2.8.21	R2.9.10	
	対策の状況	—	—	1回目の薬剤 注入1週間後	2回目の薬剤 注入1日後	2回目の薬剤 注入3週間後	
	Bz(mg/L)	40	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	TCE(mg/L)	0.011	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	1,2-DCE(mg/L)	0.089	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	VCM(mg/L)	0.28	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	
1,4-DXA(mg/L)	4.9	0.012	0.033	0.025	0.015		

Bz : ベンゼン  
TCE : トリクロロエチレン  
1,2-DCE : 1,2-ジクロロエチレン  
VCM : クロロエチレン  
1,4-DXA : 1,4-ジオキサン

■ : 排水基準値の10倍超過  
(VCMは環境基準値の100倍)  
■ : 排水基準値超過  
(VCMは環境基準値の10倍)  
■ : 環境基準値超過

### 3) 評価等

以上のとおり、掘削・除去を実施した区画⑨及び小区画⑭-6では、対象深度までの掘削が完了するとともに湧水の排水基準適合が確認され、化学処理を実施した小区画⑨-1、2、4、5では地下水の排水基準適合が確認された。さらに、資料Ⅱ／1のとおり、区画⑨の中央の観測井においては環境基準に適合しているため、局所的な汚染の対策が終了したものと考えられる。

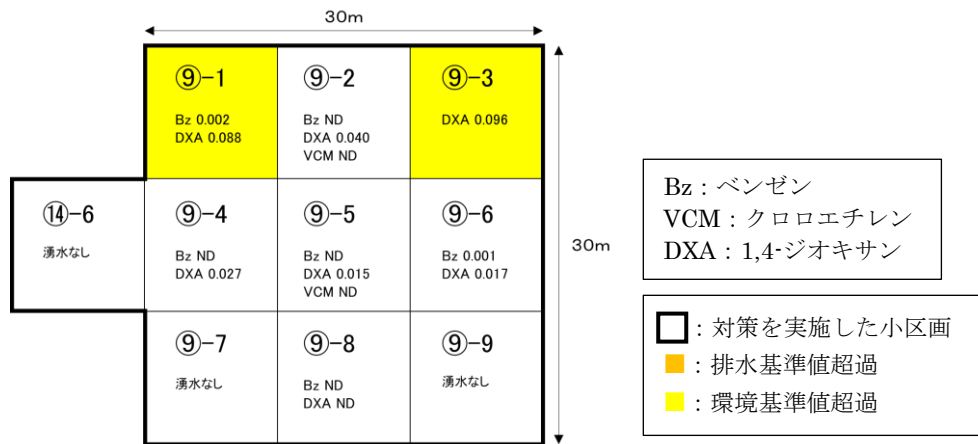


図 2 - 3 浄化対策後の地下水の水質 (表 2 - 2、2 - 3 より抜粋)

(3) HS-⑥ (小区画⑥-7、8)

1) 局所的な汚染の状況

令和2年6月に実施したボーリング調査により、小区画⑥-7、8において、ベンゼンの土壌環境基準値の10倍を超える汚染が確認されたため、これらの小区画を浄化対象とした。

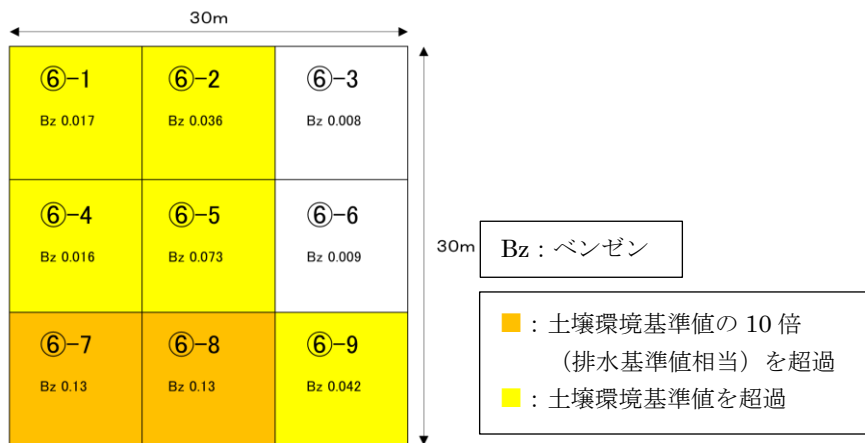


図3-1 ボーリング調査における土壌の汚染物質濃度の最大値 (表3-1より抜粋)

表3-1 ボーリング調査における簡易溶出量試験結果

深度 (T. P. m)	簡易溶出量試験 ベンゼン濃度 (mg/L)								
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑥-5	⑥-6	⑥-7	⑥-8	⑥-9
2.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	ND
1.0	0.005	ND	ND	ND	0.004	ND	0.037	0.018	0.005
0.7	-	-	-	-	-	-	0.13	0.13	-
0.0	0.011	0.016	0.003	0.002	0.073	0.005	ND	0.068	0.021
-1.0	0.006	0.036	0.001	0.007	0.056	0.005	0.024	0.057	0.042
-2.0	0.017	0.004	0.005	0.006	0.005	0.005	0.032	0.012	0.007
-3.0	0.001	0.028	0.008	0.016	0.024	0.002	ND	ND	ND
-4.0	ND	0.016	ND	0.005	ND	0.009	ND	0.004	0.027
-5.0	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	0.057	ND	ND
-6.0	-	-	-	-	-	-	ND	-	-

■ : 土壌環境基準値の10倍 (排水基準値相当) を超過  
 ■ : 土壌環境基準値を超過

## 2) 局所的な汚染源の浄化対策

小区画⑥-7、8において、浅い層（TP+0.7m付近）で高濃度のベンゼン汚染が確認されたことから、浅い層の土壌の掘削・除去を実施した後、区画対策としてウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

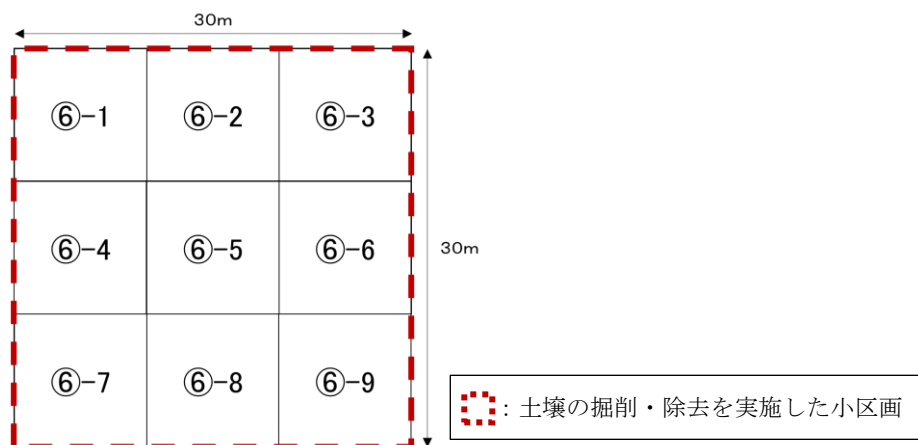


図3-2 HS-⑥における浄化対策の実施範囲

### i) 掘削・除去

区画⑥において、令和2年9月から10月までTP+1.0m付近までの土壌の掘削・除去を実施した。高濃度のベンゼン汚染が見られた小区画⑥-7については、さらにTP+0.5mまで、小区画⑥-8についてはTP-1.5mまで掘削・除去を実施した。

なお、表3-2のとおり、小区画⑥-7、8について掘削底面からの湧水の水質試験を行い、全て排水基準に適合していることを確認した。

表3-2 各小区画の湧水の水質試験結果

小区画	掘削深度 TP (m)	ベンゼン	1,4- ジオキサン	備考
⑥-7	0.0	0.065	0.23	掘削底面
⑥-8	-1.5	0.014	0.10	掘削底面

■ : 排水基準値超過  
■ : 環境基準値超過

### 参考) 揚水井及びウェルポイントによる揚水浄化（区画対策）

区画⑥において、令和2年3月から8月にかけて揚水井による揚水浄化を実施した。また、i)に続いて土壌をTP+1.0mまで掘り下げた状態で、令和2年10月から12月までTP-5.0mまでの深度を対象にウェルポイントによる揚水浄化を実施した。



### 3) 評価等

以上のとおり、高濃度のベンゼン汚染が確認された小区画⑥-7、8 について、対象深度までの掘削が完了するとともに湧水の排水基準適合が確認された。さらに、資料Ⅱ／1 のとおり、区画⑥の中央の観測井においても排水基準に適合しているため、局所的な汚染の対策が終了したものと考えられる。

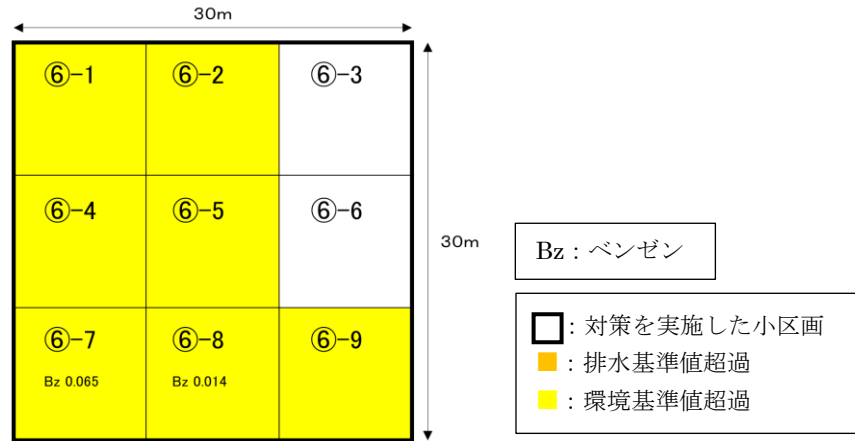


図 3 - 3 浄化対策後の地下水の水質 (表 3 - 2 より抜粋)

(5) HS-⑬ (小区画⑬-1、2、4、5)

1) 局所的な汚染の状況

令和2年6月から7月にかけて実施したボーリング調査により、小区画⑬-1、4において、ベンゼンの土壤環境基準値の10倍を超える汚染が確認されたため、これらの小区画及びその周辺を浄化対象とした。

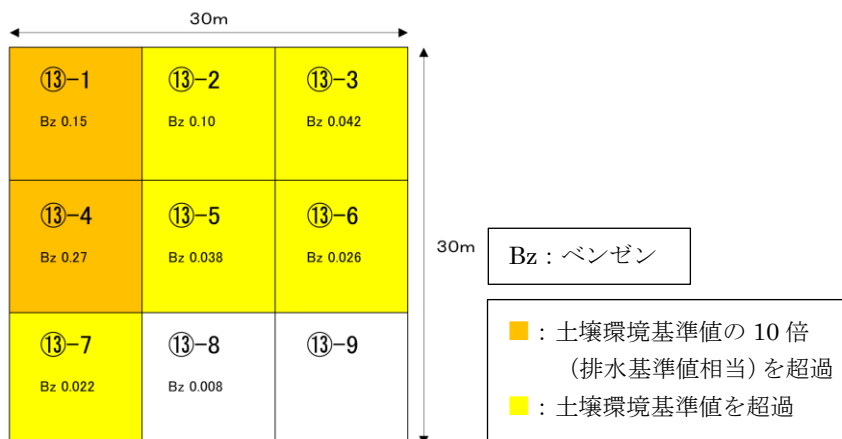


図5-1 ボーリング調査における土壤の汚染物質濃度の最大値 (表5-1より抜粋)

表5-1 ボーリング調査における簡易溶出量試験結果 (R2.6~7月)

深度 (T. P. m)	簡易溶出量試験 ベンゼン濃度 (mg/L)							
	⑬-1	⑬-2	⑬-3	⑬-4	⑬-5	⑬-6	⑬-7	⑬-8
3.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2.0	ND	0.002	ND	ND	ND	0.001	ND	ND
1.5	0.026	0.015	0.009	0.007	ND	0.002	ND	ND
1.0	0.010	0.002	ND	0.016	ND	0.001	ND	ND
0.5	0.15	0.018	0.010	0.27	0.001	0.004	ND	ND
0.0	0.020	0.094	0.042	ND	0.009	ND	ND	ND
-0.5	0.097	0.10	0.034	0.24	0.038	ND	0.022	ND
-1.0	0.054	0.069	ND	0.012	0.016	ND	0.006	0.008
-2.0	0.028	0.002	ND	0.007	0.021	0.010	0.011	0.006
-3.0	0.010	ND	0.023	0.009	0.020	0.026	0.002	0.005

■ : 土壤環境基準値の10倍 (排水基準値相当) を超過  
 ■ : 土壤環境基準値を超過

## 2) 局所的な汚染源の浄化対策

浅い層 (TP+0.5~-0.5m) にベンゼン汚染が確認されたことから、小区画⑬-1、2、4、5においてガス吸引を実施した。また、これらの対策と並行して、区画対策としてウェルポイント及び揚水井による揚水浄化を実施した。

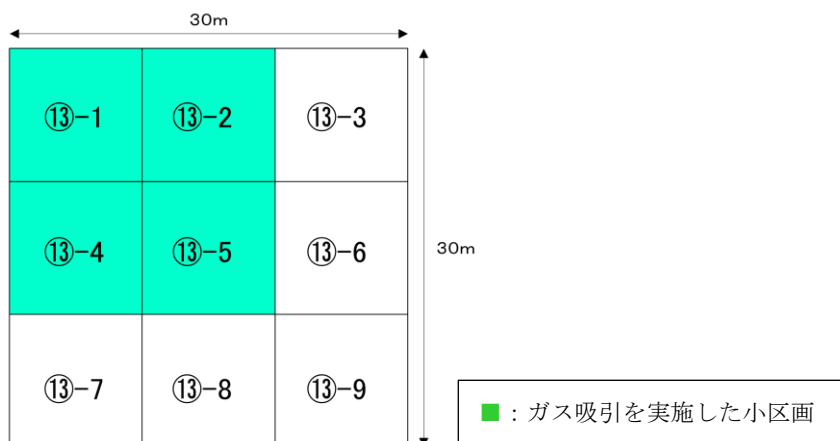


図5-2 HS-⑬における浄化対策の実施範囲

### i) ガス吸引

小区画⑬-1、2、4、5において、令和2年10月から令和3年2月までガス吸引を実施した。なお、ガス吸引の強化のため、令和2年12月から小区画⑬-4において二重吸引を実施した。

その結果、表5-2に示すとおり、ガス吸引8週間後又は15週間後の確認ボーリングにおいて、土壤環境基準の適合が確認された。

表5-2 ボーリング調査における簡易溶出量試験結果

深度 (T. P. m)	簡易溶出量試験 ベンゼン濃度 (mg/L)				
	⑬-1		⑬-4		
	R2.6.29	R2.12.8	R2.6.4	R2.12.8	R3.1.28
	対策実施前	ガス吸引 8週間後	対策実施前	ガス吸引 8週間後	ガス吸引 15週間後
3.0	ND	-	ND	-	-
2.0	ND	-	ND	-	-
1.5	0.026	ND	0.007	ND	0.004
1.0	0.010	0.001	0.016	0.001	ND
0.5	0.15	ND	0.27	0.002	ND
0.0	0.020	ND	ND	0.019	0.006
-0.5	0.097	0.005	0.24	0.067	0.004
-1.0	0.054	0.010	0.012	0.002	0.005
-2.0	0.028	-	0.007	0.007	-
-3.0	0.010	-	0.009	-	-

■ : 土壤環境基準値の10倍  
(排水基準値相当)を超過  
■ : 土壤環境基準値を超過

### 参考) ウェルポイント及び揚水井による揚水浄化 (区画対策)

区画⑬において、令和2年2月から4月並びに同年7月から10月まで TP-3.0mまでの深度を対象にウェルポイントによる揚水浄化を実施した。また、令和2年11月から TP-8.0mまでの深度を対象に揚水井による揚水浄化を実施している。

### 3) 評価等

以上のとおり、ベンゼン汚染が確認された範囲についてガス吸引を実施し、土壤環境基準値の10倍(排水基準値相当)への適合が確認されたため、局所的な汚染の対策が終了したものと考えられる。

なお、資料Ⅱ/1のとおり、区画⑬の中央の観測井において直近の計測で排水基準値の超過が確認されたため、深い層のスクリーンの揚水井による揚水浄化を継続する。

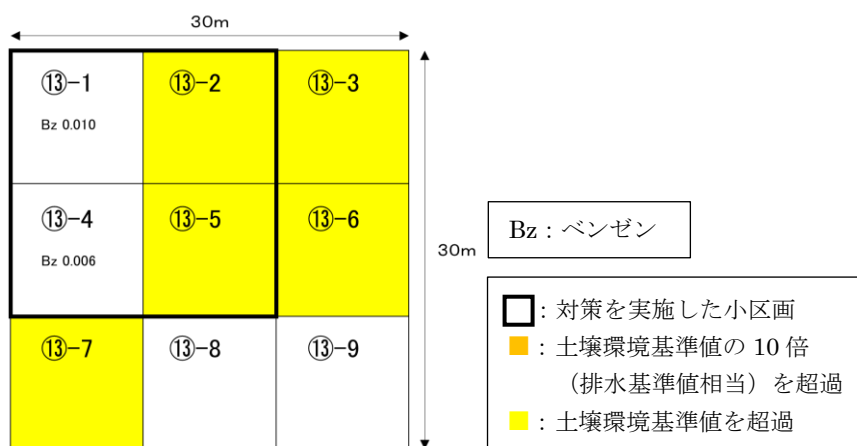


図5-3 浄化対策後の地下水の水質 (表5-2より抜粋)

(6) HS-⑩ (小区画⑩-1、2、3、4、5、6、8)

1) 局所的な汚染の状況

令和2年6月から7月にかけて実施したボーリング調査により、小区画⑩-3、4において、ベンゼンの土壤環境基準値の10倍を超える汚染が確認されたため、これらの小区画及びその周辺を浄化対象とした。

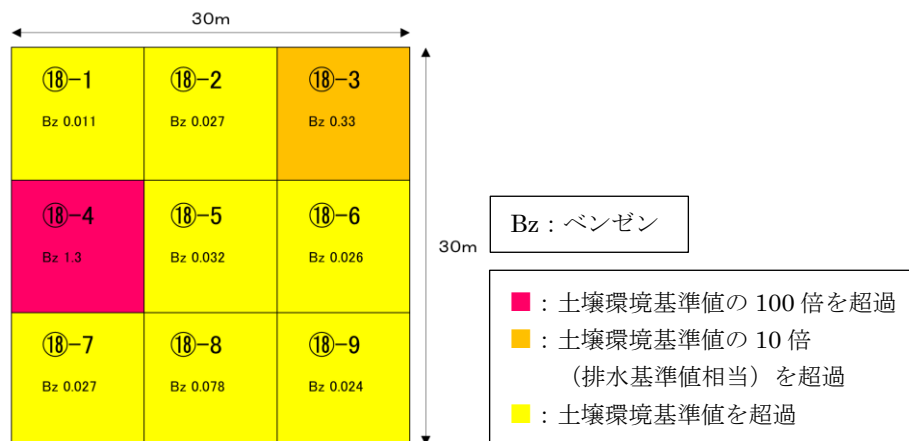


図6-1 ボーリング調査における土壤の汚染物質濃度の最大値 (表6-1より抜粋)

表6-1 ボーリング調査における簡易溶出量試験結果 (R2.6~7月)

深度 (T.P.m)	簡易溶出量試験 ベンゼン濃度 (mg/L)								
	⑩-1	⑩-2	⑩-3	⑩-4	⑩-5	⑩-6	⑩-7	⑩-8	⑩-9
3.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.003
1.5	0.002	0.009	ND	ND	ND	0.001	0.002	ND	ND
1.0	0.006	0.027	0.001	1.3	0.028	ND	ND	ND	ND
0.5	0.001	0.002	0.33	0.003	0.032	ND	ND	0.074	0.017
0.0	ND	0.005	0.047	0.005	0.032	ND	0.027	0.078	0.024
-0.5	ND	0.020	0.009	0.012	ND	0.026	0.023	ND	0.016
-1.0	0.001	0.005	0.004	ND	0.006	0.016	ND	ND	ND
-2.0	0.011	0.004	0.007	ND	ND	0.008	ND	ND	0.004
-3.0	0.001	0.015	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND

■ : 土壤環境基準値の100倍を超過  
 ■ : 土壤環境基準値の10倍 (排水基準値相当) を超過  
 ■ : 土壤環境基準値を超過

## 2) 局所的な汚染源の浄化対策

小区画⑱-4において高濃度のベンゼン汚染が確認されたことから、土壌の掘削・除去を実施した後、小区画⑱-1、2、3、4、5、6、8においてガス吸引を実施した。また、これらの対策と並行して、区画対策としてウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

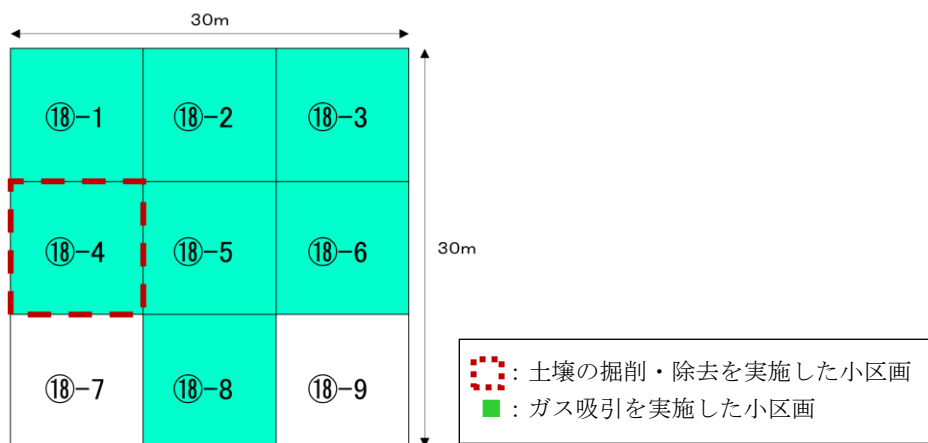


図 6 - 2 HS-⑱における浄化対策の実施範囲

### i) 掘削・除去

小区画⑱-4において、令和2年7月から8月まで、TP+0.8m付近までの土壌の掘削・除去を実施した。表 6 - 2 のとおり、掘削後の湧水の水質は排水基準に適合していた。

表 6 - 2 湧水の水質試験結果

小区画	掘削深度 TP (m)	ベンゼン	1,4- ジオキサン	備考
⑱-4	+0.8	0.039	0.17	掘削底面

■ : 排水基準値超過  
■ : 環境基準値超過

ii) ガス吸引

小区画⑱-1、2、3、4、5、6、8において、令和2年10月から令和3年2月までガス吸引を実施した。なお、小区画⑱-5においては、令和2年4月から二重吸引を実施した。

その結果、表6-3に示すとおり、ガス吸引8週間後又は15週間後の確認ボーリングにおいて、土壤環境基準の適合が確認された。

表6-3 ボーリング調査における簡易溶出量試験結果

深度 (T. P. m)	簡易溶出量試験 ベンゼン濃度 (mg/L)						
	⑱-3		⑱-4		⑱-8		
	R2.7.1	R2.12.8	R2.7.2	R2.12.8	R2.6.3	R2.12.9	R3.1.28
	対策実施前	ガス吸引 8週間後	対策実施前	ガス吸引 8週間後	対策実施前	ガス吸引 8週間後	ガス吸引 15週間後
3.0	ND	-	ND	-	ND	-	-
2.0	ND	-	ND	-	0.003	-	-
1.5	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND
1.0	0.001	ND	1.3	0.002	ND	0.039	0.002
0.5	0.33	ND	0.003	ND	0.074	0.002	0.002
0.0	0.047	ND	0.005	ND	0.078	ND	ND
-0.5	0.009	0.006	0.012	0.002	ND	0.003	0.001
-1.0	0.004	0.001	ND	ND	ND	0.004	0.004
-2.0	0.007	-	ND	-	ND	-	-
-3.0	0.007	-	ND	-	ND	-	-

■ : 土壤環境基準値の100倍を超過  
 ■ : 土壤環境基準値の10倍  
 (排水基準値相当)を超過  
 ■ : 土壤環境基準値を超過

参考) ウェルポイントによる揚水浄化 (区画対策)

区画⑱において、令和2年2月から5月並びに同年7月から11月までTP-3.0mまでの深度を対象にウェルポイントによる揚水浄化を実施した。

### 3) 評価等

以上のとおり、ベンゼン汚染が確認された範囲について土壌を掘削・除去した後、ガス吸引を実施し、土壌環境基準値の10倍（排水基準値相当）への適合が確認された。さらに、資料Ⅱ／1のとおり、区画⑱の中央の観測井においても排水基準に適合しているため、局所的な汚染の対策が終了したものと考えられる。

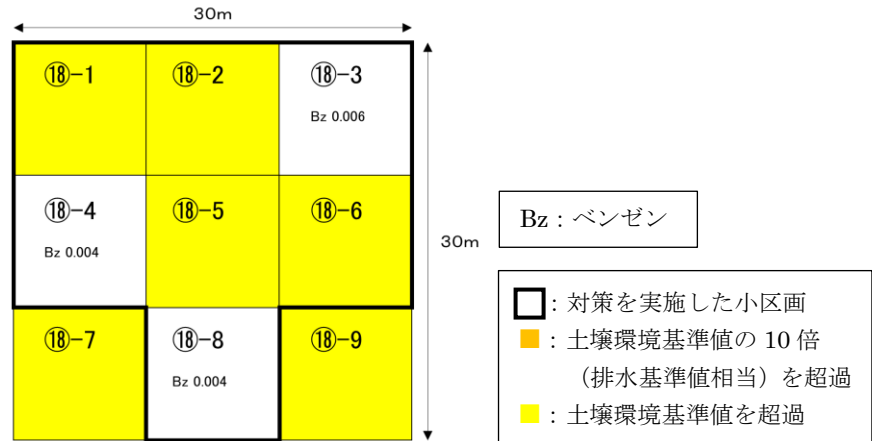


図6-3 浄化対策後の地下水の水質（表6-3より抜粋）



### 区画毎の浄化対策の状況

令和3年2月までの浄化対策の状況等を、図1及び表1のとおり整理した。(詳細は別紙参照)  
直近の水質が排水基準に適合し、対策停止期間中に濃度上昇が確認されなかった区画(表1で水質の判定が○の区画)については、当該区画中央の観測井の地下水の観測結果の観点から、安定的に排水基準を満たすと見込まれる。これらについて、隣接区画や局所的な汚染源からの影響を踏まえた上で、到達の申請準備へ移行したい。

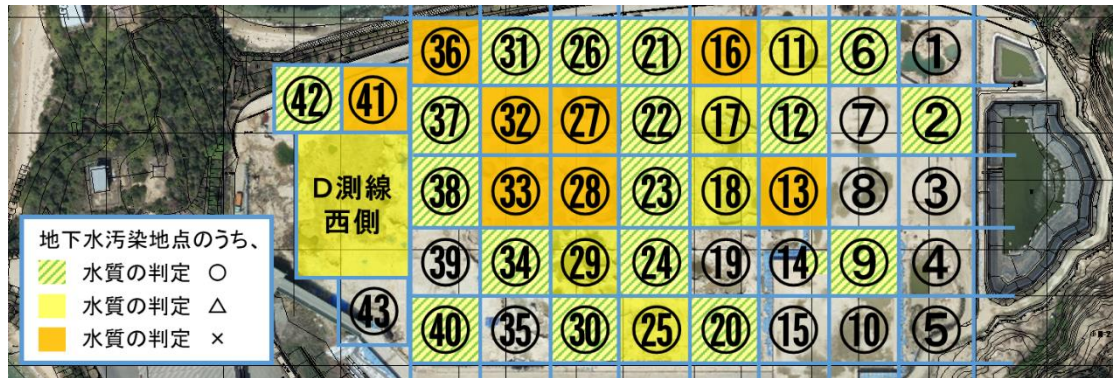


図1 地下水汚染地点の位置及び水質の状況(表1参照)

表1 区画毎の浄化対策の状況及び水質の判定

区画	観測井の水質			
	排水基準	上昇傾向 <sup>1)</sup>	傾向確認 (対策停止期間)	水質の判定 <sup>2)</sup>
②	適合	なし	R2.9~	○
⑥	適合	なし	R2.12~	○
⑨	適合	なし	R2.9~	○
⑪	適合	監視中	対策実施中	△
⑫	適合	なし	R2.7~	○
⑬	不適合	監視中	対策実施中	×
⑯	不適合	監視中	対策実施中	×
⑰	適合	監視中	R3.2~	△
⑱	適合	監視中	R3.2~	△
⑳	適合	なし	全期間	○
㉑	適合	なし	全期間	○
㉒	適合	なし	R2.2~	○
㉓	適合	なし	R2.4~	○
㉔	適合	なし	R2.6~	○
㉕	適合	監視中	対策実施中	△
㉖	適合	なし	R2.3~	○
㉗	不適合	監視中	対策実施中	×
㉘	不適合	監視中	R2.2~	×
㉙	適合	監視中	対策実施中	△
⑳	適合	なし	R2.9~	○
㉑	適合	なし	R3.1~	○
㉒	不適合	監視中	R2.5~	×
㉓	不適合	監視中	対策実施中	×
㉔	適合	なし	全期間	○
㉖	不適合	監視中	対策実施中	×
㉗	適合	なし	全期間	○
㉘	適合	なし	全期間	○
㉙	適合	なし	全期間	○
㉚	不適合	監視中	対策実施中	×
㉛	適合	なし	全期間	○
D測線西側	適合	監視中	対策実施中	△

1) 直近2週間以上対策を停止している区画及び3か月以上対策を停止した期間がある区画のうち、当該期間中に濃度上昇が確認されなかったものを「なし」とし、それ以外を「監視中」としている。  
2) ○:排水基準適合かつ上昇傾向なし △:排水基準適合かつ濃度の傾向を監視中 ×:排水基準に不適合

## 浄化対策の状況

区画	区画②						
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。						
	観測井②	H30.5.29		R2.11.27	R2.12.14	R3.1.19	R3.2.16
	ベンゼン	0.21		0.010	0.008	0.002	0.003
	1,4-ジオキサン	0.89		0.083	0.046	0.020	0.036
	トリクロロエチレン	0.085		0.003	0.003	ND	0.001
	1,2-ジクロロエチレン	30		0.012	0.004	ND	ND
	クロロエチレン	1.7		0.0011	0.0032	0.0025	0.0024
	(※)H30. 5. 29 の計測値は別の調査で計測した参考値である。						
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。						
	年月	局所的な汚染源対策：HS-②	区画対策				
	R1. 11	フェントン試薬の注入による化学処理を開始	—				
	R2. 6	一部の小区画で揚水浄化を開始	—				
	R2. 7	化学処理を終了	—				
	R2. 9	揚水浄化を終了	—				
	R2. 11	—	区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して排水基準適合を確認				
	R2. 12	浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）	—				
	—	対策停止期間：R2. 9以降	対策なし				
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。						

## 浄化対策の状況

区画	区画⑥																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑥</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.7</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.10</th> <th>R2.3.24</th> <th>R2.4.20</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.15</th> <th>R2.7.13</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.24</th> <th>R2.10.20</th> <th>R2.11.17</th> <th>R2.12.15</th> <th>R3.1.19</th> <th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.43</td> <td>0.96</td> <td>0.94</td> <td>1.0</td> <td>0.74</td> <td>0.47</td> <td>0.92</td> <td>1.1</td> <td>0.90</td> <td>0.47</td> <td>0.33</td> <td>—</td> <td>0.010</td> <td>0.002</td> <td>0.10</td> <td>ND</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.21</td> <td>0.30</td> <td>0.28</td> <td>0.31</td> <td>0.19</td> <td>0.36</td> <td>0.26</td> <td>0.27</td> <td>0.24</td> <td>0.18</td> <td>0.19</td> <td>—</td> <td>0.12</td> <td>0.082</td> <td>0.24</td> <td>0.33</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.013</td> <td>0.007</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>0.0005</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.0024</td> <td>0.0023</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.20	R2.9.24	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.43	0.96	0.94	1.0	0.74	0.47	0.92	1.1	0.90	0.47	0.33	—	0.010	0.002	0.10	ND	0.004	1,4-ジオキサン	0.21	0.30	0.28	0.31	0.19	0.36	0.26	0.27	0.24	0.18	0.19	—	0.12	0.082	0.24	0.33	0.16	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	0.001	ND	0.002	ND	ND	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	0.013	0.007	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.0005	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	ND	ND	—	0.0024	0.0023	0.0003	ND	ND
観測井⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.20	R2.9.24	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.43	0.96	0.94	1.0	0.74	0.47	0.92	1.1	0.90	0.47	0.33	—	0.010	0.002	0.10	ND	0.004																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.21	0.30	0.28	0.31	0.19	0.36	0.26	0.27	0.24	0.18	0.19	—	0.12	0.082	0.24	0.33	0.16																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	0.001	ND	0.002	ND	ND																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	0.013	0.007	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.0005	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	ND	ND	—	0.0024	0.0023	0.0003	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策：HS-⑥</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.3</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.8</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を停止</td> </tr> <tr> <td>R2.9</td> <td>土壌の掘削・除去を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.10</td> <td>掘削・除去を終了</td> <td>ウエルポイントによる揚水浄化を開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>R2.12</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>掘削底面の湧水の排水基準適合を確認 (浄化対策の終了)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R2.10以降</td> <td>対策停止期間：R2.12以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑥	区画対策	R2.3	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2.8	—	揚水井による揚水浄化を停止	R2.9	土壌の掘削・除去を開始	—	R2.10	掘削・除去を終了	ウエルポイントによる揚水浄化を開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	R2.12	—	ウエルポイントを停止	R3.2	掘削底面の湧水の排水基準適合を確認 (浄化対策の終了)	—	—	対策停止期間：R2.10以降	対策停止期間：R2.12以降																																																																																				
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑥	区画対策																																																																																																											
R2.3	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.8	—	揚水井による揚水浄化を停止																																																																																																											
R2.9	土壌の掘削・除去を開始	—																																																																																																											
R2.10	掘削・除去を終了	ウエルポイントによる揚水浄化を開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
R2.12	—	ウエルポイントを停止																																																																																																											
R3.2	掘削底面の湧水の排水基準適合を確認 (浄化対策の終了)	—																																																																																																											
—	対策停止期間：R2.10以降	対策停止期間：R2.12以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画⑨																																				
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井⑨</th> <th style="text-align: center;">H30.5.30</th> <th style="text-align: center;">R2.11.27</th> <th style="text-align: center;">R2.12.14</th> <th style="text-align: center;">R3.1.19</th> <th style="text-align: center;">R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベンゼン</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">0.003</td> <td style="text-align: center;">0.005</td> <td style="text-align: center;">0.002</td> <td style="text-align: center;">0.001</td> </tr> <tr> <td>1,4-ジオキサン</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">0.014</td> <td style="text-align: center;">0.017</td> <td style="text-align: center;">0.017</td> <td style="text-align: center;">0.010</td> </tr> <tr> <td>トリクロロエチレン</td> <td style="text-align: center;">0.011</td> <td style="text-align: center;">0.001</td> <td style="text-align: center;">0.002</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">0.001</td> </tr> <tr> <td>1,2-ジクロロエチレン</td> <td style="text-align: center;">0.13</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">ND</td> </tr> <tr> <td>クロロエチレン</td> <td style="text-align: center;">0.030</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">0.0002</td> <td style="text-align: center;">ND</td> <td style="text-align: center;">ND</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)H30. 5. 30 の計測値は別の調査で計測した参考値である。</p>	観測井⑨	H30.5.30	R2.11.27	R2.12.14	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	31	0.003	0.005	0.002	0.001	1,4-ジオキサン	16	0.014	0.017	0.017	0.010	トリクロロエチレン	0.011	0.001	0.002	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	0.13	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.030	ND	0.0002	ND	ND
観測井⑨	H30.5.30	R2.11.27	R2.12.14	R3.1.19	R3.2.16																																
ベンゼン	31	0.003	0.005	0.002	0.001																																
1,4-ジオキサン	16	0.014	0.017	0.017	0.010																																
トリクロロエチレン	0.011	0.001	0.002	ND	0.001																																
1,2-ジクロロエチレン	0.13	ND	ND	ND	ND																																
クロロエチレン	0.030	ND	0.0002	ND	ND																																
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年月</th> <th style="text-align: center;">局所的な汚染源対策：HS-⑨</th> <th style="text-align: center;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R2. 1</td> <td>沖積層の土壌の掘削・除去を開始</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2. 6</td> <td>掘削・除去を終了</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2. 7</td> <td>一部の小区画でフェントン試薬の注入による化学処理を開始</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2. 9</td> <td>化学処理を終了 浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2. 11</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して環境基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>対策停止期間：R2. 9 以降</td> <td style="text-align: center;">対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑨	区画対策	R2. 1	沖積層の土壌の掘削・除去を開始	—	R2. 6	掘削・除去を終了	—	R2. 7	一部の小区画でフェントン試薬の注入による化学処理を開始	—	R2. 9	化学処理を終了 浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）	—	R2. 11	—	区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して環境基準適合を確認	—	対策停止期間：R2. 9 以降	対策なし															
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑨	区画対策																																			
R2. 1	沖積層の土壌の掘削・除去を開始	—																																			
R2. 6	掘削・除去を終了	—																																			
R2. 7	一部の小区画でフェントン試薬の注入による化学処理を開始	—																																			
R2. 9	化学処理を終了 浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）	—																																			
R2. 11	—	区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して環境基準適合を確認																																			
—	対策停止期間：R2. 9 以降	対策なし																																			
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																				

## 浄化対策の状況

区画	区画⑪																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑪</th> <th>R1.5.15</th><th>R1.7.9</th><th>R1.11.7</th><th>R2.1.7</th><th>R2.2.10</th><th>R2.3.26</th><th>R2.4.21</th><th>R2.5.20</th><th>R2.6.15</th><th>R2.7.13</th><th>R2.8.18</th><th>R2.9.15</th><th>R2.10.20</th><th>R2.11.17</th><th>R2.12.15</th><th>R3.1.19</th><th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>2.9</td><td>2.7</td><td>0.51</td><td>1.2</td><td>1.7</td><td>1.0</td><td>0.90</td><td>0.65</td><td>0.75</td><td>0.53</td><td>0.36</td><td>0.15</td><td>3.9</td><td>2.5</td><td>0.068</td><td>0.10</td><td>0.03</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.17</td><td>0.18</td><td>0.22</td><td>0.20</td><td>0.18</td><td>0.27</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>0.24</td><td>0.20</td><td>0.26</td><td>0.25</td><td>0.59</td><td>0.62</td><td>0.071</td><td>0.41</td><td>0.26</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>0.002</td><td>0.002</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>0.001</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>0.001</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.002</td><td>0.006</td><td>ND</td><td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>0.009</td><td>0.007</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>0.0006</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.0012</td><td>0.0015</td><td>0.0010</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.013</td><td>0.0025</td><td>0.0004</td><td>0.0003</td><td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑪	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	2.9	2.7	0.51	1.2	1.7	1.0	0.90	0.65	0.75	0.53	0.36	0.15	3.9	2.5	0.068	0.10	0.03	1,4-ジオキサン	0.17	0.18	0.22	0.20	0.18	0.27	0.20	0.19	0.24	0.20	0.26	0.25	0.59	0.62	0.071	0.41	0.26	トリクロロエチレン	0.002	0.002	ND	0.001	0.001	ND	0.001	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	0.002	0.006	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	0.009	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	0.024	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.0006	ND	ND	0.0012	0.0015	0.0010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	0.0025	0.0004	0.0003	ND
観測井⑪	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	2.9	2.7	0.51	1.2	1.7	1.0	0.90	0.65	0.75	0.53	0.36	0.15	3.9	2.5	0.068	0.10	0.03																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.17	0.18	0.22	0.20	0.18	0.27	0.20	0.19	0.24	0.20	0.26	0.25	0.59	0.62	0.071	0.41	0.26																																																																																												
トリクロロエチレン	0.002	0.002	ND	0.001	0.001	ND	0.001	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	0.002	0.006	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	0.009	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	0.024	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.0006	ND	ND	0.0012	0.0015	0.0010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	0.0025	0.0004	0.0003	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、<u>局所的な汚染源の対策を実施し、効果を整理している。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策：HS-⑩</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.4</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.10</td> <td>土壌の掘削・除去を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.12</td> <td>掘削・除去を終了</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R2.12以降</td> <td><u>対策実施中</u></td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑩	区画対策	R2.4	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始	R2.10	土壌の掘削・除去を開始	—	R2.12	掘削・除去を終了	揚水井による揚水浄化を開始	R3.2	—	ウェルポイントを停止	—	対策停止期間：R2.12以降	<u>対策実施中</u>																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑩	区画対策																																																																																																											
R2.4	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.10	土壌の掘削・除去を開始	—																																																																																																											
R2.12	掘削・除去を終了	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R3.2	—	ウェルポイントを停止																																																																																																											
—	対策停止期間：R2.12以降	<u>対策実施中</u>																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑫																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑫</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.10</th> <th>R2.3.26</th> <th>R2.4.21</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.15</th> <th>R2.7.13</th> <th>R2.8.18</th> <th>R2.9.15</th> <th>R2.10.20</th> <th>R2.11.17</th> <th>R2.12.15</th> <th>R3.1.19</th> <th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.055</td> <td>—</td> <td>0.077</td> <td>0.014</td> <td>0.40</td> <td>0.015</td> <td>0.052</td> <td>0.032</td> <td>0.031</td> <td>0.026</td> <td>0.045</td> <td>0.055</td> <td>0.005</td> <td>0.067</td> <td>0.029</td> <td>0.013</td> <td>0.024</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.21</td> <td>—</td> <td>0.30</td> <td>0.26</td> <td>0.21</td> <td>0.23</td> <td>0.24</td> <td>0.24</td> <td>0.11</td> <td>0.28</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>0.28</td> <td>0.27</td> <td>0.25</td> <td>0.24</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.006</td> <td>ND</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑫	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.055	—	0.077	0.014	0.40	0.015	0.052	0.032	0.031	0.026	0.045	0.055	0.005	0.067	0.029	0.013	0.024	1,4-ジオキサン	0.21	—	0.30	0.26	0.21	0.23	0.24	0.24	0.11	0.28	0.34	0.33	0.28	0.27	0.25	0.24	0.30	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.005	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑫	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.055	—	0.077	0.014	0.40	0.015	0.052	0.032	0.031	0.026	0.045	0.055	0.005	0.067	0.029	0.013	0.024																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.21	—	0.30	0.26	0.21	0.23	0.24	0.24	0.11	0.28	0.34	0.33	0.28	0.27	0.25	0.24	0.30																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.005																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.3</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>R2.4</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.7</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2.7以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.3	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認	R2.4	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始	R2.7	—	ウェルポイントを停止	—	対策なし	対策停止期間：R2.7以降																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.3	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
R2.4	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.7	—	ウェルポイントを停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2.7以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑬																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑬</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.14</th> <th>R2.3.26</th> <th>R2.4.21</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.15</th> <th>R2.7.13</th> <th>R2.8.18</th> <th>R2.9.15</th> <th>R2.10.20</th> <th>R2.11.17</th> <th>R2.12.15</th> <th>R3.1.19</th> <th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.23</td> <td>0.64</td> <td>0.93</td> <td>1.0</td> <td>0.52</td> <td>ND</td> <td>0.10</td> <td>0.10</td> <td>0.31</td> <td>0.75</td> <td>0.27</td> <td>0.008</td> <td>0.003</td> <td>0.055</td> <td>0.086</td> <td>0.047</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.52</td> <td>0.39</td> <td>0.29</td> <td>0.26</td> <td>0.41</td> <td>0.33</td> <td>0.65</td> <td>0.44</td> <td>0.41</td> <td>0.28</td> <td>0.70</td> <td>0.40</td> <td>0.28</td> <td>0.32</td> <td>0.26</td> <td>0.36</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.007</td> <td>ND</td> <td>0.012</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.006</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0011</td> <td>0.0009</td> <td>0.0022</td> <td>0.0031</td> <td>0.0021</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0006</td> <td>0.0009</td> <td>0.0004</td> <td>0.0016</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑬	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.23	0.64	0.93	1.0	0.52	ND	0.10	0.10	0.31	0.75	0.27	0.008	0.003	0.055	0.086	0.047	0.28	1,4-ジオキサン	0.52	0.39	0.29	0.26	0.41	0.33	0.65	0.44	0.41	0.28	0.70	0.40	0.28	0.32	0.26	0.36	0.24	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0011	0.0009	0.0022	0.0031	0.0021	ND	ND	0.0006	0.0009	0.0004	0.0016
観測井⑬	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.23	0.64	0.93	1.0	0.52	ND	0.10	0.10	0.31	0.75	0.27	0.008	0.003	0.055	0.086	0.047	0.28																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.52	0.39	0.29	0.26	0.41	0.33	0.65	0.44	0.41	0.28	0.70	0.40	0.28	0.32	0.26	0.36	0.24																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0011	0.0009	0.0022	0.0031	0.0021	ND	ND	0.0006	0.0009	0.0004	0.0016																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策：HS-⑬</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.2</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.4</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R2.7</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントによる揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>R2.10</td> <td>ガス吸引を開始</td> <td>ウエルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R2.11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R3.1</td> <td>ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>ガス吸引を停止（浄化対策の終了）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R3.2以降</td> <td>対策実施中</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑬	区画対策	R2.2	—	ウエルポイントによる揚水浄化を開始	R2.4	—	ウエルポイントを停止	R2.7	—	ウエルポイントによる揚水浄化を再開	R2.10	ガス吸引を開始	ウエルポイントを停止	R2.11	—	揚水井による揚水浄化を開始	R3.1	ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認	—	R3.2	ガス吸引を停止（浄化対策の終了）	—	—	対策停止期間：R3.2以降	対策実施中																																																																																	
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑬	区画対策																																																																																																											
R2.2	—	ウエルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.4	—	ウエルポイントを停止																																																																																																											
R2.7	—	ウエルポイントによる揚水浄化を再開																																																																																																											
R2.10	ガス吸引を開始	ウエルポイントを停止																																																																																																											
R2.11	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R3.1	ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認	—																																																																																																											
R3.2	ガス吸引を停止（浄化対策の終了）	—																																																																																																											
—	対策停止期間：R3.2以降	対策実施中																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑩																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑩</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.7</th> <th>R2.1.9</th> <th>R2.2.10</th> <th>R2.3.26</th> <th>R2.4.21</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.15</th> <th>R2.7.13</th> <th>R2.8.18</th> <th>R2.9.15</th> <th>R2.10.20</th> <th>R2.11.26</th> <th>R2.12.15</th> <th>R3.1.19</th> <th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.017</td> <td>—</td> <td>0.11</td> <td>0.056</td> <td>0.13</td> <td>0.09</td> <td>0.093</td> <td>0.13</td> <td>0.22</td> <td>0.24</td> <td>0.66</td> <td>0.68</td> <td>0.61</td> <td>0.56</td> <td>0.17</td> <td>0.19</td> <td>0.54</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.14</td> <td>0.055</td> <td>0.057</td> <td>0.17</td> <td>0.37</td> <td>0.77</td> <td>0.59</td> <td>0.91</td> <td>0.22</td> <td>0.16</td> <td>0.30</td> <td>0.41</td> <td>0.74</td> <td>0.61</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0005</td> <td>0.0008</td> <td>ND</td> <td>0.0005</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>0.0004</td> <td>0.0003</td> <td>0.0008</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑩	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.26	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.017	—	0.11	0.056	0.13	0.09	0.093	0.13	0.22	0.24	0.66	0.68	0.61	0.56	0.17	0.19	0.54	1,4-ジオキサン	ND	—	0.14	0.055	0.057	0.17	0.37	0.77	0.59	0.91	0.22	0.16	0.30	0.41	0.74	0.61	0.23	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0008	ND	0.0005	ND	0.0003	0.0004	0.0003	0.0008	0.0003	ND
観測井⑩	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.26	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.017	—	0.11	0.056	0.13	0.09	0.093	0.13	0.22	0.24	0.66	0.68	0.61	0.56	0.17	0.19	0.54																																																																																												
1,4-ジオキサン	ND	—	0.14	0.055	0.057	0.17	0.37	0.77	0.59	0.91	0.22	0.16	0.30	0.41	0.74	0.61	0.23																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0008	ND	0.0005	ND	0.0003	0.0004	0.0003	0.0008	0.0003	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、効果を整理している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策：HS-⑩</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2. 10</td> <td>                     土壌の掘削・除去を開始                      土壌の掘削・除去を終了                      オールケーシング工法による土壌の掘削・除去を開始                 </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 11</td> <td>オールケーシング工法による掘削・除去を終了</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 12</td> <td>—</td> <td>                     ウェルポイントによる揚水浄化を開始                      揚水井による揚水浄化を開始                 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R2. 11 以降</td> <td>対策実施中</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑩	区画対策	R2. 10	土壌の掘削・除去を開始 土壌の掘削・除去を終了 オールケーシング工法による土壌の掘削・除去を開始	—	R2. 11	オールケーシング工法による掘削・除去を終了	—	R2. 12	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始 揚水井による揚水浄化を開始	—	対策停止期間：R2. 11 以降	対策実施中																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑩	区画対策																																																																																																											
R2. 10	土壌の掘削・除去を開始 土壌の掘削・除去を終了 オールケーシング工法による土壌の掘削・除去を開始	—																																																																																																											
R2. 11	オールケーシング工法による掘削・除去を終了	—																																																																																																											
R2. 12	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始 揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
—	対策停止期間：R2. 11 以降	対策実施中																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												



## 浄化対策の状況

区画	区画⑱																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井⑱</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.11</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.10</th> <th style="font-size: small;">R2.3.26</th> <th style="font-size: small;">R2.4.21</th> <th style="font-size: small;">R2.5.20</th> <th style="font-size: small;">R2.6.15</th> <th style="font-size: small;">R2.7.13</th> <th style="font-size: small;">R2.8.18</th> <th style="font-size: small;">R2.9.15</th> <th style="font-size: small;">R2.10.20</th> <th style="font-size: small;">R2.11.17</th> <th style="font-size: small;">R2.12.15</th> <th style="font-size: small;">R3.1.19</th> <th style="font-size: small;">R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.96</td> <td>0.96</td> <td>0.39</td> <td>0.046</td> <td>0.10</td> <td>0.55</td> <td>0.36</td> <td>0.18</td> <td>0.14</td> <td>0.087</td> <td>0.011</td> <td>0.10</td> <td>0.041</td> <td>0.35</td> <td>0.13</td> <td>0.058</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.058</td> <td>0.069</td> <td>0.061</td> <td>0.020</td> <td>0.039</td> <td>0.23</td> <td>0.49</td> <td>0.65</td> <td>0.84</td> <td>0.47</td> <td>0.29</td> <td>0.20</td> <td>0.25</td> <td>0.75</td> <td>0.58</td> <td>0.37</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0010</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0005</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑱	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.96	0.96	0.39	0.046	0.10	0.55	0.36	0.18	0.14	0.087	0.011	0.10	0.041	0.35	0.13	0.058	0.021	1,4-ジオキサン	0.058	0.069	0.061	0.020	0.039	0.23	0.49	0.65	0.84	0.47	0.29	0.20	0.25	0.75	0.58	0.37	0.30	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	0.0010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	ND	0.0005	ND	ND	ND	ND
観測井⑱	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.96	0.96	0.39	0.046	0.10	0.55	0.36	0.18	0.14	0.087	0.011	0.10	0.041	0.35	0.13	0.058	0.021																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.058	0.069	0.061	0.020	0.039	0.23	0.49	0.65	0.84	0.47	0.29	0.20	0.25	0.75	0.58	0.37	0.30																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	0.0010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	ND	0.0005	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.5</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.7</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R2.11</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントによる揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>—</td> <td>ウエルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R3.2以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.5	—	ウエルポイントによる揚水浄化を開始	R2.7	—	ウエルポイントを停止	R2.11	—	ウエルポイントによる揚水浄化を再開	R3.2	—	ウエルポイントを停止	—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																							
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.5	—	ウエルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.7	—	ウエルポイントを停止																																																																																																											
R2.11	—	ウエルポイントによる揚水浄化を再開																																																																																																											
R3.2	—	ウエルポイントを停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施したため、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑱																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井⑱</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.11</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.14</th> <th style="font-size: small;">R2.3.26</th> <th style="font-size: small;">R2.4.21</th> <th style="font-size: small;">R2.5.20</th> <th style="font-size: small;">R2.6.15</th> <th style="font-size: small;">R2.7.13</th> <th style="font-size: small;">R2.8.18</th> <th style="font-size: small;">R2.9.15</th> <th style="font-size: small;">R2.10.20</th> <th style="font-size: small;">R2.11.17</th> <th style="font-size: small;">R2.12.15</th> <th style="font-size: small;">R3.1.19</th> <th style="font-size: small;">R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>3.7</td> <td>—</td> <td>1.8</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>0.23</td> <td>0.089</td> <td>0.24</td> <td>0.88</td> <td>0.58</td> <td>0.32</td> <td>0.034</td> <td>0.060</td> <td>0.13</td> <td>0.045</td> <td>0.016</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.12</td> <td>—</td> <td>0.19</td> <td>0.25</td> <td>0.23</td> <td>0.30</td> <td>0.24</td> <td>0.32</td> <td>0.31</td> <td>0.30</td> <td>0.41</td> <td>0.20</td> <td>0.23</td> <td>0.21</td> <td>0.19</td> <td>0.15</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>0.71</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.008</td> <td>0.005</td> <td>0.018</td> <td>0.006</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>0.070</td> <td>—</td> <td>0.0024</td> <td>0.0007</td> <td>0.0008</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>0.0064</td> <td>0.0060</td> <td>0.010</td> <td>0.0076</td> <td>0.0004</td> <td>0.0022</td> <td>0.0012</td> <td>0.0007</td> <td>0.0003</td> <td>0.0008</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑱	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	3.7	—	1.8	2.3	2.3	0.23	0.089	0.24	0.88	0.58	0.32	0.034	0.060	0.13	0.045	0.016	0.041	1,4-ジオキサン	0.12	—	0.19	0.25	0.23	0.30	0.24	0.32	0.31	0.30	0.41	0.20	0.23	0.21	0.19	0.15	0.24	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	0.71	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.005	0.018	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.070	—	0.0024	0.0007	0.0008	0.0003	ND	0.0064	0.0060	0.010	0.0076	0.0004	0.0022	0.0012	0.0007	0.0003	0.0008
観測井⑱	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.20	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	3.7	—	1.8	2.3	2.3	0.23	0.089	0.24	0.88	0.58	0.32	0.034	0.060	0.13	0.045	0.016	0.041																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.12	—	0.19	0.25	0.23	0.30	0.24	0.32	0.31	0.30	0.41	0.20	0.23	0.21	0.19	0.15	0.24																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	0.71	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.005	0.018	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.070	—	0.0024	0.0007	0.0008	0.0003	ND	0.0064	0.0060	0.010	0.0076	0.0004	0.0022	0.0012	0.0007	0.0003	0.0008																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策：HS-⑱</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2. 2</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 5</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R2. 7</td> <td>土壌の掘削・除去を開始</td> <td>ウェルポイントによる揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>R2. 8</td> <td>掘削・除去を終了</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 10</td> <td>ガス吸引を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 11</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントを停止</td> </tr> <tr> <td>R3. 1</td> <td>ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3. 2</td> <td>ガス吸引を停止（浄化対策の終了）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R3. 2以降</td> <td>対策停止期間：R2. 11以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑱	区画対策	R2. 2	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始	R2. 5	—	ウェルポイントを停止	R2. 7	土壌の掘削・除去を開始	ウェルポイントによる揚水浄化を再開	R2. 8	掘削・除去を終了	—	R2. 10	ガス吸引を開始	—	R2. 11	—	ウェルポイントを停止	R3. 1	ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認	—	R3. 2	ガス吸引を停止（浄化対策の終了）	—	—	対策停止期間：R3. 2以降	対策停止期間：R2. 11以降																																																																														
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑱	区画対策																																																																																																											
R2. 2	—	ウェルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 5	—	ウェルポイントを停止																																																																																																											
R2. 7	土壌の掘削・除去を開始	ウェルポイントによる揚水浄化を再開																																																																																																											
R2. 8	掘削・除去を終了	—																																																																																																											
R2. 10	ガス吸引を開始	—																																																																																																											
R2. 11	—	ウェルポイントを停止																																																																																																											
R3. 1	ボーリング調査において、土壌環境基準適合を確認	—																																																																																																											
R3. 2	ガス吸引を停止（浄化対策の終了）	—																																																																																																											
—	対策停止期間：R3. 2以降	対策停止期間：R2. 11以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	以上のとおり、浄化対策を実施したため、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑳																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井⑳</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.10</th> <th>R2.2.14</th> <th>R2.3.24</th> <th>R2.4.20</th> <th>R2.5.19</th> <th>R2.6.16</th> <th>R2.7.13</th> <th>R2.8.19</th> <th>R2.9.16</th> <th>R2.10.22</th> <th>R2.11.18</th> <th>R2.12.16</th> <th>R3.1.20</th> <th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">ベンゼン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.001</td> <td>0.006</td> <td>0.001</td> <td>0.008</td> <td>0.003</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> <td>0.001</td> <td>0.006</td> <td>0.007</td> <td>0.005</td> <td>0.009</td> <td>0.008</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.13</td> <td>—</td> <td>0.047</td> <td>0.009</td> <td>0.008</td> <td>0.006</td> <td>0.007</td> <td>0.009</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.007</td> <td>0.007</td> <td>0.006</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.003</td> <td>ND</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.0024</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.10	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.13	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	ND	—	0.001	0.006	0.001	0.008	0.003	0.002	0.005	0.001	0.006	0.007	0.005	0.009	0.008	ND	0.001	1,4-ジオキサン	0.13	—	0.047	0.009	0.008	0.006	0.007	0.009	ND	ND	0.007	0.007	0.006	ND	ND	ND	ND	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	0.004	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	0.0024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.10	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.13	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	ND	—	0.001	0.006	0.001	0.008	0.003	0.002	0.005	0.001	0.006	0.007	0.005	0.009	0.008	ND	0.001																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.13	—	0.047	0.009	0.008	0.006	0.007	0.009	ND	ND	0.007	0.007	0.006	ND	ND	ND	ND																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	0.004																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	0.0024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年月</th> <th style="text-align: left;">局所的な汚染源対策</th> <th style="text-align: left;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.5</td> <td>—</td> <td>区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>R2.1</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して環境基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	R2.1	—	これ以降、継続して環境基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
R2.1	—	これ以降、継続して環境基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画①																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井①</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.7</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.10</th> <th style="font-size: small;">R2.3.26</th> <th style="font-size: small;">R2.4.21</th> <th style="font-size: small;">R2.5.19</th> <th style="font-size: small;">R2.6.16</th> <th style="font-size: small;">R2.7.14</th> <th style="font-size: small;">R2.8.18</th> <th style="font-size: small;">R2.9.15</th> <th style="font-size: small;">R2.10.20</th> <th style="font-size: small;">R2.11.17</th> <th style="font-size: small;">R2.12.15</th> <th style="font-size: small;">R3.1.19</th> <th style="font-size: small;">R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.063</td> <td>—</td> <td>0.080</td> <td>0.056</td> <td>0.040</td> <td>0.024</td> <td>0.069</td> <td>0.054</td> <td>0.031</td> <td>0.003</td> <td>0.029</td> <td>0.026</td> <td>0.049</td> <td>0.017</td> <td>0.037</td> <td>0.042</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.075</td> <td>—</td> <td>0.079</td> <td>0.038</td> <td>0.043</td> <td>0.13</td> <td>0.14</td> <td>0.20</td> <td>0.24</td> <td>0.050</td> <td>0.27</td> <td>0.21</td> <td>0.18</td> <td>0.24</td> <td>0.21</td> <td>0.15</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.007</td> <td>ND</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井①	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.063	—	0.080	0.056	0.040	0.024	0.069	0.054	0.031	0.003	0.029	0.026	0.049	0.017	0.037	0.042	0.009	1,4-ジオキサン	0.075	—	0.079	0.038	0.043	0.13	0.14	0.20	0.24	0.050	0.27	0.21	0.18	0.24	0.21	0.15	0.24	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井①	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.063	—	0.080	0.056	0.040	0.024	0.069	0.054	0.031	0.003	0.029	0.026	0.049	0.017	0.037	0.042	0.009																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.075	—	0.079	0.038	0.043	0.13	0.14	0.20	0.24	0.050	0.27	0.21	0.18	0.24	0.21	0.15	0.24																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.5</td> <td>—</td> <td>区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画②																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井②</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.9</th> <th>R2.2.10</th> <th>R2.3.26</th> <th>R2.4.21</th> <th>R2.5.19</th> <th>R2.6.16</th> <th>R2.7.14</th> <th>R2.8.18</th> <th>R2.9.15</th> <th>R2.10.20</th> <th>R2.11.17</th> <th>R2.12.15</th> <th>R3.1.19</th> <th>R3.2.16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.32</td> <td>0.54</td> <td>0.002</td> <td>0.12</td> <td>0.10</td> <td>0.25</td> <td>0.15</td> <td>0.10</td> <td>0.019</td> <td>0.005</td> <td>0.004</td> <td>0.026</td> <td>0.025</td> <td>0.005</td> <td>0.044</td> <td>0.027</td> <td>0.032</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.088</td> <td>0.20</td> <td>0.097</td> <td>0.10</td> <td>0.13</td> <td>0.64</td> <td>0.43</td> <td>0.70</td> <td>0.21</td> <td>0.033</td> <td>0.14</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>0.29</td> <td>0.27</td> <td>0.23</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.008</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>0.0032</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>0.0004</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井②	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16	ベンゼン	0.32	0.54	0.002	0.12	0.10	0.25	0.15	0.10	0.019	0.005	0.004	0.026	0.025	0.005	0.044	0.027	0.032	1,4-ジオキサン	0.088	0.20	0.097	0.10	0.13	0.64	0.43	0.70	0.21	0.033	0.14	0.21	0.20	0.29	0.27	0.23	0.28	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.0032	ND	0.0003	0.0004	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井②	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.18	R2.9.15	R2.10.20	R2.11.17	R2.12.15	R3.1.19	R3.2.16																																																																																												
ベンゼン	0.32	0.54	0.002	0.12	0.10	0.25	0.15	0.10	0.019	0.005	0.004	0.026	0.025	0.005	0.044	0.027	0.032																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.088	0.20	0.097	0.10	0.13	0.64	0.43	0.70	0.21	0.033	0.14	0.21	0.20	0.29	0.27	0.23	0.28																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.0032	ND	0.0003	0.0004	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1. 10</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>R2. 6</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2. 2 以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1. 10	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2. 2	—	揚水井を停止	R2. 6	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策停止期間：R2. 2 以降																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1. 10	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 2	—	揚水井を停止																																																																																																											
R2. 6	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2. 2 以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画③																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井②</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.11</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.14</th> <th style="font-size: small;">R2.3.26</th> <th style="font-size: small;">R2.4.21</th> <th style="font-size: small;">R2.5.19</th> <th style="font-size: small;">R2.6.15</th> <th style="font-size: small;">R2.7.13</th> <th style="font-size: small;">R2.8.19</th> <th style="font-size: small;">R2.9.16</th> <th style="font-size: small;">R2.10.22</th> <th style="font-size: small;">R2.11.17</th> <th style="font-size: small;">R2.12.16</th> <th style="font-size: small;">R3.1.20</th> <th style="font-size: small;">R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>0.78</td> <td>0.23</td> <td>0.10</td> <td>0.20</td> <td>0.042</td> <td>0.030</td> <td>0.021</td> <td>0.010</td> <td>0.013</td> <td>0.010</td> <td>0.028</td> <td>0.020</td> <td>0.017</td> <td>0.012</td> <td>0.035</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.18</td> <td>0.17</td> <td>0.096</td> <td>0.30</td> <td>0.33</td> <td>0.54</td> <td>0.27</td> <td>0.26</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>0.24</td> <td>0.27</td> <td>0.26</td> <td>0.24</td> <td>0.23</td> <td>0.24</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.007</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>0.0014</td> <td>ND</td> <td>0.0012</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>0.0003</td> <td>0.0044</td> </tr> </tbody> </table>	観測井②	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.17	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	1.3	1.3	0.78	0.23	0.10	0.20	0.042	0.030	0.021	0.010	0.013	0.010	0.028	0.020	0.017	0.012	0.035	1,4-ジオキサン	0.18	0.17	0.096	0.30	0.33	0.54	0.27	0.26	0.21	0.20	0.24	0.27	0.26	0.24	0.23	0.24	0.35	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.0014	ND	0.0012	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	0.0003	0.0044
観測井②	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.26	R2.4.21	R2.5.19	R2.6.15	R2.7.13	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.17	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	1.3	1.3	0.78	0.23	0.10	0.20	0.042	0.030	0.021	0.010	0.013	0.010	0.028	0.020	0.017	0.012	0.035																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.18	0.17	0.096	0.30	0.33	0.54	0.27	0.26	0.21	0.20	0.24	0.27	0.26	0.24	0.23	0.24	0.35																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.0014	ND	0.0012	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	0.0003	0.0044																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1. 10</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止 ウェルポイントによる揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 4</td> <td>—</td> <td>ウェルポイントを停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2. 4以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1. 10	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2. 2	—	揚水井を停止 ウェルポイントによる揚水浄化を開始	R2. 4	—	ウェルポイントを停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策停止期間：R2. 4以降																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1. 10	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 2	—	揚水井を停止 ウェルポイントによる揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 4	—	ウェルポイントを停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2. 4以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画④																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井④</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.14</th> <th>R2.3.24</th> <th>R2.4.20</th> <th>R2.5.19</th> <th>R2.6.16</th> <th>R2.7.14</th> <th>R2.8.19</th> <th>R2.9.16</th> <th>R2.10.22</th> <th>R2.11.18</th> <th>R2.12.16</th> <th>R3.1.20</th> <th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">ベンゼン</td> <td>0.008</td> <td>—</td> <td>0.005</td> <td>0.018</td> <td>0.038</td> <td>0.013</td> <td>0.011</td> <td>0.028</td> <td>0.020</td> <td>0.005</td> <td>0.008</td> <td>0.004</td> <td>0.014</td> <td>0.008</td> <td>0.006</td> <td>0.003</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.053</td> <td>—</td> <td>0.24</td> <td>0.22</td> <td>0.48</td> <td>0.46</td> <td>0.76</td> <td>0.037</td> <td>0.75</td> <td>0.012</td> <td>0.024</td> <td>0.47</td> <td>0.38</td> <td>0.21</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> </tr> </tbody> </table>	観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.008	—	0.005	0.018	0.038	0.013	0.011	0.028	0.020	0.005	0.008	0.004	0.014	0.008	0.006	0.003	0.003	1,4-ジオキサン	0.053	—	0.24	0.22	0.48	0.46	0.76	0.037	0.75	0.012	0.024	0.47	0.38	0.21	0.33	0.32	0.50	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.004	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	0.0002	ND	ND	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002
観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.008	—	0.005	0.018	0.038	0.013	0.011	0.028	0.020	0.005	0.008	0.004	0.014	0.008	0.006	0.003	0.003																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.053	—	0.24	0.22	0.48	0.46	0.76	0.037	0.75	0.012	0.024	0.47	0.38	0.21	0.33	0.32	0.50																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.004																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	0.0002	ND	ND	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年月</th> <th style="text-align: left;">局所的な汚染源対策</th> <th style="text-align: left;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.6</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>R2.7</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2.6以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止	R2.7	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策停止期間：R2.6以降																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止																																																																																																											
R2.7	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2.6以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度の変動はあるものの、今後とも安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画⑮																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑮</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.14</th> <th>R2.3.24</th> <th>R2.4.20</th> <th>R2.5.19</th> <th>R2.6.15</th> <th>R2.7.15</th> <th>R2.8.19</th> <th>R2.9.16</th> <th>R2.10.22</th> <th>R2.11.18</th> <th>R2.12.16</th> <th>R3.1.20</th> <th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.013</td> <td>0.013</td> <td>0.007</td> <td>0.048</td> <td>0.007</td> <td>0.006</td> <td>0.005</td> <td>0.006</td> <td>0.007</td> <td>0.004</td> <td>0.015</td> <td>—</td> <td>0.012</td> <td>0.014</td> <td>0.006</td> <td>0.003</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>1.0</td> <td>1.8</td> <td>0.30</td> <td>0.71</td> <td>0.79</td> <td>0.29</td> <td>0.37</td> <td>0.89</td> <td>1.9</td> <td>1.0</td> <td>2.7</td> <td>—</td> <td>0.18</td> <td>0.63</td> <td>0.19</td> <td>0.23</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>0.0028</td> <td>0.0026</td> <td>0.0015</td> <td>0.0011</td> <td>0.0008</td> <td>0.0007</td> <td>0.0009</td> <td>0.0008</td> <td>0.0008</td> <td>0.0004</td> <td>0.0023</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>0.0004</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>0.0006</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑮	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.15	R2.7.15	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.013	0.013	0.007	0.048	0.007	0.006	0.005	0.006	0.007	0.004	0.015	—	0.012	0.014	0.006	0.003	0.003	1,4-ジオキサン	1.0	1.8	0.30	0.71	0.79	0.29	0.37	0.89	1.9	1.0	2.7	—	0.18	0.63	0.19	0.23	0.087	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	0.0028	0.0026	0.0015	0.0011	0.0008	0.0007	0.0009	0.0008	0.0008	0.0004	0.0023	—	ND	0.0004	0.0002	ND	0.0006
観測井⑮	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.15	R2.7.15	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.013	0.013	0.007	0.048	0.007	0.006	0.005	0.006	0.007	0.004	0.015	—	0.012	0.014	0.006	0.003	0.003																																																																																												
1,4-ジオキサン	1.0	1.8	0.30	0.71	0.79	0.29	0.37	0.89	1.9	1.0	2.7	—	0.18	0.63	0.19	0.23	0.087																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	0.0028	0.0026	0.0015	0.0011	0.0008	0.0007	0.0009	0.0008	0.0008	0.0004	0.0023	—	ND	0.0004	0.0002	ND	0.0006																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、<u>局所的な汚染源の対策を実施している。(対策中)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策：HS-⑳</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1.10</td> <td>—</td> <td>オールスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始（区画⑳の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）</td> </tr> <tr> <td>R2.12</td> <td>深部のみのスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td><u>対策実施中</u></td> <td><u>対策実施中</u></td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-⑳	区画対策	R1.10	—	オールスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始（区画⑳の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）	R2.12	深部のみのスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始	—	—	<u>対策実施中</u>	<u>対策実施中</u>																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策：HS-⑳	区画対策																																																																																																											
R1.10	—	オールスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始（区画⑳の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）																																																																																																											
R2.12	深部のみのスクリーンの揚水井による揚水浄化を開始	—																																																																																																											
—	<u>対策実施中</u>	<u>対策実施中</u>																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												



### 浄化対策の状況

区画	区画②⑥																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井②⑥</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.7</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.10</th> <th style="font-size: small;">R2.3.24</th> <th style="font-size: small;">R2.4.20</th> <th style="font-size: small;">R2.5.19</th> <th style="font-size: small;">R2.6.16</th> <th style="font-size: small;">R2.7.15</th> <th style="font-size: small;">R2.8.19</th> <th style="font-size: small;">R2.9.16</th> <th style="font-size: small;">R2.10.22</th> <th style="font-size: small;">R2.11.18</th> <th style="font-size: small;">R2.12.16</th> <th style="font-size: small;">R3.1.20</th> <th style="font-size: small;">R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.21</td> <td>—</td> <td>0.10</td> <td>0.23</td> <td>0.20</td> <td>0.078</td> <td>0.020</td> <td>0.018</td> <td>0.032</td> <td>0.029</td> <td>0.025</td> <td>0.018</td> <td>0.037</td> <td>0.061</td> <td>0.042</td> <td>0.028</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.13</td> <td>—</td> <td>0.087</td> <td>0.45</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.17</td> <td>0.23</td> <td>0.24</td> <td>0.16</td> <td>0.14</td> <td>0.13</td> <td>0.22</td> <td>0.18</td> <td>0.17</td> <td>0.17</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.005</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井②⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.15	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.21	—	0.10	0.23	0.20	0.078	0.020	0.018	0.032	0.029	0.025	0.018	0.037	0.061	0.042	0.028	0.002	1,4-ジオキサン	0.13	—	0.087	0.45	0.11	0.11	0.17	0.23	0.24	0.16	0.14	0.13	0.22	0.18	0.17	0.17	0.012	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.001	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井②⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.15	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.21	—	0.10	0.23	0.20	0.078	0.020	0.018	0.032	0.029	0.025	0.018	0.037	0.061	0.042	0.028	0.002																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.13	—	0.087	0.45	0.11	0.11	0.17	0.23	0.24	0.16	0.14	0.13	0.22	0.18	0.17	0.17	0.012																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.001	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.3</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2.3以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.3	—	揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策停止期間：R2.3以降																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.3	—	揚水井による揚水浄化を開始 揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2.3以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑦																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井⑦</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.6</th> <th style="font-size: small;">R2.1.9</th> <th style="font-size: small;">R2.2.10</th> <th style="font-size: small;">R2.3.24</th> <th style="font-size: small;">R2.4.20</th> <th style="font-size: small;">R2.5.19</th> <th style="font-size: small;">R2.6.16</th> <th style="font-size: small;">R2.7.14</th> <th style="font-size: small;">R2.8.19</th> <th style="font-size: small;">R2.9.16</th> <th style="font-size: small;">R2.10.22</th> <th style="font-size: small;">R2.11.18</th> <th style="font-size: small;">R2.12.16</th> <th style="font-size: small;">R3.1.20</th> <th style="font-size: small;">R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.38</td> <td>0.40</td> <td>0.34</td> <td>0.089</td> <td>0.079</td> <td>0.074</td> <td>0.027</td> <td>0.009</td> <td>0.012</td> <td>0.015</td> <td>0.034</td> <td>0.043</td> <td>0.098</td> <td>0.090</td> <td>0.064</td> <td>0.040</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.38</td> <td>0.79</td> <td>0.40</td> <td>0.22</td> <td>0.35</td> <td>0.40</td> <td>0.36</td> <td>0.31</td> <td>0.35</td> <td>0.24</td> <td>0.25</td> <td>0.24</td> <td>0.31</td> <td>0.32</td> <td>0.27</td> <td>0.23</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.005</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑦	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.38	0.40	0.34	0.089	0.079	0.074	0.027	0.009	0.012	0.015	0.034	0.043	0.098	0.090	0.064	0.040	0.11	1,4-ジオキサン	0.38	0.79	0.40	0.22	0.35	0.40	0.36	0.31	0.35	0.24	0.25	0.24	0.31	0.32	0.27	0.23	0.28	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑦	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.9	R2.2.10	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.38	0.40	0.34	0.089	0.079	0.074	0.027	0.009	0.012	0.015	0.034	0.043	0.098	0.090	0.064	0.040	0.11																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.38	0.79	0.40	0.22	0.35	0.40	0.36	0.31	0.35	0.24	0.25	0.24	0.31	0.32	0.27	0.23	0.28																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>R2.11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策実施中</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.11	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2.2	—	揚水井を停止	R2.11	—	揚水井による揚水浄化を再開	—	対策なし	対策実施中																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.11	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.2	—	揚水井を停止																																																																																																											
R2.11	—	揚水井による揚水浄化を再開																																																																																																											
—	対策なし	対策実施中																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画⑳																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑳</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.6</th> <th>R2.1.9</th> <th>R2.2.14</th> <th>R2.3.24</th> <th>R2.4.20</th> <th>R2.5.19</th> <th>R2.6.16</th> <th>R2.7.14</th> <th>R2.8.19</th> <th>R2.9.16</th> <th>R2.10.22</th> <th>R2.11.18</th> <th>R2.12.16</th> <th>R3.1.20</th> <th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.57</td> <td>0.21</td> <td>0.19</td> <td>0.060</td> <td>0.046</td> <td>0.071</td> <td>0.032</td> <td>0.018</td> <td>0.019</td> <td>0.015</td> <td>0.013</td> <td>0.010</td> <td>0.027</td> <td>0.029</td> <td>0.069</td> <td>0.047</td> <td>0.078</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.18</td> <td>0.68</td> <td>0.30</td> <td>0.26</td> <td>0.41</td> <td>0.40</td> <td>0.38</td> <td>0.34</td> <td>0.29</td> <td>0.23</td> <td>0.26</td> <td>0.27</td> <td>0.23</td> <td>0.28</td> <td>0.27</td> <td>0.23</td> <td>0.53</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.57	0.21	0.19	0.060	0.046	0.071	0.032	0.018	0.019	0.015	0.013	0.010	0.027	0.029	0.069	0.047	0.078	1,4-ジオキサン	0.18	0.68	0.30	0.26	0.41	0.40	0.38	0.34	0.29	0.23	0.26	0.27	0.23	0.28	0.27	0.23	0.53	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.9	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.19	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.57	0.21	0.19	0.060	0.046	0.071	0.032	0.018	0.019	0.015	0.013	0.010	0.027	0.029	0.069	0.047	0.078																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.18	0.68	0.30	0.26	0.41	0.40	0.38	0.34	0.29	0.23	0.26	0.27	0.23	0.28	0.27	0.23	0.53																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2.2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2.2以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.11	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2.2	—	揚水井を停止	—	対策なし	対策停止期間：R2.2以降																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.11	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2.2	—	揚水井を停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2.2以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において継続的な濃度上昇は確認されておらず、一時的なリバウンドは起こり得るものの、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画⑳																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑳</th> <th>R1.5.15</th><th>R1.7.9</th><th>R1.11.6</th><th>R2.1.7</th><th>R2.2.14</th><th>R2.3.24</th><th>R2.4.20</th><th>R2.5.18</th><th>R2.6.16</th><th>R2.7.14</th><th>R2.8.19</th><th>R2.9.16</th><th>R2.10.22</th><th>R2.11.18</th><th>R2.12.16</th><th>R3.1.20</th><th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.011</td><td>0.016</td><td>0.013</td><td>0.071</td><td>0.18</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.010</td><td>0.031</td><td>0.010</td><td>0.005</td><td>0.008</td><td>0.010</td><td>0.012</td><td>0.019</td><td>0.009</td><td>0.018</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>1.7</td><td>1.9</td><td>1.0</td><td>0.79</td><td>0.17</td><td>2.2</td><td>0.88</td><td>1.8</td><td>0.16</td><td>1.4</td><td>1.0</td><td>1.4</td><td>0.52</td><td>0.29</td><td>0.29</td><td>0.12</td><td>0.33</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>0.001</td><td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.004</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.0003</td><td>0.0010</td><td>0.0004</td><td>0.0002</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.0002</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.18	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.011	0.016	0.013	0.071	0.18	0.036	0.037	0.010	0.031	0.010	0.005	0.008	0.010	0.012	0.019	0.009	0.018	1,4-ジオキサン	1.7	1.9	1.0	0.79	0.17	2.2	0.88	1.8	0.16	1.4	1.0	1.4	0.52	0.29	0.29	0.12	0.33	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	0.0003	0.0010	0.0004	0.0002	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.7	R2.2.14	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.18	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.011	0.016	0.013	0.071	0.18	0.036	0.037	0.010	0.031	0.010	0.005	0.008	0.010	0.012	0.019	0.009	0.018																																																																																												
1,4-ジオキサン	1.7	1.9	1.0	0.79	0.17	2.2	0.88	1.8	0.16	1.4	1.0	1.4	0.52	0.29	0.29	0.12	0.33																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	0.0003	0.0010	0.0004	0.0002	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1. 11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始（区画㉑の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td><u>対策実施中</u></td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始（区画㉑の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）	—	対策なし	<u>対策実施中</u>																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始（区画㉑の化学処理中は汚染物質の流入を避けるため停止）																																																																																																											
—	対策なし	<u>対策実施中</u>																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画③⑩																																										
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">観測井③⑩</th> <th style="width: 15%;">H30.6.20</th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">R2.11.27</th> <th style="width: 15%;">R2.12.14</th> <th style="width: 15%;">R3.1.20</th> <th style="width: 15%;">R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベンゼン</td> <td>0.046</td> <td></td> <td>0.004</td> <td>0.003</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>1,4-ジオキサン</td> <td>14</td> <td></td> <td>0.21</td> <td>0.23</td> <td>0.21</td> <td>0.42</td> </tr> <tr> <td>トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td></td> <td>0.004</td> <td>0.002</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td>1,2-ジクロロエチレン</td> <td>0.005</td> <td></td> <td>0.009</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td>クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td></td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)H30. 6. 20 の計測値は別の調査で計測した参考値である。</p>	観測井③⑩	H30.6.20		R2.11.27	R2.12.14	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.046		0.004	0.003	0.002	0.005	1,4-ジオキサン	14		0.21	0.23	0.21	0.42	トリクロロエチレン	ND		0.004	0.002	0.001	ND	1,2-ジクロロエチレン	0.005		0.009	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND		0.0003	ND	ND	ND
観測井③⑩	H30.6.20		R2.11.27	R2.12.14	R3.1.20	R3.2.17																																					
ベンゼン	0.046		0.004	0.003	0.002	0.005																																					
1,4-ジオキサン	14		0.21	0.23	0.21	0.42																																					
トリクロロエチレン	ND		0.004	0.002	0.001	ND																																					
1,2-ジクロロエチレン	0.005		0.009	ND	ND	ND																																					
クロロエチレン	ND		0.0003	ND	ND	ND																																					
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。また、局所的な汚染源の対策を実施し、汚染物質濃度の上昇要因を除去した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 50%;">局所的な汚染源対策：HS-③⑩</th> <th style="width: 40%;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1. 11</td> <td>フェントン試薬の注入による化学処理を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 6</td> <td>化学処理を終了 一部の小区画で揚水浄化を開始</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 9</td> <td>揚水浄化を終了</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 10</td> <td>浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 11</td> <td>—</td> <td>区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策停止期間：R2. 9以降</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策：HS-③⑩	区画対策	R1. 11	フェントン試薬の注入による化学処理を開始	—	R2. 6	化学処理を終了 一部の小区画で揚水浄化を開始	—	R2. 9	揚水浄化を終了	—	R2. 10	浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）	—	R2. 11	—	区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策停止期間：R2. 9以降	対策なし																					
年月	局所的な汚染源対策：HS-③⑩	区画対策																																									
R1. 11	フェントン試薬の注入による化学処理を開始	—																																									
R2. 6	化学処理を終了 一部の小区画で揚水浄化を開始	—																																									
R2. 9	揚水浄化を終了	—																																									
R2. 10	浄化対象の全小区画において、排水基準適合を確認（浄化対策の終了）	—																																									
R2. 11	—	区画中央に観測井を設置 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																									
—	対策停止期間：R2. 9以降	対策なし																																									
浄化対策後の地下水の水質の評価（案）	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度の変動はあるものの、今後とも安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																										

## 浄化対策の状況

区画	区画③1																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井③1</th> <th style="font-size: x-small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: x-small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: x-small;">R1.11.7</th> <th style="font-size: x-small;">R2.1.10</th> <th style="font-size: x-small;">R2.2.13</th> <th style="font-size: x-small;">R2.3.24</th> <th style="font-size: x-small;">R2.4.20</th> <th style="font-size: x-small;">R2.5.18</th> <th style="font-size: x-small;">R2.6.16</th> <th style="font-size: x-small;">R2.7.14</th> <th style="font-size: x-small;">R2.8.19</th> <th style="font-size: x-small;">R2.9.16</th> <th style="font-size: x-small;">R2.10.22</th> <th style="font-size: x-small;">R2.11.18</th> <th style="font-size: x-small;">R2.12.16</th> <th style="font-size: x-small;">R3.1.20</th> <th style="font-size: x-small;">R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: x-small;">ベンゼン</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>0.59</td> <td>0.53</td> <td>0.43</td> <td>0.31</td> <td>0.27</td> <td>0.25</td> <td>0.27</td> <td>0.089</td> <td>0.018</td> <td>0.032</td> <td>0.050</td> <td>0.10</td> <td>0.028</td> <td>0.002</td> <td>0.027</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.44</td> <td>0.43</td> <td>0.46</td> <td>0.28</td> <td>0.25</td> <td>0.27</td> <td>0.29</td> <td>0.33</td> <td>0.35</td> <td>0.26</td> <td>0.23</td> <td>0.27</td> <td>0.27</td> <td>0.28</td> <td>0.15</td> <td>0.24</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">トリクロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">1,2-ジクロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井③1	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.18	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.72	0.72	0.59	0.53	0.43	0.31	0.27	0.25	0.27	0.089	0.018	0.032	0.050	0.10	0.028	0.002	0.027	1,4-ジオキサン	0.44	0.43	0.46	0.28	0.25	0.27	0.29	0.33	0.35	0.26	0.23	0.27	0.27	0.28	0.15	0.24	0.24	トリクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.001	0.003	1,2-ジクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井③1	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.24	R2.4.20	R2.5.18	R2.6.16	R2.7.14	R2.8.19	R2.9.16	R2.10.22	R2.11.18	R2.12.16	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.72	0.72	0.59	0.53	0.43	0.31	0.27	0.25	0.27	0.089	0.018	0.032	0.050	0.10	0.028	0.002	0.027																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.44	0.43	0.46	0.28	0.25	0.27	0.29	0.33	0.35	0.26	0.23	0.27	0.27	0.28	0.15	0.24	0.24																																																																																												
トリクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.001	0.003																																																																																												
1,2-ジクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2. 3</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 7</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>R2. 11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>R3. 1</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R3. 1 以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2. 3	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2. 7	—	揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認	R2. 11	—	揚水井による揚水浄化を再開	R3. 1	—	揚水井を停止	—	対策なし	対策停止期間：R3. 1 以降																																																																																							
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2. 3	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 7	—	揚水井を停止 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
R2. 11	—	揚水井による揚水浄化を再開																																																																																																											
R3. 1	—	揚水井を停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R3. 1 以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画③																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井③</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.6</th> <th>R2.1.10</th> <th>R2.2.13</th> <th>R2.3.25</th> <th>R2.4.22</th> <th>R2.5.18</th> <th>R2.6.17</th> <th>R2.7.14</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.17</th> <th>R2.10.23</th> <th>R2.11.18</th> <th>R2.12.17</th> <th>R3.1.20</th> <th>R3.2.17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.28</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td>0.034</td> <td>0.020</td> <td>0.031</td> <td>0.014</td> <td>0.010</td> <td>0.016</td> <td>0.008</td> <td>0.012</td> <td>0.013</td> <td>0.005</td> <td>0.046</td> <td>0.057</td> <td>0.032</td> <td>0.036</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.84</td> <td>1.2</td> <td>0.45</td> <td>0.15</td> <td>0.31</td> <td>0.33</td> <td>0.33</td> <td>0.31</td> <td>0.47</td> <td>0.21</td> <td>0.22</td> <td>0.45</td> <td>0.31</td> <td>0.31</td> <td>0.25</td> <td>0.25</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井③	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.14	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.18	R2.12.17	R3.1.20	R3.2.17	ベンゼン	0.28	0.22	0.11	0.034	0.020	0.031	0.014	0.010	0.016	0.008	0.012	0.013	0.005	0.046	0.057	0.032	0.036	1,4-ジオキサン	0.84	1.2	0.45	0.15	0.31	0.33	0.33	0.31	0.47	0.21	0.22	0.45	0.31	0.31	0.25	0.25	0.64	トリクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.004	1,2-ジクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井③	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.14	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.18	R2.12.17	R3.1.20	R3.2.17																																																																																												
ベンゼン	0.28	0.22	0.11	0.034	0.020	0.031	0.014	0.010	0.016	0.008	0.012	0.013	0.005	0.046	0.057	0.032	0.036																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.84	1.2	0.45	0.15	0.31	0.33	0.33	0.31	0.47	0.21	0.22	0.45	0.31	0.31	0.25	0.25	0.64																																																																																												
トリクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.004																																																																																												
1,2-ジクロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1. 11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 5</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R2. 5以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2. 5	—	揚水井を停止	—	対策なし	対策停止期間：R2. 5以降																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 5	—	揚水井を停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R2. 5以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策の終了以降、区画中央の観測井において継続的な濃度上昇は確認されおらず、一時的なリバウンドは起こり得るものの、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画③																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井③</th> <th>R1.5.15</th><th>R1.7.9</th><th>R1.11.6</th><th>R2.1.10</th><th>R2.2.13</th><th>R2.3.25</th><th>R2.4.22</th><th>R2.5.18</th><th>R2.6.17</th><th>R2.7.15</th><th>R2.8.20</th><th>R2.9.17</th><th>R2.10.23</th><th>R2.11.19</th><th>R2.12.17</th><th>R3.1.21</th><th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.34</td><td>0.65</td><td>0.30</td><td>0.076</td><td>0.059</td><td>0.067</td><td>0.041</td><td>0.26</td><td>0.053</td><td>0.062</td><td>0.027</td><td>0.077</td><td>0.048</td><td>0.039</td><td>0.042</td><td>0.057</td><td>0.044</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.17</td><td>0.86</td><td>0.59</td><td>0.26</td><td>0.33</td><td>0.41</td><td>0.38</td><td>0.71</td><td>0.46</td><td>0.29</td><td>0.62</td><td>0.71</td><td>0.46</td><td>0.29</td><td>0.24</td><td>0.24</td><td>0.85</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.004</td><td>ND</td><td>0.002</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>ND</td><td>0.0003</td><td>ND</td><td>0.0004</td><td>0.0002</td><td>ND</td><td>0.0003</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井③	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.34	0.65	0.30	0.076	0.059	0.067	0.041	0.26	0.053	0.062	0.027	0.077	0.048	0.039	0.042	0.057	0.044	1,4-ジオキサン	0.17	0.86	0.59	0.26	0.33	0.41	0.38	0.71	0.46	0.29	0.62	0.71	0.46	0.29	0.24	0.24	0.85	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	0.002	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.0003	ND	0.0004	0.0002	ND	0.0003	ND	ND
観測井③	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.6	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.34	0.65	0.30	0.076	0.059	0.067	0.041	0.26	0.053	0.062	0.027	0.077	0.048	0.039	0.042	0.057	0.044																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.17	0.86	0.59	0.26	0.33	0.41	0.38	0.71	0.46	0.29	0.62	0.71	0.46	0.29	0.24	0.24	0.85																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	0.002																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.0003	ND	0.0004	0.0002	ND	0.0003	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1. 11</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R2. 6</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>R2. 10</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を再開</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策実施中</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始	R2. 6	—	揚水井を停止	R2. 10	—	揚水井による揚水浄化を再開	—	対策なし	対策実施中																																																																																										
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1. 11	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R2. 6	—	揚水井を停止																																																																																																											
R2. 10	—	揚水井による揚水浄化を再開																																																																																																											
—	対策なし	対策実施中																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												



### 浄化対策の状況

区画	区画③4																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井④</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.11</th> <th>R2.1.7</th> <th>R2.2.13</th> <th>R2.3.25</th> <th>R2.4.22</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.17</th> <th>R2.7.15</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.17</th> <th>R2.10.23</th> <th>R2.11.19</th> <th>R2.12.17</th> <th>R3.1.21</th> <th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">ベンゼン</td> <td>0.034</td> <td>—</td> <td>0.067</td> <td>0.052</td> <td>0.038</td> <td>0.049</td> <td>0.067</td> <td>0.037</td> <td>0.043</td> <td>0.015</td> <td>0.005</td> <td>0.010</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.005</td> <td>0.002</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.21</td> <td>—</td> <td>0.43</td> <td>0.46</td> <td>0.10</td> <td>0.17</td> <td>0.22</td> <td>0.13</td> <td>0.25</td> <td>0.17</td> <td>0.051</td> <td>0.083</td> <td>0.065</td> <td>0.035</td> <td>0.029</td> <td>0.021</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.0004</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0003</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.20	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.034	—	0.067	0.052	0.038	0.049	0.067	0.037	0.043	0.015	0.005	0.010	0.004	0.004	0.005	0.002	0.004	1,4-ジオキサン	0.21	—	0.43	0.46	0.10	0.17	0.22	0.13	0.25	0.17	0.051	0.083	0.065	0.035	0.029	0.021	0.14	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	0.0004	ND	ND	0.0003	ND	ND	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND
観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.11	R2.1.7	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.20	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.034	—	0.067	0.052	0.038	0.049	0.067	0.037	0.043	0.015	0.005	0.010	0.004	0.004	0.005	0.002	0.004																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.21	—	0.43	0.46	0.10	0.17	0.22	0.13	0.25	0.17	0.051	0.083	0.065	0.035	0.029	0.021	0.14																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	0.0004	ND	ND	0.0003	ND	ND	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年月</th> <th style="text-align: left;">局所的な汚染源対策</th> <th style="text-align: left;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.5</td> <td>—</td> <td>区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画③⑥																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井③⑥</th> <th>R1.5.15</th><th>R1.7.9</th><th>R1.11.7</th><th>R2.1.10</th><th>R2.2.13</th><th>R2.3.25</th><th>R2.4.22</th><th>R2.5.18</th><th>R2.6.17</th><th>R2.7.14</th><th>R2.8.20</th><th>R2.9.17</th><th>R2.10.23</th><th>R2.11.19</th><th>R2.12.17</th><th>R3.1.21</th><th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.13</td><td>0.093</td><td>0.046</td><td>0.035</td><td>0.11</td><td>0.053</td><td>0.048</td><td>0.041</td><td>0.065</td><td>0.005</td><td>0.072</td><td>0.042</td><td>0.005</td><td>0.005</td><td>0.003</td><td>0.001</td><td>0.010</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.60</td><td>0.70</td><td>0.45</td><td>0.27</td><td>0.55</td><td>0.61</td><td>0.61</td><td>0.62</td><td>0.74</td><td>0.72</td><td>0.80</td><td>0.79</td><td>0.38</td><td>0.25</td><td>0.13</td><td>0.22</td><td>0.57</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.001</td><td>ND</td><td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井③⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.14	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.13	0.093	0.046	0.035	0.11	0.053	0.048	0.041	0.065	0.005	0.072	0.042	0.005	0.005	0.003	0.001	0.010	1,4-ジオキサン	0.60	0.70	0.45	0.27	0.55	0.61	0.61	0.62	0.74	0.72	0.80	0.79	0.38	0.25	0.13	0.22	0.57	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井③⑥	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.14	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.13	0.093	0.046	0.035	0.11	0.053	0.048	0.041	0.065	0.005	0.072	0.042	0.005	0.005	0.003	0.001	0.010																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.60	0.70	0.45	0.27	0.55	0.61	0.61	0.62	0.74	0.72	0.80	0.79	0.38	0.25	0.13	0.22	0.57																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.6</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R3.2以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始	R3.2	—	揚水井を停止	—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R3.2	—	揚水井を停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画③7																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井⑦</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.7</th> <th style="font-size: small;">R2.1.10</th> <th style="font-size: small;">R2.2.13</th> <th style="font-size: small;">R2.3.25</th> <th style="font-size: small;">R2.4.22</th> <th style="font-size: small;">R2.5.18</th> <th style="font-size: small;">R2.6.17</th> <th style="font-size: small;">R2.7.15</th> <th style="font-size: small;">R2.8.20</th> <th style="font-size: small;">R2.9.17</th> <th style="font-size: small;">R2.10.23</th> <th style="font-size: small;">R2.11.19</th> <th style="font-size: small;">R2.12.17</th> <th style="font-size: small;">R3.1.21</th> <th style="font-size: small;">R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.097</td> <td>—</td> <td>0.055</td> <td>0.13</td> <td>0.11</td> <td>0.10</td> <td>0.12</td> <td>0.053</td> <td>0.047</td> <td>0.082</td> <td>0.030</td> <td>0.034</td> <td>0.059</td> <td>0.060</td> <td>0.056</td> <td>0.050</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.25</td> <td>—</td> <td>0.13</td> <td>0.38</td> <td>0.31</td> <td>0.25</td> <td>0.32</td> <td>0.26</td> <td>0.30</td> <td>0.28</td> <td>0.30</td> <td>0.24</td> <td>0.29</td> <td>0.35</td> <td>0.19</td> <td>0.24</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑦	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.097	—	0.055	0.13	0.11	0.10	0.12	0.053	0.047	0.082	0.030	0.034	0.059	0.060	0.056	0.050	0.041	1,4-ジオキサン	0.25	—	0.13	0.38	0.31	0.25	0.32	0.26	0.30	0.28	0.30	0.24	0.29	0.35	0.19	0.24	0.27	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井⑦	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.097	—	0.055	0.13	0.11	0.10	0.12	0.053	0.047	0.082	0.030	0.034	0.059	0.060	0.056	0.050	0.041																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.25	—	0.13	0.38	0.31	0.25	0.32	0.26	0.30	0.28	0.30	0.24	0.29	0.35	0.19	0.24	0.27																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.5</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.5	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.5	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画⑳																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">観測井⑳</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.7</th> <th>R2.1.10</th> <th>R2.2.13</th> <th>R2.3.25</th> <th>R2.4.22</th> <th>R2.5.18</th> <th>R2.6.17</th> <th>R2.7.15</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.17</th> <th>R2.10.23</th> <th>R2.11.19</th> <th>R2.12.17</th> <th>R3.1.21</th> <th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">ベンゼン</td> <td>0.10</td> <td>—</td> <td>0.15</td> <td>0.045</td> <td>0.035</td> <td>0.022</td> <td>0.017</td> <td>0.023</td> <td>0.032</td> <td>0.031</td> <td>0.005</td> <td>0.008</td> <td>0.006</td> <td>0.008</td> <td>0.017</td> <td>0.010</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.17</td> <td>—</td> <td>0.99</td> <td>0.14</td> <td>0.17</td> <td>0.24</td> <td>0.16</td> <td>0.13</td> <td>0.17</td> <td>0.16</td> <td>0.046</td> <td>0.11</td> <td>0.12</td> <td>0.13</td> <td>0.15</td> <td>0.12</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.006</td> <td>ND</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.004</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.006</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e1eef6;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0017</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>0.0017</td> <td>0.0006</td> <td>0.0052</td> </tr> </tbody> </table>	観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.10	—	0.15	0.045	0.035	0.022	0.017	0.023	0.032	0.031	0.005	0.008	0.006	0.008	0.017	0.010	0.020	1,4-ジオキサン	0.17	—	0.99	0.14	0.17	0.24	0.16	0.13	0.17	0.16	0.046	0.11	0.12	0.13	0.15	0.12	0.36	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.002	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	クロロエチレン	ND	—	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0017	ND	ND	ND	0.0002	0.0017	0.0006	0.0052
観測井⑳	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.10	—	0.15	0.045	0.035	0.022	0.017	0.023	0.032	0.031	0.005	0.008	0.006	0.008	0.017	0.010	0.020																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.17	—	0.99	0.14	0.17	0.24	0.16	0.13	0.17	0.16	0.046	0.11	0.12	0.13	0.15	0.12	0.36																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.002																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0017	ND	ND	ND	0.0002	0.0017	0.0006	0.0052																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1eef6;">年月</th> <th style="background-color: #e1eef6;">局所的な汚染源対策</th> <th style="background-color: #e1eef6;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.1</td> <td>—</td> <td>これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.1	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.1	—	これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画④																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井④</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.7</th> <th>R2.1.10</th> <th>R2.2.13</th> <th>R2.3.25</th> <th>R2.4.22</th> <th>R2.5.20</th> <th>R2.6.17</th> <th>R2.7.15</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.17</th> <th>R2.10.23</th> <th>R2.11.19</th> <th>R2.12.17</th> <th>R3.1.21</th> <th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">ベンゼン</td> <td>0.010</td> <td>—</td> <td>0.001</td> <td style="background-color: yellow;">0.016</td> <td>0.003</td> <td>0.002</td> <td>0.002</td> <td>0.002</td> <td>0.003</td> <td>0.002</td> <td>0.003</td> <td>0.004</td> <td>0.010</td> <td>0.002</td> <td>0.004</td> <td>0.003</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.039</td> <td>—</td> <td>0.019</td> <td style="background-color: yellow;">0.016</td> <td>0.012</td> <td>0.013</td> <td>0.010</td> <td>0.039</td> <td>0.043</td> <td>0.015</td> <td style="background-color: yellow;">0.073</td> <td style="background-color: yellow;">0.061</td> <td style="background-color: yellow;">0.094</td> <td style="background-color: yellow;">0.12</td> <td style="background-color: yellow;">0.14</td> <td style="background-color: yellow;">0.14</td> <td style="background-color: yellow;">0.12</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> </tbody> </table>	観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.20	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.010	—	0.001	0.016	0.003	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004	0.010	0.002	0.004	0.003	0.002	1,4-ジオキサン	0.039	—	0.019	0.016	0.012	0.013	0.010	0.039	0.043	0.015	0.073	0.061	0.094	0.12	0.14	0.14	0.12	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.20	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.010	—	0.001	0.016	0.003	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004	0.010	0.002	0.004	0.003	0.002																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.039	—	0.019	0.016	0.012	0.013	0.010	0.039	0.043	0.015	0.073	0.061	0.094	0.12	0.14	0.14	0.12																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.001																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年月</th> <th style="text-align: left;">局所的な汚染源対策</th> <th style="text-align: left;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.5</td> <td>—</td> <td>区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

## 浄化対策の状況

区画	区画④																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度が排水基準に適合していないため、モニタリングを継続する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">観測井④</th> <th style="font-size: small;">R1.5.15</th> <th style="font-size: small;">R1.7.9</th> <th style="font-size: small;">R1.11.7</th> <th style="font-size: small;">R2.1.10</th> <th style="font-size: small;">R2.2.13</th> <th style="font-size: small;">R2.3.25</th> <th style="font-size: small;">R2.4.22</th> <th style="font-size: small;">R2.5.18</th> <th style="font-size: small;">R2.6.17</th> <th style="font-size: small;">R2.7.15</th> <th style="font-size: small;">R2.8.20</th> <th style="font-size: small;">R2.9.17</th> <th style="font-size: small;">R2.10.23</th> <th style="font-size: small;">R2.11.19</th> <th style="font-size: small;">R2.12.17</th> <th style="font-size: small;">R3.1.21</th> <th style="font-size: small;">R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">ベンゼン</td> <td>0.024</td> <td>0.019</td> <td>0.041</td> <td>0.044</td> <td>0.037</td> <td>0.026</td> <td>0.028</td> <td>0.025</td> <td>0.027</td> <td>0.029</td> <td>0.046</td> <td>0.018</td> <td>0.038</td> <td>0.020</td> <td>0.023</td> <td>0.024</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.72</td> <td>0.79</td> <td>0.43</td> <td>0.49</td> <td>0.62</td> <td>0.62</td> <td>0.62</td> <td>0.67</td> <td>0.32</td> <td>0.57</td> <td>0.29</td> <td>0.64</td> <td>0.30</td> <td>0.23</td> <td>0.20</td> <td>0.20</td> <td>0.61</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.003</td> <td>ND</td> <td>0.006</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> <td>ND</td> <td>0.016</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.003</td> <td>ND</td> <td>0.035</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.005</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">クロロエチレン</td> <td>0.0006</td> <td>0.0004</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>0.0002</td> <td>0.0003</td> <td>0.0003</td> <td>0.0004</td> <td>0.0004</td> <td>0.0005</td> <td>0.0006</td> <td>0.0007</td> <td>0.0002</td> <td>0.0002</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>0.0012</td> </tr> </tbody> </table>	観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.024	0.019	0.041	0.044	0.037	0.026	0.028	0.025	0.027	0.029	0.046	0.018	0.038	0.020	0.023	0.024	0.023	1,4-ジオキサン	0.72	0.79	0.43	0.49	0.62	0.62	0.62	0.67	0.32	0.57	0.29	0.64	0.30	0.23	0.20	0.20	0.61	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	0.006	0.002	0.005	ND	0.016	ND	ND	0.003	ND	0.035	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	0.014	クロロエチレン	0.0006	0.0004	ND	0.0002	0.0002	0.0003	0.0003	0.0004	0.0004	0.0005	0.0006	0.0007	0.0002	0.0002	0.0002	ND	0.0012
観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.024	0.019	0.041	0.044	0.037	0.026	0.028	0.025	0.027	0.029	0.046	0.018	0.038	0.020	0.023	0.024	0.023																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.72	0.79	0.43	0.49	0.62	0.62	0.62	0.67	0.32	0.57	0.29	0.64	0.30	0.23	0.20	0.20	0.61																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	0.006	0.002	0.005	ND	0.016	ND	ND	0.003	ND	0.035																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	0.014																																																																																												
クロロエチレン	0.0006	0.0004	ND	0.0002	0.0002	0.0003	0.0003	0.0004	0.0004	0.0005	0.0006	0.0007	0.0002	0.0002	0.0002	ND	0.0012																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年月</th> <th style="font-size: small;">局所的な汚染源対策</th> <th style="font-size: small;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2.6</td> <td>—</td> <td>揚水井による揚水浄化を開始</td> </tr> <tr> <td>R3.2</td> <td>—</td> <td>揚水井を停止</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策停止期間：R3.2以降</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始	R3.2	—	揚水井を停止	—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																													
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R2.6	—	揚水井による揚水浄化を開始																																																																																																											
R3.2	—	揚水井を停止																																																																																																											
—	対策なし	対策停止期間：R3.2以降																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	区画④																																																																																																												
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	<p>当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">観測井④</th> <th>R1.5.15</th> <th>R1.7.9</th> <th>R1.11.7</th> <th>R2.1.10</th> <th>R2.2.13</th> <th>R2.3.25</th> <th>R2.4.22</th> <th>R2.5.18</th> <th>R2.6.17</th> <th>R2.7.15</th> <th>R2.8.20</th> <th>R2.9.17</th> <th>R2.10.23</th> <th>R2.11.19</th> <th>R2.12.17</th> <th>R3.1.21</th> <th>R3.2.18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">ベンゼン</td> <td>0.025</td> <td>—</td> <td>0.016</td> <td>0.033</td> <td>0.011</td> <td>0.097</td> <td>0.088</td> <td>0.049</td> <td>0.032</td> <td>0.022</td> <td>0.012</td> <td>0.015</td> <td>0.018</td> <td>0.010</td> <td>0.009</td> <td>0.008</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,4-ジオキサン</td> <td>0.067</td> <td>—</td> <td>0.064</td> <td>0.29</td> <td>0.072</td> <td>0.053</td> <td>0.038</td> <td>0.031</td> <td>0.040</td> <td>0.018</td> <td>0.011</td> <td>0.16</td> <td>0.076</td> <td>0.073</td> <td>0.082</td> <td>0.12</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">トリクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.001</td> <td>0.001</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.005</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1,2-ジクロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.008</td> <td>0.008</td> <td>0.005</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">クロロエチレン</td> <td>ND</td> <td>—</td> <td>ND</td> <td>0.0002</td> <td>ND</td> <td>0.0015</td> <td>0.0016</td> <td>0.0013</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>0.0007</td> <td>0.001</td> <td>0.0006</td> <td>0.0008</td> <td>0.001</td> <td>0.0009</td> <td>0.0008</td> </tr> </tbody> </table>	観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18	ベンゼン	0.025	—	0.016	0.033	0.011	0.097	0.088	0.049	0.032	0.022	0.012	0.015	0.018	0.010	0.009	0.008	0.012	1,4-ジオキサン	0.067	—	0.064	0.29	0.072	0.053	0.038	0.031	0.040	0.018	0.011	0.16	0.076	0.073	0.082	0.12	0.25	トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.001	0.003	1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	0.008	0.008	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	クロロエチレン	ND	—	ND	0.0002	ND	0.0015	0.0016	0.0013	ND	ND	0.0007	0.001	0.0006	0.0008	0.001	0.0009	0.0008
観測井④	R1.5.15	R1.7.9	R1.11.7	R2.1.10	R2.2.13	R2.3.25	R2.4.22	R2.5.18	R2.6.17	R2.7.15	R2.8.20	R2.9.17	R2.10.23	R2.11.19	R2.12.17	R3.1.21	R3.2.18																																																																																												
ベンゼン	0.025	—	0.016	0.033	0.011	0.097	0.088	0.049	0.032	0.022	0.012	0.015	0.018	0.010	0.009	0.008	0.012																																																																																												
1,4-ジオキサン	0.067	—	0.064	0.29	0.072	0.053	0.038	0.031	0.040	0.018	0.011	0.16	0.076	0.073	0.082	0.12	0.25																																																																																												
トリクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.001	0.003																																																																																												
1,2-ジクロロエチレン	ND	—	ND	ND	ND	0.008	0.008	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND																																																																																												
クロロエチレン	ND	—	ND	0.0002	ND	0.0015	0.0016	0.0013	ND	ND	0.0007	0.001	0.0006	0.0008	0.001	0.0009	0.0008																																																																																												
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	<p>下記のとおり浄化対策を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年月</th> <th style="text-align: left;">局所的な汚染源対策</th> <th style="text-align: left;">区画対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>(局所的な汚染源なし)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R1.5</td> <td>—</td> <td>区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>対策なし</td> <td>対策なし</td> </tr> </tbody> </table>	年月	局所的な汚染源対策	区画対策	—	(局所的な汚染源なし)	—	R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認	—	対策なし	対策なし																																																																																																
年月	局所的な汚染源対策	区画対策																																																																																																											
—	(局所的な汚染源なし)	—																																																																																																											
R1.5	—	区画中央の観測井で定期モニタリングを開始 これ以降、継続して排水基準適合を確認																																																																																																											
—	対策なし	対策なし																																																																																																											
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	<p>以上のとおり、区画中央の観測井において濃度上昇は確認されておらず、今後も安定的に排水基準を満たすと見込まれる。</p>																																																																																																												

### 浄化対策の状況

区画	D測線西側						
当該区画の汚染物質濃度の推移の整理	当該区画における汚染物質濃度は排水基準に適合している。						
	観測井D西-1 (B+40, 2+30)	H28.2.19		R2.11.27	R2.12.14	R3.1.21	R3.2.18
	ベンゼン	0.14		0.025	0.027	0.028	0.006
	1,4-ジオキサン	0.67		0.030	0.039	0.40	0.048
	トリクロロエチレン	ND		0.033	0.014	0.005	0.011
	1,2-ジクロロエチレン	0.005		0.11	0.057	0.064	0.015
	クロロエチレン	0.0011		0.0096	0.014	0.030	0.0014
	観測井D西-2 (C+10, 2+20)	H28.2.19		R2.11.27	R2.12.14	R3.1.21	R3.2.18
	ベンゼン	0.035		0.011	0.007	0.013	0.012
	1,4-ジオキサン	2.3		0.083	0.082	0.091	0.066
	トリクロロエチレン	0.013		0.002	0.009	0.003	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.29		0.008	0.006	0.036	ND
	クロロエチレン	0.13		0.0034	0.0012	0.0073	0.0018
	(※)H28. 2. 19 の計測値は別の調査で計測した参考値である。						
浄化対策の実施の経緯・経過とその効果	下記のとおり浄化対策を行った。また、 <u>局所的な汚染源の対策を実施している。(対策中)</u>						
	年月	局所的な汚染源対策：HS-D西	区画対策				
	R1. 11	フェントン試薬の注入による化学処理を開始	—				
	R2. 7	化学処理を終了	—				
	R2. 8	一部の小区画で揚水浄化を開始	—				
	R2. 9	揚水浄化を終了	—				
	R2. 10	一部の小区画で化学処理を再開	—				
	R2. 11	化学処理を終了	区画中央に観測井を設置				
	R3. 1	一部の小区画で揚水を併用した化学処理を開始	—				
	—	<u>対策実施中</u>	対策なし				
浄化対策後の地下水の水質の評価(案)	以上のとおり、浄化対策を実施中であり、区画中央の観測井においてモニタリングを継続する。						



## 豊島内施設撤去関連施設の第 II 期工事の地下水浄化の観点からの検討（その 2）

### 1. 概要

第 14 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において審議・了承を得た「豊島内施設撤去関連施設の第 II 期工事の地下水浄化の観点からの検討」（水第 14 回 II / 6）及び第 8 回豊島事業関連施設の撤去等検討会において審議・了承を得た「豊島内関連施設の撤去についての第 II 期工事に関する検討」（水第 8 回 II / 6）に従い、地下水の浄化及び雨水排水に関連する事項について施設ごとの撤去の条件整理を行った。

なお、対象施設並びに撤去時期は現時点での想定であり、地下水浄化の進捗状況等により変更が生じる場合がある。

### 2. 対象施設

撤去施設について、地下水浄化対策との関連性及び雨水排水処理対策との関連性については、表 1 のとおりである。

表 1 第 II 期工事の撤去施設の種類  
(水第 14 回 II / 6 表 1 に追記)

施設の役割	番号	施設名	内容	地下水浄化対策との関連性※1	雨水排水処理対策との関連性※1
①処分地内の雨水の集水・貯留・排除施設	①-1	処分地進入路の排水路	進入路付近の雨水を沈砂池 1 又は 2 に排水する施設	△	○
	①-2	承水路	高度排水処理施設東側付近の雨水を排除する施設	△	○
	①-3	承水路下トレンチドレーン	承水路下地下水の集水施設	△	○
	①-4	西井戸	承水路下トレンチドレーンからの揚水・排水施設	△	○
	①-5	沈砂池 1	雨水の貯留・排除施設	△	○
	①-6	沈砂池 2	雨水の貯留・排除施設	△	○
②遮水壁近傍地下水の集水・貯留・送水施設	②-1	トレンチドレーン	遮水壁付近の地下水の集水施設	○	×
	②-2	北揚水井	トレンチドレーンからの揚水・排水施設	○	×
③その他地下水の集水・貯留・送水施設	③-1	揚水井	地下水の揚水施設	○	×
	③-2	集水井	地下水の揚水施設	○	×
	③-3	貯留トレンチ	地下水等の貯留施設	○	×
	③-4	新貯留トレンチ	地下水等の貯留施設	○	×
④高度排水処理施設関連施設	④	高度排水処理施設	地下水等の浄化施設	○	×
⑤簡易地下水処理施設	⑤-1	加圧浮上装置	地下水等の簡易浄化施設	○	×
	⑤-2	凝集膜分離装置	地下水等の簡易浄化施設	○	×
	⑤-3	活性炭吸着塔	地下水等の簡易浄化施設	○	×
⑥その他の施設	⑥-1	積替え施設	処分地内土壌等の保管施設	×	×
	⑥-2	バルコン	専用棧橋への運搬施設	×	×
	⑥-3	専用棧橋	解体部材等の船舶による積出し施設	×	×
	⑥-4	処分地内道路	解体部材等の運搬施設	×	×
⑦処分地外周からの雨水の集水・排除施設	⑦	外周排水路	処分地外からの雨水を排除する施設	△	○
⑧地下水の観測施設※2	⑧	観測井	地下水等の観測施設	○	×
⑨遮水機能の解除関連	⑨	遮水壁		☆	×
⑩処分地の整地関連	⑩	処分地内整地		☆	☆

※ 1：地下水浄化対策・雨水排水処理対策に直接的に関係するものを「○」、今後の利用方法によっては関係する可能性があるものを「△」、関係しないものを「×」、別途、検討を行うものを「☆」とした。

※ 2：環境基準到達・達成の確認等、今後事業で必要となる施設は、令和 5 年度以降も一部存置させる。

### (1) 地下水浄化対策の関連施設

地下水浄化対策の関連施設は、排水基準の達成の確認後から撤去が可能となり、遅くとも整地までには撤去が完了する必要がある。また、到達・達成後に地下水モニタリングに使用する施設、使用する可能性のある観測井は整理の上、存置する。

具体的な、各施設の留意事項を表2に、撤去時期のイメージを図1示す。

表2 地下水浄化対策の関連施設の撤去の条件等

施設の役割	番号	施設名	撤去の条件等	撤去開始条件	撤去完了条件
②遮水壁近傍地下水の集水・貯留・送水施設	②-1	トレンチドレーン	遮水壁の撤去と関連性があることから、遮水機能解除の検討と合わせて行う。	排水基準達成後	整地前
	②-2	北揚水井			
③その他地下水の集水・貯留・送水施設	③-1	揚水井	—		
	③-2	集水井	工事期間が長いため、排水基準達成後に着手する必要がある。		
	③-3	貯留トレンチ	整地前までに撤去が必要。		
	③-4	新貯留トレンチ	出来る限り、存置する。		
④高度排水処理施設関連施設	④	高度排水処理施設	—		
⑤簡易地下水処理施設	⑤-1	加圧浮上装置	—		
	⑤-2	凝集膜分離装置			
	⑤-3	活性炭吸着塔			
⑧地下水の観測施設	⑧	観測井	環境基準達成まで観測を行う施設については、存置する。	整地前 (一部、存置)	

### (2) 雨水排水処理対策の関連施設

雨水については、整地までは現在の施設の一部を活用しながら管理することとし、排水基準達成後も一部の施設を存置する。

具体的には、これまでと同様に、処分地内の雨水は自然流下させ沈砂池1から排出する。また、処分地南斜面の雨水は外周水路にせき板を設置し、通常時は処分地内に流入させ自然浄化の促進に利用するとともに、豪雨時には外周水路を通じて排出する。

なお、存置した施設は整地までに撤去し、その後の雨水管理は整地方法と合わせて検討する。

具体的な、各施設の留意事項を表3に、撤去時期のイメージを図1示す。

表3 雨水排水処理対策の関連施設の撤去の条件等

施設の役割	番号	施設名	撤去の条件等	撤去開始条件	撤去完了条件
①処分地内の雨水の集水・貯留・排除施設	①-1	処分地進入路の排水路	雨水排水経路として不要な部分（例：沈砂池1に排水する場合は、沈砂池2への排水路）を撤去する。	－	整地前
	①-2	承水路	処分地内雨水の排水路としての機能は、排水路としての形状を確保することで可能であることから、コンクリートマット等を撤去する。撤去後の排水機能の確保は、整地と関連することから、整地の検討と合わせて行う。		
	①-3	承水路下トレンチドレーン	－		
	①-4	西井戸			
	①-5	沈砂池1	沈砂機能は、沈砂池の形状を確保することで可能であることから、コンクリートマット等を撤去する。撤去後の沈砂機能の確保は、整地と関連することから、整地の検討と合わせて行う。		
	①-6	沈砂池2			
⑦処分地外周からの雨水の集水-排除施設	⑦	外周排水路	撤去工事中は、台風等出水時への対応が課題となるため、2重となっている外周排水路のうち、上流側を撤去する。		

### 3. 今後の予定

2で示した留意事項を踏まえ、第8回豊島事業関連施設の撤去検討会（令和2年11月開催）で承認された手順作成方法に基づき、令和2年度中に撤去手順を作成する予定である。なお、検討した結果については、撤去検討会及びフォローアップ委員会で審議・承認を得ることとしている。

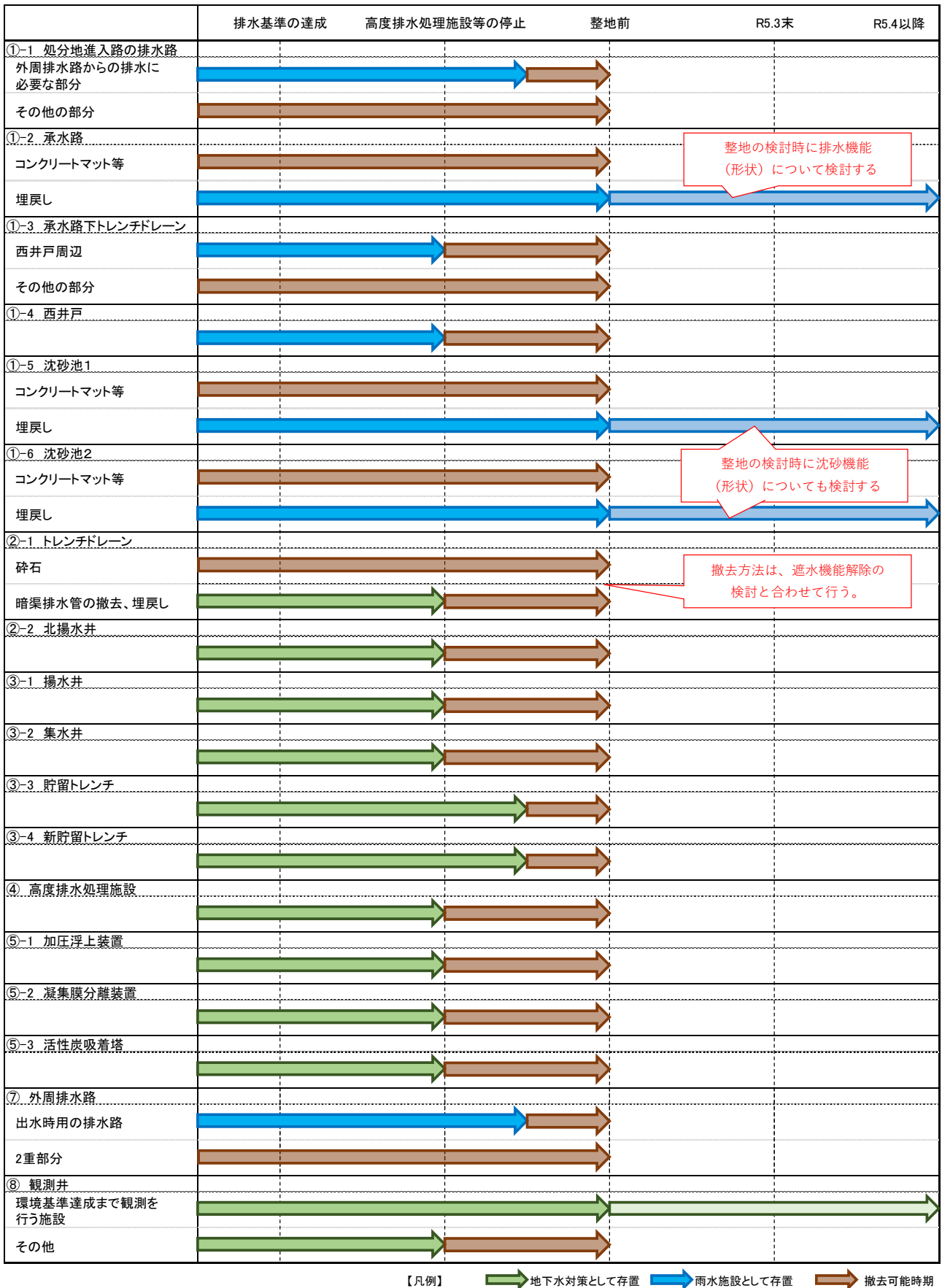
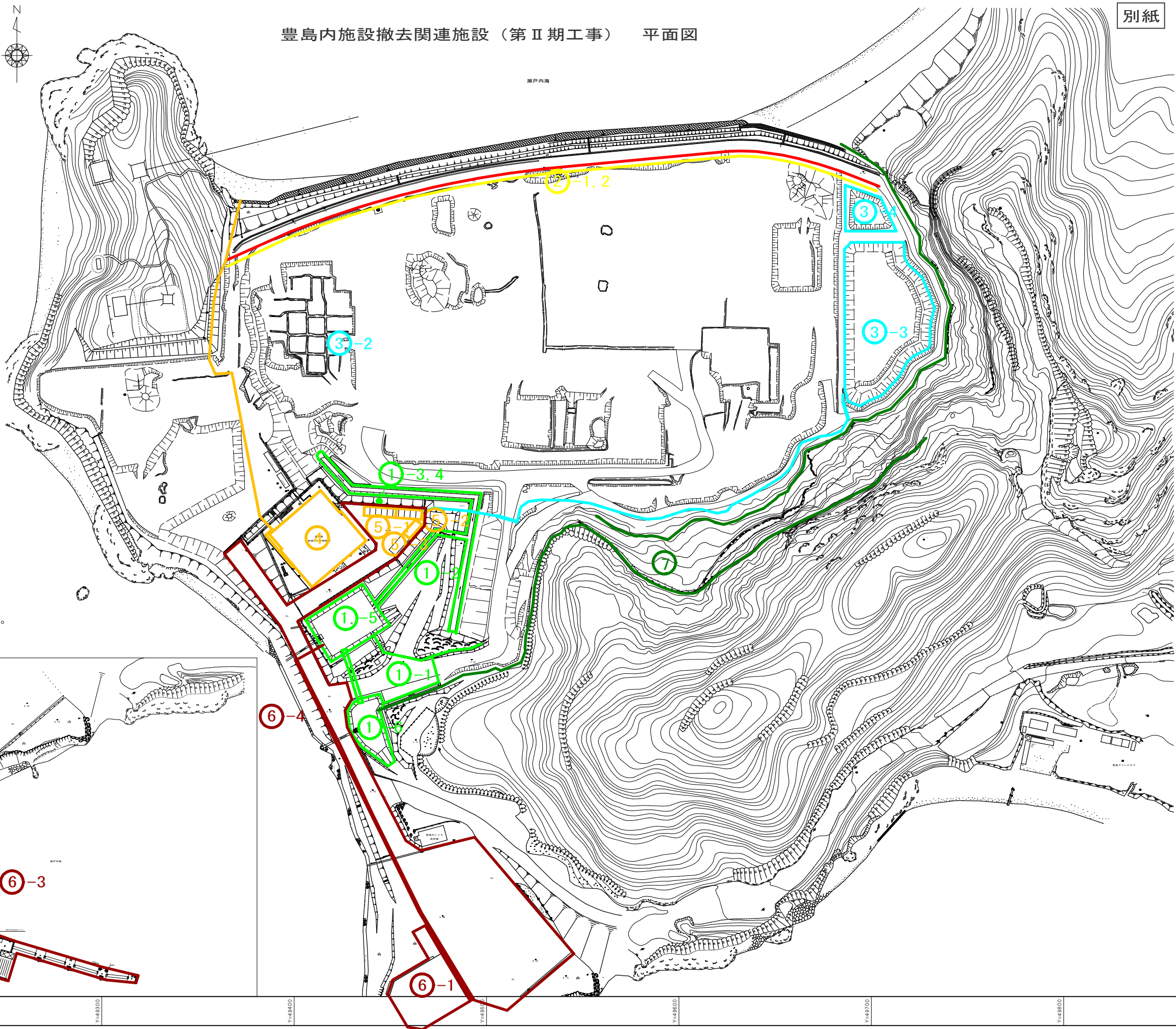


図1 撤去時期のイメージ

豊島内施設撤去関連施設（第Ⅱ期工事） 平面図

施設の役割	番号	施設名
①処分地内の雨水の集水・貯留・排除施設	①-1	処分地進入路の排水路
	①-2	承水路
	①-3	承水路下トレンチドレーン
	①-4	西井戸
	①-5	沈砂池1
	①-6	沈砂池2
②遮水壁近傍地下水の集水・貯留・送水	②-1	トレンチドレーン
	②-2	北揚水井
③その他地下水の集水・貯留・送水	③-1	揚水井
	③-2	集水井
	③-3	貯留トレンチ
	③-4	新貯留トレンチ
④高度排水処理施設関連	④	高度排水処理施設
⑤簡易地下水処理施設	⑤-1	加圧浮上装置
	⑤-2	凝集膜分離装置
	⑤-3	活性炭吸着塔
⑥その他の施設	⑥-1	積替え施設
	⑥-2	バルコン
	⑥-3	専用棧橋
	⑥-4	処分地内道路
⑦処分地外周からの雨水の集水・排除施設	⑦	外周排水路
⑧地下水の観測	⑧	観測井

※揚水井、観測井については、表示を割愛した。



## A3、B5及びF1の取扱いについて

### 1. 概要

A3、B5は岩盤のクラック部分の地下水汚染が原因と考えられること、F1については遮水壁の外側（海側）に位置していることなど、他の地下水汚染対策地点と汚染状況等が異なっている。また、「処分地全域での地下水における排水基準の到達及び達成の確認マニュアル」により、A3、B5、F1地点については、排水基準の到達・達成の確認を行わないこととしたことから、今後の方針について検討した。

### 2. これまでの主な経緯及び調査結果

各地点の地下水汚染の概要を表1のとおり取りまとめた。（詳細は別紙1～3のとおり。）

表1 A3、B5及びF1における地下水汚染の概要

地点	汚染物質*	浄化対策	現状
A3	トリクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン 砒素	揚水浄化 化学処理	継続して環境基準に適合。
B5	ベンゼン 1,4-ジオキサン	揚水浄化 化学処理	ベンゼンは排水基準に適合。 1,4-ジオキサンは排水基準を超過しているものの濃度の低下傾向が確認できる。
F1	1,4-ジオキサン	—	排水基準値近くで横ばいから減少で推移。

※ 調査当初、排水基準値を超過していた汚染物質

### 3. 今後の取扱い

A3は、今後も環境基準値以下で推移することが見込まれることから、環境計測の終了に伴ってモニタリングを終了する。

B5は、1,4-ジオキサンが排水基準を超過しているため、高度排水処理施設が稼働している間、揚水浄化を継続し、その後、自然浄化に移行する。自然浄化中も水質モニタリングを実施し、排水基準値以下となるまでモニタリングを継続する。

F1は、遮水壁の外側に位置し、現在も自然浄化による濃度の低下傾向が見られること、遮水機能の解除に伴い浄化の促進が見込まれること、直近（令和3年1月13日）データが排水基準に適合していることからモニタリングを終了する。

なお、モニタリングが終了した井戸については、豊島関連施設の撤去についての第Ⅱ期工事等で井戸を撤去する。

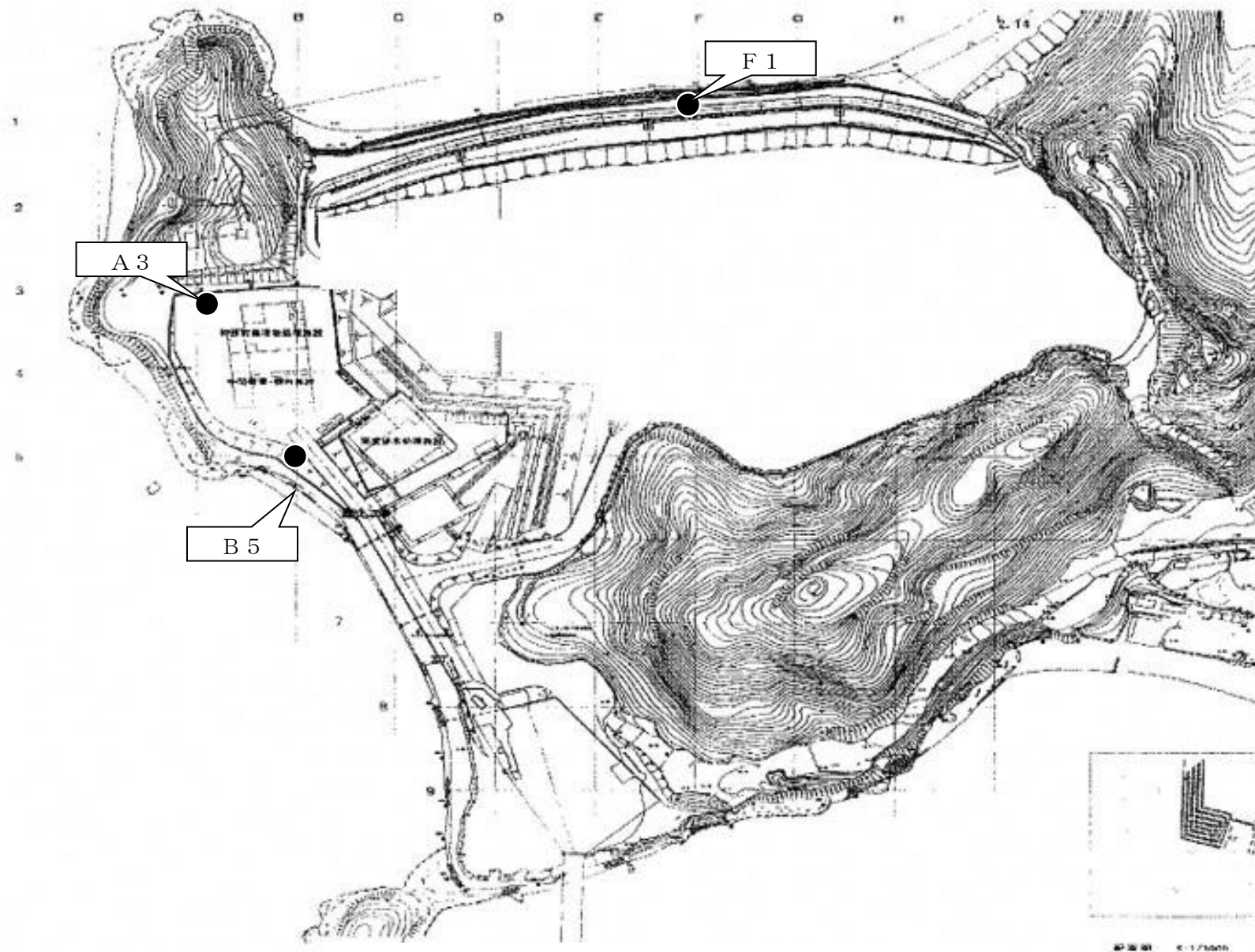
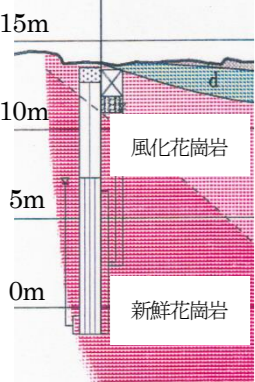
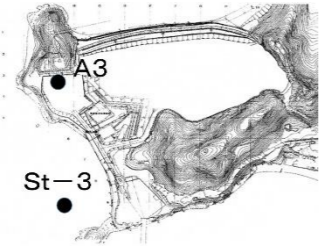


図 A 3、B 5 及び F 1 地点の位置図

【対策の実施状況等】 A 3

仕様	汚染物質の経年変化	浄化対策																																																																																				
<table border="1" data-bbox="133 304 765 409"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th rowspan="2">全長 (地上部分含む)</th> <th colspan="3">ストレーナ(m)</th> </tr> <tr> <th>上端TP</th> <th>下端TP</th> <th>区間長</th> </tr> <tr> <td>花崗岩層</td> <td>100</td> <td>10.8</td> <td>6.50</td> <td>-0.90</td> <td>7.4</td> </tr> </table> <p data-bbox="409 415 801 493">                     透水係数：<math>2.22 \times 10^{-5}</math> cm/s                      揚水可能量：0.57m<sup>3</sup>/日 (0.4ℓ/分)                 </p>  <p data-bbox="112 844 878 898">(出典：豊島産業廃棄物水質汚濁被害等調停申請事件に係る調査検討結果 (平成7年9月公害等調整委員会調停委員会))</p>	区分	管径 (mm)	全長 (地上部分含む)	ストレーナ(m)			上端TP	下端TP	区間長	花崗岩層	100	10.8	6.50	-0.90	7.4	<p data-bbox="890 283 1691 315">○ 環境計測当初調査で排水基準を超過していた汚染物質の経年変化</p> <div data-bbox="890 336 1513 693"> <p>トリクロロエチレン (mg/L)</p> </div> <div data-bbox="890 714 1513 1071"> <p>1,2-ジクロロエチレン (mg/L)</p> </div> <div data-bbox="890 1092 1513 1449"> <p>砒素 (mg/L)</p> </div> <p data-bbox="890 1533 1513 1575"> <span style="color:red">—</span> : 排水基準    <span style="color:yellow">—</span> : 環境基準    <span style="color:green">- - -</span> : 浄化対策開始                 </p> <table border="1" data-bbox="890 1585 1617 1753"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浄化対策</td> <td colspan="4">揚水浄化(H26/4~R1/8)</td> <td colspan="4">揚水浄化(R1/12~R2/3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4">化学処理(R1/8) 化学処理(R2/2)</td> </tr> <tr> <td>揚水量</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>144.2m<sup>3</sup></td> <td>128.0m<sup>3</sup></td> <td>58.8m<sup>3</sup></td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="890 1753 1350 1785">※揚水浄化を行っているが、揚水量を把握していない。</p>		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	浄化対策	揚水浄化(H26/4~R1/8)				揚水浄化(R1/12~R2/3)									化学処理(R1/8) 化学処理(R2/2)				揚水量	※	※	※	144.2m <sup>3</sup>	128.0m <sup>3</sup>	58.8m <sup>3</sup>	—		<p>(1) 揚水浄化 平成26年4月から実施している揚水浄化対策により有機塩素系化合物等が排水基準に適合一方、砒素は排水基準を超過。</p> <p>(2) 化学処理 令和元年8月：1回目 天然ゼオライトの希釈水 (800L) 令和2年2月：2回目 酸性域では溶解しているが中性域ではゲル化するように調製した薬剤 (合計28L)</p> <p>○ A3揚水井戸における水質モニタリング結果 (化学処理1回目)</p> <table border="1" data-bbox="1736 672 2433 787"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>薬剤注入前</th> <th>薬剤注入1週間後</th> <th>薬剤注入3週間後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採取深度 (管頭-m)</td> <td>—</td> <td>2.9</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>砒素 (mg/L)</td> <td>0.098</td> <td>0.001</td> <td>0.022</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ A3揚水井戸における水質モニタリング結果 (化学処理2回目)</p> <table border="1" data-bbox="1736 892 2819 1008"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>薬剤注入前</th> <th>薬剤注入1週間後</th> <th>薬剤注入3週間後</th> <th>薬剤注入4週間後</th> <th>薬剤注入5週間後</th> <th>薬剤注入6週間後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採取深度 (管頭-m)</td> <td>—</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>砒素 (mg/L)</td> <td>0.28</td> <td>0.066</td> <td>0.022</td> <td>0.002</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ : 排水基準値超過、■ : 排水基準値以下、■ : 環境基準値以下</p>	項目	薬剤注入前	薬剤注入1週間後	薬剤注入3週間後	採取深度 (管頭-m)	—	2.9	3.0	砒素 (mg/L)	0.098	0.001	0.022	項目	薬剤注入前	薬剤注入1週間後	薬剤注入3週間後	薬剤注入4週間後	薬剤注入5週間後	薬剤注入6週間後	採取深度 (管頭-m)	—	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	砒素 (mg/L)	0.28	0.066	0.022	0.002	0.004	0.001
区分				管径 (mm)	全長 (地上部分含む)	ストレーナ(m)																																																																																
	上端TP	下端TP	区間長																																																																																			
花崗岩層	100	10.8	6.50	-0.90	7.4																																																																																	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																														
浄化対策	揚水浄化(H26/4~R1/8)				揚水浄化(R1/12~R2/3)																																																																																	
					化学処理(R1/8) 化学処理(R2/2)																																																																																	
揚水量	※	※	※	144.2m <sup>3</sup>	128.0m <sup>3</sup>	58.8m <sup>3</sup>	—																																																																															
項目	薬剤注入前	薬剤注入1週間後	薬剤注入3週間後																																																																																			
採取深度 (管頭-m)	—	2.9	3.0																																																																																			
砒素 (mg/L)	0.098	0.001	0.022																																																																																			
項目	薬剤注入前	薬剤注入1週間後	薬剤注入3週間後	薬剤注入4週間後	薬剤注入5週間後	薬剤注入6週間後																																																																																
採取深度 (管頭-m)	—	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5																																																																																
砒素 (mg/L)	0.28	0.066	0.022	0.002	0.004	0.001																																																																																
<p>経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害等調整委員会が平成7年に観測井を設置。</li> <li>・平成14年度より環境計測を実施。</li> <li>・【第7回排水・地下水検討会(H24.8.26開催)】 地下水は南方向へ流れており透水性が小さい。汚染物質が岩盤のクラック部分に存在している。</li> <li>・平成25年度に同じ場所に揚水井を設置。</li> <li>・【第19回排水・地下水検討会(H27.2.1開催)】 岩盤のクラック部分に存在する汚染された地下水は浄化対象としない。特例的に浄化対策を継続。</li> <li>・【第1回地下水・雨水検討会(H29.9.3開催)】 施設の解体撤去後、岩盤まで掘削するため、掘削後の状況を総合的に勘案して対策を検討。</li> <li>・H30年3月中間保管・梱包施設の解体撤去完了。</li> </ul>	<p>現状</p> <p>砒素が、一時期排水基準値を超過したものの、現在は環境基準値以下で推移している。</p> <p>調査地点近傍の海域の周辺モニタリング地点st-3の調査結果から汚染物質の砒素は一度も確認されていないことから、周辺海域への影響は軽微である。</p> 	<p>対策の評価</p> <p>環境計測当初 (H15.2.6) は、砒素、トリクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレンが排水基準値を超過していた。</p> <p>平成26年4月から実施している揚水浄化対策によりトリクロロエチレン及び1,2-ジクロロエチレン濃度は、減少傾向を示し、2回目の化学処理以降、8か月継続して環境基準値に適合している。</p> <p>一方、砒素は揚水浄化対策により上下変動はあるものの減少傾向を示し、2回目の化学処理以降、8か月継続して環境基準値に適合している。</p> <div data-bbox="1840 1470 2478 1806"> <p>砒素 (mg/L)</p> </div> <p>※ ● : 定量下限値以下であったため、0.005とした。</p>																																																																																				



【対策の実施状況等】 B5

仕様		汚染物質の経年変化				浄化対策																									
区分	管径 (mm)	全長 (地上部分含む)	ストレーナ(m)																												
			上端TP	下端TP	区間長																										
花崗岩層	100	12.2	1.26	-2.74	4.0																										
透水係数： $5.02 \times 10^{-8}$ cm/s 揚水可能量：0.05m <sup>3</sup> /日 (0.04ℓ/分) 柱状図なし。		○ 環境計測当初調査で排水基準を超過していた汚染物質の経年変化 				(1) 揚水浄化 平成26年4月から実施している揚水浄化対策によりベンゼンが環境基準に適合。 一方、1,4-ジオキサンは排水基準を超過。 (2) 化学処理 令和元年8月：1回目 過酸化水素 (7%過酸化水素水 400L) 令和元年8月：2回目 過硫酸ナトリウム (20%過硫酸溶液 800L) 令和2年3月：3回目 過硫酸ナトリウムを一定期間低流量で継続注入																									
経緯 ・県が平成10年に観測井を設置。 ・平成12年度より環境計測を実施。 ・【第7回排水・地下水検討会(H24.8.26開催)】 地下水は南方向へ流れており透水性が小さい。汚染物質が岩盤のクラック部分に存在している。 ・平成25年度に同じ場所に揚水井を設置。 ・【第19回排水・地下水検討会(H27.2.1開催)】 岩盤のクラック部分に存在する汚染された地下水は浄化対象としない。特例的に浄化対策を継続。 ・【第1回地下水・雨水検討会(H29.9.3開催)】 施設の解体撤去後、岩盤まで掘削するため、掘削後の状況を総合的に勘案して対策を検討。 ・H30年3月中間保管・梱包施設の解体撤去完了。						○ B5揚水井戸における水質モニタリング結果 (化学処理1、2回目) <table border="1"> <thead> <tr> <th>採水日</th> <th>薬剤注入前</th> <th>1回目の薬剤注入1週間後</th> <th>1回目の薬剤注入3週間後</th> <th>2回目の薬剤注入1週間後</th> <th>2回目の薬剤注入3週間後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,4-ジオキサン (mg/L)</td> <td>0.57</td> <td>0.51</td> <td>0.66</td> <td>0.14</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td>砒素 (mg/L)</td> <td>0.003</td> <td>0.003</td> <td>0.004</td> <td>0.020</td> <td>0.006</td> </tr> <tr> <td>鉛 (mg/L)</td> <td>&lt;0.001</td> <td>&lt;0.001</td> <td>&lt;0.001</td> <td>0.12</td> <td>0.016</td> </tr> </tbody> </table>		採水日	薬剤注入前	1回目の薬剤注入1週間後	1回目の薬剤注入3週間後	2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後	1,4-ジオキサン (mg/L)	0.57	0.51	0.66	0.14	0.64	砒素 (mg/L)	0.003	0.003	0.004	0.020	0.006	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.12	0.016
採水日	薬剤注入前	1回目の薬剤注入1週間後	1回目の薬剤注入3週間後	2回目の薬剤注入1週間後	2回目の薬剤注入3週間後																										
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.57	0.51	0.66	0.14	0.64																										
砒素 (mg/L)	0.003	0.003	0.004	0.020	0.006																										
鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.12	0.016																										
		○ B5揚水井戸における水質モニタリング結果 (化学処理3回目) <table border="1"> <thead> <tr> <th>採水日</th> <th>薬剤注入前</th> <th>薬剤注入期間中</th> <th>1回目の薬剤注入1週間後</th> <th>1回目の薬剤注入3週間後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,4-ジオキサン (mg/L)</td> <td>1.1</td> <td>0.010~0.11</td> <td>0.62</td> <td>0.81</td> </tr> <tr> <td>砒素 (mg/L)</td> <td>0.011</td> <td>&lt;0.001~0.001</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td>鉛 (mg/L)</td> <td>0.001</td> <td>0.001~0.021</td> <td>&lt;0.001</td> <td>&lt;0.001</td> </tr> </tbody> </table>				採水日	薬剤注入前	薬剤注入期間中	1回目の薬剤注入1週間後	1回目の薬剤注入3週間後	1,4-ジオキサン (mg/L)	1.1	0.010~0.11	0.62	0.81	砒素 (mg/L)	0.011	<0.001~0.001	0.001	0.003	鉛 (mg/L)	0.001	0.001~0.021	<0.001	<0.001	■：排水基準値超過、■：排水基準値以下、■：環境基準値以下					
採水日	薬剤注入前	薬剤注入期間中	1回目の薬剤注入1週間後	1回目の薬剤注入3週間後																											
1,4-ジオキサン (mg/L)	1.1	0.010~0.11	0.62	0.81																											
砒素 (mg/L)	0.011	<0.001~0.001	0.001	0.003																											
鉛 (mg/L)	0.001	0.001~0.021	<0.001	<0.001																											
現状 1,4-ジオキサンが、排水基準値を超過している。 調査地点近傍の海域の周辺モニタリング地点 St-3 の調査結果から汚染物質の1,4-ジオキサンは一度も確認されていないことから、周辺海域への影響は軽微である。		対策の評価 環境計測当初調査 (H15.2.6) では、ベンゼンが排水基準値を超過していたが、自然浄化等により、排水基準値以下で推移している。 一方、1,4-ジオキサンは、調査当初から排水基準値を超過していたが、浄化対策により徐々に減少傾向にある。経過観察していたが、令和2年11月20日から揚水浄化を再開し、今後も水質モニタリングを継続する。				(参考) 1,4-ジオキサンの調査を開始した平成23年2月9日を起点として、経過日数と1,4-ジオキサン濃度をプロットすると、浄化対策を行っていない期間 (桃色)、浄化対策を行っている期間を含めた期間 (緑色) とともに濃度が低下傾向にある。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>揚水量</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>25.6m<sup>3</sup></td> <td>24.9m<sup>3</sup></td> <td>5.2m<sup>3</sup></td> <td>2.4m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※揚水浄化を行っているが、揚水量を把握していない。 ※令和2年度の揚水量は、令和3年1月末現在の揚水量					H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	揚水量	※	※	※	25.6m <sup>3</sup>	24.9m <sup>3</sup>	5.2m <sup>3</sup>	2.4m <sup>3</sup>									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																							
揚水量	※	※	※	25.6m <sup>3</sup>	24.9m <sup>3</sup>	5.2m <sup>3</sup>	2.4m <sup>3</sup>																								

【対策の実施状況等】 F 1

仕様				汚染物質の濃度変化			浄化対策																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">管径 (mm)</th> <th rowspan="2">管頂 (m)</th> <th rowspan="2">管底 (m)</th> <th colspan="3">ストレーナ(m)</th> </tr> <tr> <th>上端TP</th> <th>下端TP</th> <th>区間長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土層～埋立土層 ～花崗岩層</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">-30</td> <td>-12.9</td> <td>-15.8</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>-27.9</td> <td>-29.8</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ストレーナ区間は図面から読みとった値である。</p>				区分	管径 (mm)	管頂 (m)	管底 (m)	ストレーナ(m)			上端TP	下端TP	区間長	盛土層～埋立土層 ～花崗岩層	50	6	-30	-12.9	-15.8	2.9	-27.9	-29.8	1.9	<p>○ 環境計測当初調査で排水基準を超過していた汚染物質の経年変化</p>			<p>遮水壁の外側にあることから、自然浄化。</p>
区分	管径 (mm)	管頂 (m)	管底 (m)					ストレーナ(m)																			
				上端TP	下端TP	区間長																					
盛土層～埋立土層 ～花崗岩層	50	6	-30	-12.9	-15.8	2.9																					
				-27.9	-29.8	1.9																					
<p>経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害等調整委員会が平成7年に観測井を設置。</li> <li>・平成25年度より環境計測を実施。</li> <li>・【第4回FU委員会(H30.9.23開催)】 北海岸で排水基準値を超過しているF1について対応の検討を指示される。</li> </ul>				<p>対策の評価</p>			<p>1,4-ジオキサン</p> <p>平成25年7月22日を起点として、経過日数と1,4-ジオキサン濃度をプロットすると、基準値近くで横ばい～減少で推移している。直近(令和3年1月13日)データは、排水基準に適合している。</p>																				
<p>現状</p> <p>1,4-ジオキサンは、排水基準値付近で推移し、ほぼ横ばいである。調査地点近傍の海域の周辺モニタリング地点st-4の調査結果から汚染物質の1,4-ジオキサンは一度も確認されていないことから、周辺海域への影響は軽微である。</p>																											

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A3																				地下水の環境基準	検出下限		
調査年月日		H15. 2. 6	H16. 2. 5	H17. 2. 7	H18. 2. 28	H19. 2. 1	H20. 2. 13	H21. 2. 17	H22. 2. 16	H23. 2. 9	H23. 6. 14	H23. 8. 3	H23. 11. 22	H24. 2. 1	H24. 5. 16	H24. 8. 1	H24. 11. 19	H25. 2. 5	H25. 5. 22	H25. 7. 29	H25. 11. 13	H26. 3. 17			
一般項目	pH	7.0	7.1	6.9	7.1	7.0	6.8	7.0	7.2	6.9	6.8	6.7	6.7	6.9	6.6	6.8	6.9	6.9	6.8	6.8	6.6	9.8	-	-	
	BOD	7.5	12	0.8	4.3	0.7	0.9	ND	1.4	1.0	ND	1.0	1.0	0.8	ND	ND	0.8	1.3	1.3	ND	ND	1.0	-	0.5	
	COD	32	70	17	18	10	21	3.1	3.7	5.7	5.6	3.7	5.1	3.8	7.0	5.0	4.1	3.4	7.9	3.5	4.2	8.4	-	0.5	
	大腸菌群数	13	33	33	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	7.8	ND	ND	11	13	ND	350	2	7.8	ND	-	-	
	油分	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	1.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	鉛	ND	<u>0.1</u>	<u>0.015</u>	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.008	ND	ND	0.008	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05	
	砒素	<u>0.56</u>	<u>0.73</u>	<u>0.40</u>	<u>1.1</u>	<u>0.42</u>	<u>0.59</u>	<u>0.31</u>	<u>1.6</u>	<u>1.2</u>	<u>0.26</u>	<u>0.55</u>	<u>0.50</u>	<u>0.70</u>	<u>1.0</u>	<u>0.54</u>	<u>0.27</u>	<u>0.13</u>	<u>0.090</u>	<u>0.21</u>	<u>0.56</u>	<u>0.49</u>	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.002	0.0002	
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<u>0.0034</u>	<u>0.0063</u>	<u>0.0044</u>	<u>0.0090</u>	<u>0.0040</u>	<u>0.017</u>	<u>0.0023</u>	<u>0.0034</u>	<u>0.0035</u>	<u>0.0032</u>	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	<u>0.21</u>	<u>0.018</u>	<u>0.029</u>	<u>0.018</u>	<u>0.0091</u>	<u>0.0082</u>	<u>0.0053</u>	0.0019	0.0007	<u>0.0066</u>	<u>0.010</u>	<u>0.0060</u>	0.0032	<u>0.0057</u>	<u>0.0079</u>	<u>0.0045</u>	0.0036	0.0033	0.0037	<u>0.0050</u>	0.0020	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	<u>0.054</u>	0.009	0.011	0.004	0.003	ND	ND	ND	0.005	0.007	0.011	0.004	0.002	0.003	0.002	0.004	ND	ND	0.002	0.002	ND	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	<u>1.7</u>	<u>0.32</u>	<u>0.33</u>	<u>0.11</u>	<u>0.071</u>	<u>0.047</u>	0.033	0.022	<u>0.047</u>	<u>0.046</u>	0.032	0.030	0.037	0.021	0.024	0.022	0.019	0.010	0.022	0.015	0.004	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	0.21	0.023	0.025	0.011	0.007	0.0036	0.0018	0.0011	0.0072	0.011	0.023	0.0096	0.0029	0.0039	0.0083	0.0025	0.0019	0.0011	0.0055	0.0049	ND	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	<u>0.15</u>	0.010	<u>0.017</u>	<u>0.022</u>	<u>0.019</u>	<u>0.011</u>	0.006	0.007	<u>0.042</u>	<u>0.043</u>	<u>0.066</u>	<u>0.027</u>	<u>0.016</u>	<u>0.021</u>	<u>0.033</u>	0.0026	0.010	0.007	<u>0.020</u>	<u>0.015</u>	0.002	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001	
	テトラクロロエチレン	<u>0.022</u>	<u>0.011</u>	<u>0.034</u>	0.0027	0.0012	0.0014	ND	0.0006	0.0007	0.0057	<u>0.081</u>	<u>0.014</u>	0.0007	0.0014	0.0013	0.0014	0.0007	ND	0.0006	0.0007	ND	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	ベンゼン	<u>0.053</u>	<u>0.012</u>	<u>0.012</u>	0.005	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	<u>ND</u>	ND	ND	<u>0.059</u>	ND	ND	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10	
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>1.0</u>	0.8	0.8
ホル素	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	ND	0.1	0.3	1	0.1	
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005		
その他の項目	全窒素	4	3	1.6	3	1	1	1	5	3	1	1	1	2	4	1	1	1	1	1	1	ND	-	1	
	全燐	0.5	ND	0.2	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	ND	0.2	ND	ND	0.1	0.2	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	68	39	28	23	37	29	24	28	21	25	31	30	32	20	33	31	33	41	38	40	48	-	1	
	電気伝導率	51.3	40	32	29.5	14.6	16.1	16.2	15	16	32.7	30	28	30.8	30.8	32	30	30	32	30	31	32	-	0.1	
	ニッケル	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.016	ND	ND	0.008	0.026	0.022	ND	ND	0.028	0.030	0.038	0.022	ND	0.008	0.044	0.016	0.013	0.019	0.12	-	0.007	
	アンチモン	ND	0.002	0.005	0.002	0.002	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.001	ND	ND	0.001	ND	0.004	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.046	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A 3																							地下水の 環境基準	検出 下限	
調査年月日		H26. 7. 29	H26. 11. 25	H27. 2. 16	H27. 5. 19	H27. 9. 17	H27. 11. 24	H28. 2. 9	H28. 5. 24	H28. 7. 26	H28. 11. 8	H29. 1. 30	H29. 5. 23	H29. 7. 26	H29. 11. 29	H30. 2. 14	H30. 6. 26	H30. 9. 3	H30. 10. 30	H31. 2. 27	R1. 5. 21	R1. 8. 27	R1. 11. 19				
一般項目	pH	7.0	7.0	7.0	6.8	7.5	7.0	6.8	6.7	7.8	7.1	7.5	7.1	6.8	7.2	7.2	6.7	6.8	6.7	7.1	6.7	6.7	6.9	-	-		
	BOD	ND	1.3	22	0.8	0.6	ND	1.4	0.6	1.8	1.8	0.5	1.4	2.7	2.9	3.0	2.3	1.2	3.6	2.3	1.7	1.7	1.4	-	0.5		
	COD	5.2	6.3	49	11	6.5	5.6	5.7	5.0	6.7	5.1	9.0	7.5	4.3	4.6	5.2	5.0	4.6	5.1	3.5	4.2	4.7	5.8	-	0.5		
	大腸菌群数	280	11	ND	ND	23	ND	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	2	ND	6.8	33	ND	ND	1100	23	-	-	
	油分	ND	0.8	ND	ND	ND	0.8	ND	ND	ND	0.6	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5	
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05	
	砒素	0.16	0.22	0.68	29	0.64	0.38	0.45	1.1	7.6	0.20	0.47	3.9	0.38	1.2	2.2	0.12	0.28	0.58	0.093	0.46	0.90	2.1	0.01	0.005		
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	0.0018	0.012	0.018	0.0059	0.017	0.0061	0.0076	0.0052	0.0054	0.0056	0.0014	0.012	0.0052	0.0045	0.0030	0.0032	0.0032	0.0031	0.0052	0.0032	0.0025	ND	0.002	0.0002		
	1,2-ジクロロエタン	0.0010	0.016	0.0072	0.016	0.0062	0.0083	0.0097	0.0094	0.015	0.0070	0.0035	0.0083	0.012	0.0090	0.0064	0.0071	0.0069	0.0065	0.0058	0.0059	0.0053	ND	0.004	0.0004		
	1,1-ジクロロエチレン	0.005	ND	0.008	0.010	0.002	0.002	0.006	0.008	0.013	0.004	0.002	0.002	0.010	0.005	0.002	ND	0.004	0.003	0.003	ND	ND	ND	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002		
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	0.054	0.12	0.056	0.082	0.046	0.034	0.027	0.029	0.037	0.020	0.011	0.021	0.033	0.021	0.014	0.0	0.020	0.017	0.014	0.016	0.011	0.0	0.04	0.004		
	1,1,1-トリクロロエタン	0.016	0.041	0.011	0.029	0.010	0.010	0.017	0.030	0.049	0.014	0.0087	0.011	0.026	0.017	0.0095	ND	0.015	0.013	0.012	0.010	0.0071	ND	1	0.0005		
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	0.033	0.098	0.058	0.091	0.062	0.049	0.078	0.10	0.15	0.065	0.039	0.059	0.063	0.066	0.044	0.056	0.070	0.061	ND	0.040	0.031	ND	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001		
	テトラクロロエチレン	0.0020	0.0053	0.0059	0.0092	0.0015	0.0028	0.0026	0.0034	0.0044	0.0017	0.0007	0.0013	0.0038	0.0023	0.0013	0.0020	0.0023	0.0018	0.0011	0.0020	0.0010	ND	0.01	0.0005		
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	ベンゼン	ND	ND	0.002	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10	
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8	
	ホウ素	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	1	0.1	
	1,4-ジオキサン	ND	0.005	ND	0.008	0.017	0.005	ND	0.005	0.005	ND	ND	ND	0.009	0.005	ND	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	ND	0.05	0.005		
	その他の項目	全窒素	1	ND	2	2	2	1	1	1	2	2	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	ND	ND	-	1
		全燐	ND	ND	0.4	0.4	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	0.4	0.1	0.1	0.1	ND	ND	ND	1.7	0.4	0.4	0.9	-	0.1	
		塩化物イオン	53	54	50	46	61	49	48	47	50	33	37	70	33	32	32	34	54	52	37	62	30	19	-	1	
電気伝導率		41	50	44	31	53	41	39	38	38	34	40	48	37	44	46	37	26	47	28	22	27	170	-	0.1		
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
モリブデン		0.023	0.007	0.049	ND	0.009	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	0.032	0.014	0.022	0.015	ND	0.012	0.012	0.012	0.016	0.010	0.011	-	0.007		
アンチモン	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001		
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。）

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。（平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。）

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A3										地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		R2.2.5	R2.5.13	R2.6.10	R2.7.7	R2.8.5	R2.9.24	R2.10.6	R2.11.10	R2.12.8	R3.1.13		
一般項目	pH	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	BOD	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	COD	3.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	大腸菌群数	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	油分	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003
	全シアン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	鉛	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005
	六価クロム	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.05
	砒素	0.60	0.039	ND	0.008	ND	ND	ND	0.009	ND	0.006	0.01	0.005
	総水銀	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	0.0026	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0046	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.0088	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.027	0.001	0.002	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0023	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	チウラム	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.008	0.003	0.002	0.01	0.001
	セレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10
	フッ素	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8
ホウ素	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1	
1,4-ジオキサン	ND	0.0	0.047	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	全燐	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	塩化物イオン	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	電気伝導率	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	ニッケル	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05
	モリブデン	0.013	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.007
	アンチモン	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001
	フタル酸ジエチルヘキシル	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5																						地下水の環境基準	検出下限	
調査年月日		H12.12.4	H13.3.6	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.4	H26.5.13			
一般項目	pH	6.3	6.4	6.6	7.1	6.8	6.9	6.7	7.0	6.5	6.8	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	6.8	6.6	-	-	
	BOD	120	55	50	44	43	41	36	29	21	33	43	24	27	15	34	13	4.2	12	10	8	16	13	-	0.5	
	COD	530	300	370	300	310	220	240	420	300	223	240	210	260	160	204	186	179	194	228	215	120	200	-	0.5	
	大腸菌群数	3.5×10 <sup>2</sup>	2.4×10 <sup>2</sup>	ND	ND	17	ND	2.0	ND	2.0	ND	23	ND	ND	ND	ND	49	ND	2.0	790	2.0	350	1700	-	-	
	油分	2.9	4.1	8.9	5.6	4.5	5.5	5.2	4.3	6.1	8.2	5.8	5.4	4.6	4.6	5.2	4.2	3.4	7.0	10	8.6	11	7.6	-	0.5	
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	0.0003	ND	ND	ND	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003	
	全シアン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	有機燐	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	
	鉛	<u>0.018</u>	<u>0.048</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	<u>0.047</u>	<u>0.022</u>	ND	0.008	<u>0.013</u>	<u>0.012</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	<u>0.017</u>	ND	<u>0.011</u>	0.007	ND	ND	0.006	ND	0.006	0.01	0.005	
	総水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	PCB	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	ジクロロメタン	<u>0.085</u>	<u>0.039</u>	0.018	0.006	0.003	0.002	0.003	ND	0.004	0.004	ND	0.004	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	ND	ND	0.007	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0014	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.0005	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.22</u>	<u>0.19</u>	<u>0.042</u>	<u>0.014</u>	0.003	0.002	0.006	0.002	<u>0.025</u>	<u>0.020</u>	<u>0.025</u>	<u>0.020</u>	<u>0.022</u>	<u>0.016</u>	<u>0.015</u>	<u>0.013</u>	0.009	0.010	<u>0.013</u>	0.004	<u>0.010</u>	<u>0.030</u>	0.01	0.001	
	セレン	ND	-	<u>0.011</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.26	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
フッ素	ND	ND	<u>4.2</u>	<u>5.0</u>	<u>3.6</u>	<u>3.0</u>	<u>2.0</u>	<u>1.3</u>	ND	<u>2.6</u>	<u>1.5</u>	<u>1.5</u>	<u>1.4</u>	<u>1.3</u>	<u>1.2</u>	<u>1.3</u>	<u>1.2</u>	<u>1.4</u>	<u>1.1</u>	<u>0.9</u>	<u>1.4</u>	<u>1.8</u>	0.8	0.8		
ホル素	<u>2.1</u>	<u>2.6</u>	<u>3.0</u>	<u>3.1</u>	<u>3.1</u>	<u>2.6</u>	<u>3.0</u>	<u>2.5</u>	<u>2.5</u>	<u>2.6</u>	<u>2.6</u>	<u>4.9</u>	<u>2.8</u>	<u>2.6</u>	<u>2.7</u>	<u>2.6</u>	<u>2.5</u>	<u>2.2</u>	<u>2.6</u>	<u>2.7</u>	<u>2.5</u>	<u>2.0</u>	1	0.1		
1,4-ジオキサン										<u>5.3</u>	<u>5.1</u>	<u>5.6</u>	<u>5.1</u>	<u>5.2</u>	<u>3.5</u>	<u>4.5</u>	<u>4.1</u>	<u>3.5</u>	<u>3.5</u>	<u>4.1</u>	<u>3.1</u>	<u>3.3</u>	<u>3.6</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	14	14	12	10	37	30	31	45	8	9	38	34	28	34	24	17	17	15	18	4	ND	12	-	1	
	全燐	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	2,300	1,840	2,000	1,520	1,550	1,330	1,470	1,400	1,400	1,400	1,480	1,390	1,330	1,180	1,120	1,080	944	943	1,020	690	704	901	-	1	
	電気伝導率	635	462	694	542	478	314	274	280	560	502	517	523	502	432	467	399	413	400	354	339	320	403	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	0.009	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.020	ND	ND	ND	ND	0.010	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点	B5																						地下水の環境基準	検出下限		
	調査年月日	H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19	H27.7.27	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29	H30.2.13	H30.6.26	H30.9.3	H30.10.30	H31.2.27	R1.5.21	R1.8.27	R1.11.19			R2.2.5	
一般項目	pH	6.7	6.6	6.9	6.4	6.6	6.8	6.8	6.9	6.8	7.0	6.6	6.6	6.8	6.7	6.8	6.8	6.8	6.7	6.8	6.6	6.0	6.9	-	-	
	BOD	3.2	6.2	17	12	23	24	20	14	8.9	22	16	17	6	5.8	6.4	7.1	11	21	7.8	15	2.7	21	-	0.5	
	COD	100	130	100	110	58	65	67	69	74	92	77	60	57	61	72	64	75	66	62	62	5.6	66	-	0.5	
	大腸菌群数	33	49	59	170	ND	ND	ND	4.0	11	ND	ND	4.5	ND	ND	790	22	23	ND	ND	1700	ND	4.5	-	-	
	油分	6.2	8.9	4.7	5.9	3.1	4.0	5.7	4.4	4.9	5.8	3.8	4.6	2.9	1.8	3.4	3.5	5.4	3.0	4.9	3.2	3.4	3.7	-	0.5	
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0009	ND	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	
	鉛	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	0.007	0.006	0.006	ND	0.008	0.011	0.009	0.013	0.011	0.007	0.011	0.008	0.009	0.014	0.042	0.008	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND	ND	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.014	0.018	0.007	0.014	0.006	0.007	0.008	0.008	0.008	0.005	0.006	0.008	0.006	0.003	0.004	0.004	0.002	ND	0.003	0.006	0.004	0.003	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	0.8	0.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	2.3	2.0	2.0	1.9	1.2	1.5	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1	0.1		
1,4-ジオキサン	2.3	2.3	1.6	2.4	0.85	1.0	1.2	1.5	1.4	1.1	1.3	2.3	1.4	0.84	1.1	0.96	1.3	0.80	0.41	0.86	0.88	0.94	0.05	0.005		
その他の項目	全窒素	3	8	3	3	5	4	3	4	4	3	4	3	3	3	2	3	3	3	4	5	3	-	1		
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	603	967	585	773	330	390	447	430	425	457	460	340	350	340	340	300	370	350	370	270	330	290	-	1	
	電気伝導率	272	336	249	264	195	197	194	183	210	203	190	170	201	180	140	140	180	170	170	82	330	83	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5									地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		R2. 5. 13	R2. 6. 10	R2. 7. 7	R2. 8. 5	R2. 9. 24	R2. 10. 6	R2. 11. 10	R2. 12. 8	R3. 1. 13		
一般 項目	pH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	BOD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	COD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	油分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
健 康 項 目	カドミウム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003 <sup>(注6)</sup>	0.0003
	全シアン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.1
	有機燐	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	鉛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005
	六価クロム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.05
	砒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005
	総水銀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	四塩化炭素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	クロロエチレン <sup>(注8)</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1 <sup>(注4)</sup>	0.002
	1,2-ジクロロエチレン <sup>(注5)</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 <sup>(注7)</sup>	0.001
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	チウラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.001
	シマジン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	ベンゼン	0.004	ND	0.002	0.003	0.003	0.002	0.018	0.002	0.002	0.01	0.001
	セレン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10
	フッ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8
ホウ素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.77</u>	<u>0.12</u>	<u>0.55</u>	<u>0.82</u>	<u>0.60</u>	<u>1.0</u>	<u>1.1</u>	<u>0.84</u>	<u>0.71</u>	0.05	0.005	
そ の 他 の 項 目	全窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	全磷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	塩化物イオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	電気伝導率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	ニッケル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05
	モリブデン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.007
	アンチモン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001
	フタル酸ジエチルヘキシル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)



表3 地下水調査結果（F1東地点の推移）

調査地点		F1東																				地下水の環境基準	検出下限							
調査年月日	H25.7.22	H26.2.17	H26.7.22	H27.2.17	H27.7.27	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.31	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29	H31.3.13	R1.8.27	R2.2.5	R2.5.13	R2.6.10	R2.7.7	R2.8.5	R2.9.24	R2.10.6	R2.11.10	R2.12.8	R3.1.13							
一般項目	pH	6.2	6.3	6.3	6.4	6.2	6.4	6.3	6.5	6.4	6.7	6.3	6.2	6.4	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	BOD	9.3	10	3.7	14	7.1	16	13	10	5.4	3.3	6.7	3.9	13	7.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5				
	COD	136	96	72	73	77	65	71	67	71	65	89	72	52	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5			
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	2	ND	49	ND	4.5	ND	14	ND	3500	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	油分	4.4	2.3	1.6	2.2	2.3	4.3	4.1	2.0	2.6	0.6	4.4	5.1	3.5	5.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5			
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0003			
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.1		
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1		
	鉛	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005		
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.05		
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005		
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005	0.0005		
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002	
	クロロエチレン <sup>(注5)</sup>	0.0017	0.0045	0.0039	0.0041	0.0026	0.0027	0.0027	0.0036	0.0028	0.0028	0.0028	0.0020	0.0034	0.0015	0.015	0.0016	0.0015	0.0015	0.0015	0.0015	0.0015	0.0015	0.0015	0.0015	0.0014	0.0015	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.0009	0.0009	0.0015	0.0009	0.0009	0.0008	0.0010	0.0008	0.0011	ND	ND	ND	0.0004	0.0011	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.002	ND	0.002	0.006	0.002	ND	0.002	ND	0.002	0.003	ND	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.016	0.011	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0022	ND	ND	ND	ND	ND	0.0020	ND	ND	0.0018	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.064	0.022	0.002	0.008	0.007	0.002	0.019	0.011	0.001	0.002	ND	0.003	0.004	0.004	0.005	0.004	0.004	0.005	0.005	0.004	0.003	0.01 <sup>(注4)</sup>	0.01	0.002	0.002		
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002	
	チラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.001	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002	
	ベンゼン	0.017	0.051	0.020	0.016	0.011	0.061	0.011	0.008	0.014	0.007	0.008	0.009	0.005	0.008	0.010	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.01	0.009	0.008	0.006	0.01	0.001	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.005	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8	
ホウ素	9.4	6.5	6.6	6.3	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.7	6.0	6.0	5.9	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1		
1,4-ジオキサン	0.72	0.71	0.75	0.66	0.58	0.33	0.66	0.56	0.68	0.35	0.54	0.49	0.44	0.49	0.46	0.56	0.52	0.51	0.53	0.51	0.64	0.57	0.45	0.05	0.05	0.05	0.005	0.005		
その他の項目	全窒素	4	5	5	4	3	4	4	4	4	4	4	3	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
	塩化物イオン	1230	1270	1310	1310	1300	1320	1350	1370	1310	1200	1300	1400	1400	1600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	電気伝導率	524	524	537	545	542	544	514	560	503	534	560	280	280	320	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.05
	モリブデン	ND	0.007	0.017	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.007	0.007
アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表 1 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

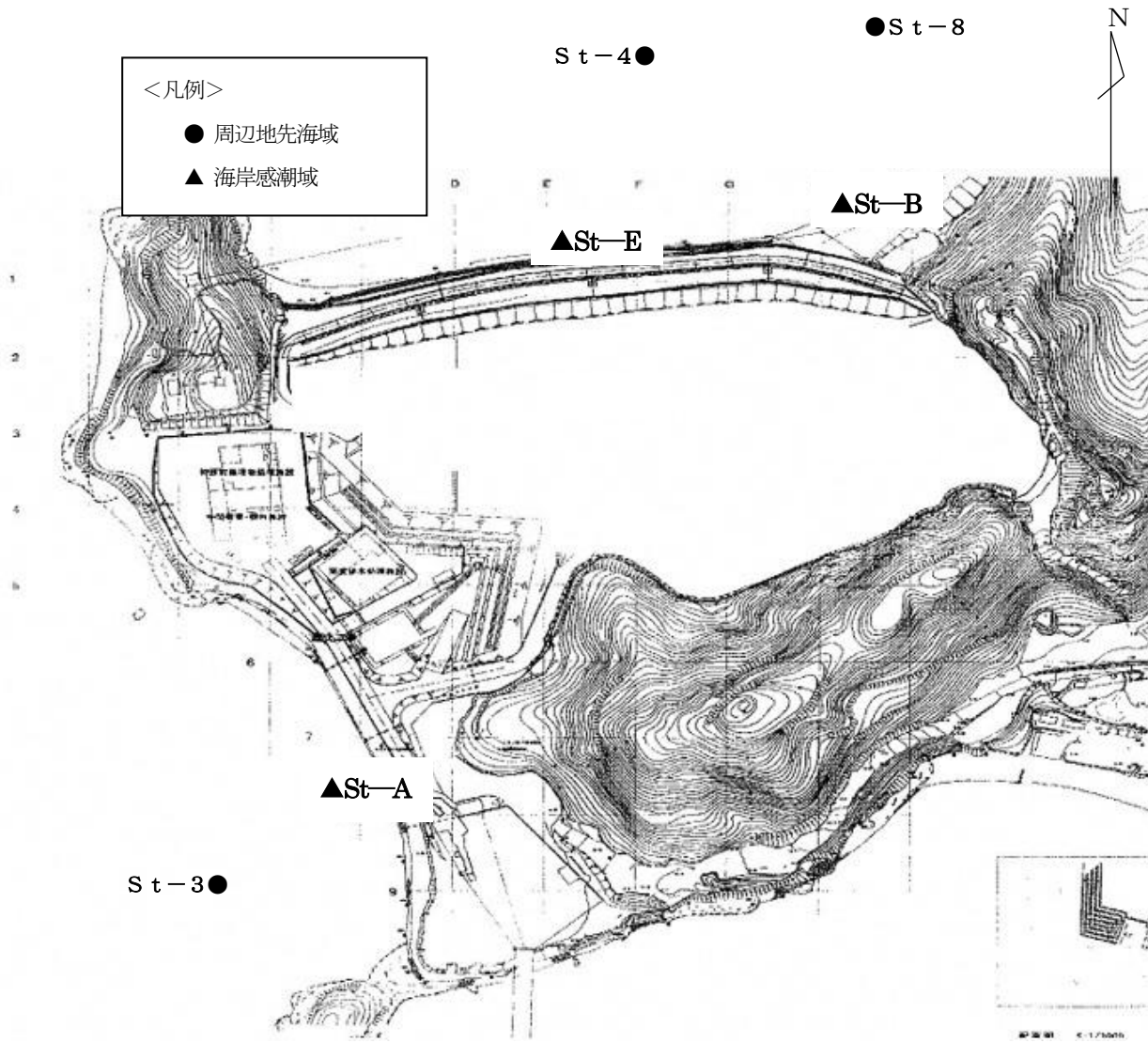
測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
南海岸沖 St-1	H13. 7. 18	7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12. 7. 27	8.0	1.5	6.2	ND	ND	0.57	0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
西海岸沖 St-3	令和2年度 R2. 8. 17	8.1	2.0	7.2	ND	ND	0.33	0.034	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	
	令和元年度 R1. 7. 4	7.9	2.1	8.0	ND	ND	0.30	0.034	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	7.9	1.3	7.4	ND	ND	0.16	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.4	9.1	ND	70	0.38	0.041	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	8.2	ND	20	0.28	0.031	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.9	1.1	6.9	ND	ND	0.12	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	10.8	ND	2.0	0.35	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	8.2	ND	2.0	0.23	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.0	1.5	7.0	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.5	ND	ND	0.32	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.21	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.9	1.0	7.1	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.9	ND	490	0.43	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.4	8.5	ND	120	0.26	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.8	1.4	6.1	ND	2.0	0.27	0.018	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	9.5	ND	23	0.41	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.6	7.7	ND	13	0.52	0.030	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.6	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.6	9.6	ND	13	0.36	0.038	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.3	ND	3.8	0.23	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	8.0	0.7	6.8	ND	ND	0.13	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	9.6	ND	7.8	0.35	0.031	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	3.4	0.26	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	1.7	5.8	ND	ND	0.21	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.9	9.8	ND	ND	0.58	0.045	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.4	7.8	ND	ND	0.32	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.2	8.2	ND	ND	0.19	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.5	9.0	ND	ND	0.25	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.7	ND	ND	0.22	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.1	7.2	ND	ND	0.14	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.7	ND	33	0.28	0.038	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.2	ND	15	0.21	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.5	ND	ND	0.11	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	9.3	ND	2.0	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.8	ND	1.9	0.18	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	ND	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	ND	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平均		8.3	1.4	8.1	ND	ND	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	ND	0.12	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	ND	0.11	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	7.9~8.1	1.6~2.1	6.6~9.2	ND	ND	0.10~0.63	0.022~0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	7.9~8.0	1.4~1.6	7.0~9.1	ND	ND	0.12~0.13	0.020~0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	8.0	1.6	6.2	ND	ND	0.42	0.025	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ (8.0)	1.4~ (1.7)	6.3~ (7.5)	ND	—	0.13~ (0.22)	0.027~ (0.036)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)	7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 <sup>6)</sup>	ND	≤0.0005	≤0.003 <sup>10)</sup>	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)	—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 <sup>9)</sup>	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 <sup>4)</sup>	
南海岸沖 St-1	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300	0.078	
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,500	0.086	
西海岸沖 St-3	令和2年度	R2.8.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	—	0.02	ND	—	0.007	ND	15,400	0.071	
	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	—	0.02	ND	—	0.010	ND	18,000	0.096	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	15,600	0.060
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.071
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.066
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,100	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.081
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.077
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,300	0.072
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,600	0.069
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.078
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.072
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.010	ND	16,700	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.011	ND	17,400	0.086
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.29
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.18
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,200	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.016	ND	18,000	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.014	ND	17,500	0.14
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.009	ND	17,300	0.084
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.092
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.063
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	19,000	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,500	0.079
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.071
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	18,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,100	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,500	0.12
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	17,700	0.072
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	18,900	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,300	0.084
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,000	0.076
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	ND	19,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,700	0.077
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.079
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	—	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.009	ND	18,500	0.20
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,400	0.091
最大		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	0.001	18,800	0.12	
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	17,800	0.11	
平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,200	0.077~0.087	
平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300~18,800	0.079~0.25	
平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,500	0.075	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	<0.007~ 0.013 (0.009)	ND	17,400~ 18,600 (18,000)	0.065	
環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 <sup>8)</sup>	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 <sup>5)</sup>	0.02 <sup>5)</sup>	—	≤1	
検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 <sup>7)</sup>	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
	令和2年度	R2. 8. 17																				
北海岸沖 St-4	令和元年度	R1. 7. 4	8.0	2.1	7.9	ND	ND	0.26	0.029	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	8.0	1.1	6.9	ND	ND	0.17	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.8	9.4	ND	70	0.29	0.041	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	8.2	ND	19	0.25	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	8.0	0.9	7.0	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.9	10.9	ND	4.0	0.42	0.049	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.4	ND	2.4	0.26	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.5	7.0	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.5	ND	4.0	0.29	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	8.3	ND	2.0	0.20	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.2	7.2	ND	ND	0.16	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.7	10	ND	490	0.50	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	8.6	ND	120	0.33	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.0	5.7	ND	2.0	0.15	0.016	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.7	ND	23	0.57	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	7.7	ND	13	0.37	0.030	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.8	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	11	ND	13	0.34	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	3.8	0.24	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.0	7.7	ND	ND	0.15	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.2	ND	4.5	0.40	0.043	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.4	ND	2.6	0.25	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.0	1.3	7.4	ND	ND	0.13	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.8	ND	7.8	0.25	0.042	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.2	ND	4.8	0.22	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.6	ND	ND	0.15	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.1	9.7	ND	4.5	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.1	ND	2.6	0.19	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	ND	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	ND	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	ND	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	ND	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	ND	0.11	0.015	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		8.0~8.3	1.4~2.0	7.0~9.4	ND	ND	0.11~0.19	0.019~0.027	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		7.9~8.1	1.4~1.7	7.0~9.1	ND	ND	0.13~0.14	0.020~0.022	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		8.0	1.9	6.7	ND	ND	0.17	0.025	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		8.0~ 8.1 (8.1)	1.5~ 2.2 (1.9)	6.5~ 8.9 (7.6)	ND	-	0.12~ 0.38 (0.23)	0.026~ 0.044 (0.034)	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 <sup>6)</sup>	ND	≤0.0005	≤0.003 <sup>10)</sup>	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)		-	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 <sup>9)</sup>	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日		四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダケイシソ類 <sup>4)</sup>	
	令和2年度	R2. 8. 17																					
北海岸沖 St-4	令和元年度	R1. 7. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.01	ND	-	0.007	ND	15,200	0.073	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	15,600	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.066
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.066
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	18,200	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.094
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.063
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.07
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.079
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.075
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.009	ND	17,900	0.13
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,400	0.11
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.051
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.062
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.057
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	17,900	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.077
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	ND	ND	17,800	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,600	0.084
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.056
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	18,900	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,100	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	18,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	-	ND	ND	ND	18,600	0.077
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	-	ND	ND	ND	18,900	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	-	ND	ND	ND	18,700	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	-	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	-	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	-	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	-	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	-	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	-	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,000	0.086
最大		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	-	ND	ND	ND	19,000	0.17	
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	17,700	0.12	
平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.08	
平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	18,200~18,800	0.081~0.14	
平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	0.007	0.001	18,300	0.086	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	ND	0.008~ 0.012 (0.009)	ND	17,200~ 18,600 (17,900)	0.065	
環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 <sup>8)</sup>	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	-	≤10	≤0.05	-	0.07 <sup>5)</sup>	0.02 <sup>5)</sup>	-	≤1		

- 1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の数値は、NDと表記する。
- 2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。塩化物イオンは3桁とする。
- 3) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 (St-3、St-4) 平成13年度：H13.7.18 (St-3、St-4)、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施  
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施 平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施  
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施 平成21年度：H21.5.21、H21.8.19、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施  
平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施 平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、  
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施 平成30年度：H30.5.14、H30.7.12、H30.11.28、H31.1.23実施
- 4) ダイオキシン類 (コプラ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。
- 5) 要監視項目指針値
- 6) 生物特A類型 (生物A類型の水域のうち、水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域) の基準値
- 7) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。(平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
- 8) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)
- 9) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。(平成24年1月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
- 10) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)
- 11) 平成30年度に項目、頻度等の見直しを行った。
- 12) 赤字は海域の環境基準を超過したものを示す。



調査地点図

## 令和 3 年度における環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針

### 1. 概要

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における環境計測及び周辺環境モニタリングについては、豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会や豊島処分地地下水・雨水等対策検討会における審議・了承を踏まえ、計測項目や計測頻度等について見直しを行ってきた。

今回、令和 3 年度から第 II 期豊島内施設撤去関連工事が行われること等から、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第 41 回豊島廃棄物等管理委員会資料 4 1・II/8)

(以下「概要」という。)に基づき、環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針について、令和 3 年度の計測地点、計測項目及び計測頻度を別紙のとおり見直した。

### 2. 見直しの方針

別紙における計測地点、計測項目及び計測頻度の見直しの方針は下記のとおりである。

- (1) 「1. 環境計測」の区分「水質(放流水関連)」については、令和 3 年度から「計測地点」となっている対象施設の撤去又は供用が停止されるため、概要に基づき、環境計測は「対象施設撤去又は供用停止まで」とする。
- (2) 「1. 環境計測」の区分「水質(地下水関連)」については、「処分地全域での地下水における排水基準の到達及び達成の確認マニュアル」(第 9 回豊島廃棄物処理事業フォローアップ委員会資料 9・II/6)及び概要に従い、環境計測は排水基準の達成が確認されるまでとする。なお、A 3、B 5 及び F 1 は同マニュアルにより地下水汚染地点に含まれていないこと、C 3 北及び C 3 南は、「D 側線西側における地下水計測点の選定」(第 14 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会資料④第 1 4 回 II/5)により地下水計測点を新たに選定したことから、従来※2 は削除し、※4 と修正する。
- (3) 「2. 周辺環境モニタリング」の区分「水質」の計測地点「海岸感潮域 3 地点」は、今後遮水機能を解除する予定であるため、計測頻度の見直しを行う。
- (4) 「2. 周辺環境モニタリング」の区分「生態系」の「アマモ場 5 地点 ガラモ場 3 地点」は、排水基準の達成を確認した後、調査を実施する。



令和3年度における環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針（案）

1. 環境計測

区分	計測地点	計測項目	計測頻度	変更理由
水質 (放流水関連)	沈砂池1	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、溶解性鉄、ダイキシン類	年1回(夏) ※1※2	変更なし
	沈砂池2	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、溶解性鉄、ダイキシン類	年1回(夏) ※2	
	北揚水井	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、溶解性鉄、溶解性マンガン、全窒素、全リン、砒素及びその化合物、ベンゼン、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジオキサン、ダイキシン類	年4回※2 (地下水調査時)	変更なし
	貯留トレンチ	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、全窒素、全リン、クロロエレン、トリクロロエレン、シス-1,2-ジクロロエレン、ベンゼン、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジオキサン、ダイキシン類	放流や処理を実施する都度※2	変更なし
	高度排水処理施設の原水調整槽	ニッケル	年1回(秋) ※2	変更なし
	高度排水処理施設放流水	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)	連続※2	変更なし
		水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、クロム、大腸菌群数、全窒素、全リン、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、アルキル水銀化合物、カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機リン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、PCB、トリクロロエレン、テトラクロロエレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエレン、シス-1,2-ジクロロエレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、砒素、フッ素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジオキサン、ダイキシン類	年1回(秋) ※2	
		水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、ベンゼン、1,4-ジオキサン、トリクロロエレン、シス-1,2-ジクロロエレン、クロロエレン	月1回以上※2	変更なし
	活性炭吸着塔の排出口	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、ベンゼン、1,4-ジオキサン、トリクロロエレン、シス-1,2-ジクロロエレン、クロロエレン	月1回以上※2	
	凝集膜分離装置の排出口	浮遊物質量(SS)、ダイキシン類	処理対象とする原水が変わる都度※2	変更なし
水質 (地下水関連)	北海岸1地点 (F1西)	水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全リン、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエレン、1,2-ジクロロエレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエレン、テトラクロロエレン、1,3-ジクロロプロパン、ベンゼン、砒素、1,4-ジオキサン、塩化物イオン、電気伝導率、ニッケル、モリブデン	年2回(夏,冬) ※3	変更なし
	西海岸2地点 (A3、B5) ※4		年2回(夏,冬) ※3	
	観測井6地点 (C1北、C1南、C3北、C3南、DE1、F1東) ※2			

※1 沈砂池1から流出する水を採水する。また、夏季以外においても降雨の状況によって満水になる期間が1週間以上続く場合は、臨時に計測を実施する。

※2 ~~A3、B5、C3北、C3南、F1東については地下水汚染地点であり、浄化対策の効果について別途モニタリングを行い確認する。~~

※2 放流水関連の環境計測は、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、対象施設の撤去又は供用が停止されるまで実施する。

※3 地下水関連の環境計測は、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、地下水浄化の確認(処分地全域での地下水における排水基準の達成の確認)まで実施する。

※4 B5は、地下水浄化の確認(処分地全域での地下水における排水基準の達成の確認)後も排水基準値以下となるまでモニタリングを継続する。

2. 周辺環境モニタリング

区分	計測地点	計測項目	計測頻度	変更理由
水質	周辺地先海域 3地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素量(DO)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、大腸菌群数、全窒素、全磷、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、ベンゼン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン、塩化物イオン、全亜鉛	年1回(夏)	変更なし
		モリブデン、アンチモン、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
	海岸感潮域 3地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、大腸菌群数、全窒素、全磷、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、ベンゼン、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン、塩化物イオン、全亜鉛	<del>年1回(夏)</del> <sup>**</sup> 年2回(夏,冬)	令和4年度から遮水機能を解除する予定であるため、計測頻度を増やす。
モリブデン、アンチモン、ダイオキシン類		<del>年1回(夏)</del> <sup>**</sup> 年2回(夏,冬)		
	西揚水井	アルキル水銀化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、シアン化合物、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンソルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ホウ素、フッ素、1,4-ジオキサン、ダイオキシン類	年1回 <sup>**5</sup>	変更なし
底質	周辺地先海域 2地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、有機燐化合物、銅、亜鉛、ニッケル、総クロム、総鉄、総マンガン、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
	海岸感潮域 3地点	化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、銅、亜鉛、ニッケル、総クロム、総鉄、総マンガン、有機燐化合物、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
生態系	アマモ場5地点 ガラモ場3地点	藻類の繁茂状況(生育密度、葉条長)、葉上附着動物、葉上附着珪藻、水温、塩分、透明度、栄養塩類、出現魚類(北海岸アマモ場)	アマモ場(夏) <sup>**6</sup> ガラモ場(冬)	(前回はH28年度実施)

※ 地下水の遮水機能を解除する際には、実施回数について検討する。

※5 西揚水井の周辺環境モニタリングは、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、対象施設の撤去又は供用が停止されるまで実施する。

※6 生態系の周辺環境モニタリングは、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、地下水浄化の確認(処分地全域での地下水における排水基準の達成の確認)後に実施する。

【参考】第41回豊島廃棄物等管理委員会資料（平成28年7月10日）

豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要

場所等	区 分		内 容	スケジュール				備 考	
				28年度	29年度	地下水浄化中	地下水浄化 確認後		
豊島	環境計測	水質	沈砂池1	放流の都度実施（年1回は全項目）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			沈砂池2	年4回実施（年1回は全項目）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			高度排水処理施設の排出口	年1回実施（pH、COD、SSは連続）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			北揚水井 西揚水井	年4回実施	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			貯留トレンチ	年2回実施	○	対象施設撤去又は 供用停止まで			
			高度排水処理施設の原水調整槽	月1回実施（ニッケルのみ）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			凝集膜分離装置の排出口	処理対象水が変わる都度実施（SS、ダライシン）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			活性炭吸着塔の排出口	稼働中に1回実施（COD、pH）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			地下水	観測井等で定期的に水質調査を実施して地下水浄化状況を確認。地点により年2～6回実施	○	○	○	地下水浄化の 確認まで	
	大気汚染	敷地境界	年1回実施（SPM、SO <sub>2</sub> 、NO <sub>x</sub> 、CO、有害物質等）	○	△				
	騒音	敷地境界	年1回実施	○	△				
	振動	敷地境界	年1回実施	○	△				
	悪臭	敷地境界	年1回実施	○	△				
	周辺環境 モニタリング	水質・底質	周辺地先海域	水質は年4回、底質は年1回実施	○	○	当分の間		
海岸感潮域			水質は年4回、底質は年1回実施	○	○	当分の間			
生態系		アマモ場・ガラモ場	藻類の繁茂状況等の確認調査	○			○	前回は20年度に実施	
専用棧橋 の点検	目視調査 潜水調査等	豊島棧橋	「港湾構造物の維持・補修マニュアル」に従って定期的に劣化・損傷状況を調査する。一般点検は2年に1回、詳細点検は5年に1回実施	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで		
直島	環境計測	大気汚染	敷地境界	年1回実施（SPM、SO <sub>2</sub> 、NO <sub>x</sub> 、CO、O <sub>x</sub> 等）	○				
			煙突	年6回実施（ばいじん、SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub> 、HCl等） 年2回実施（ダライシン類）	○				
		水質	雨水集水設備の排出口	年1回実施（大雨が長く続き雨水を海域へ排出する場合）	○				
		騒音	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○				
		振動	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○				
	悪臭	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○					
	周辺環境 モニタリング	大気汚染	敷地境界（最大着地点）	年1回実施（SPM、SO <sub>2</sub> 、NO <sub>x</sub> 、CO、有害物質等）	○				
		水質・底質 土壌	周辺地先海域 最大着地点	年1回実施 数年に1回実施（3年を目安）	○ ○				
専用棧橋 の点検	目視調査 潜水調査等	直島棧橋	「港湾構造物の維持・補修マニュアル」に従って定期的に劣化・損傷状況を調査する。一般点検は2年に1回、詳細点検は5年に1回実施	○					
海上 輸送	周辺環境 モニタリング	水質・底質	周辺海域	年1回実施	○				
溶融スラグ	性状の把握	品質試験	モルタルバー法（年2回）、迅速法、化学法等	○					
	アルカリ骨材反応による劣化症状の確認	施工後10年程度経過したコンクリート構造物	外観調査、コア採取、コア外観観察等				調査対象構造物や頻度等は未定（詳細は今後検討）	これまで25、27年度に実施	